

結腸がん患者の退院時における将来に関する心配の質的研究

A Qualitative Study of Worry about the Future of Colon Cancer Patients at the  
Time of Hospital Discharge

令和6年度

北海道医療大学大学院リハビリテーション科学研究科  
地域健康生活支援学分野 岩岡 拓人

## 目次

I. 略語	1
II. 序論	2
1. がん患者の心理症状と心理症状に対するリハビリテーションの現状	2
1 - a). がん患者の心理症状におけるリハビリテーションの課題	2
1 - b). がん患者の心理症状とリハ介入に関する報告	2
1 - b)-(1). がん患者の抑うつ・不安に関する報告連	2
1 - b)-(2). がん患者の心配に関する報告	3
1 - b)-(3)-a). がん患者のQOLに関する報告	3
1 - b)-(3)-b). がん患者の心理症状およびQOLに関するリハの報告	4
1 - b)-(3)-c). がん患者の心理症状およびQOLに関する作業療法の報告	4
1 - b)-(4). 先行研究のまとめ	5
1 - b)-(5). 研究対象となる結腸がん患者の特徴	5
2. 本研究の目的と意義	6
2 - a). 研究の目的	6
2 - b). 研究の意義	6
3. 本研究の操作的定義	6
3 - 1). 抑うつ症状・不安の操作的定義	6
3 - 2). 心配の操作的定義	6
III. 対象と方法	6
1. 研究概要	6
1 - a). 研究期間	6
1 - b). 研究デザイン	7
2. 参加者の選定方法	7
2 - a). サンプルサイズ	7
2 - b). 参加者の算定方法	7
3. 基本情報	7
3 - a). 一般情報	7

3 - b).	医学情報.....	8
3 - a).	作業療法評価.....	8
3 - a)-(1)	健康関連 QOL 測定.....	8
3 - b)-(2)	認知機能検査.....	8
4.	データ収集期間とインタビュー時期.....	8
5.	データ収集方法.....	9
5 - a).	研究デザイン.....	9
5 - b).	インタビューの概要.....	9
5 - c).	半構造化インタビューの概要.....	10
5 - d).	インタビュー実施場所と調査時間.....	10
5 - e).	データの分析方法.....	10
5 - f).	データの真実性の確保.....	11
6.	倫理的配慮.....	11
IV.	結果.....	12
1.	研究参加者の基本情報.....	12
2.	退院時における結腸がん患者の将来に関する心配.....	12
V.	考察.....	16
1.	仕事に関する心配.....	16
2.	精神的苦痛に関する心配.....	17
3.	ストーマ造設に関する心配.....	17
4.	家族に関する心配.....	18
5.	がんの治療に関する心配.....	19
6.	身体機能の低下に関する心配.....	19
7.	食事に関する心配.....	20
8.	本研究で明らかになった結腸がん患者における特有の心配.....	20
VI.	研究の限界.....	21
VII.	結論.....	21
VIII.	謝辞.....	22
IX.	文献.....	22
X.	図.....	1 ~ 3
XI.	表.....	1 ~ 18

XII. 付録 .....	i ~ vi
---------------	--------

## I. 略語

ADL:日常生活活動 (Activity Daily Living)

QOL:生活の質 (Quality of Life)

HADS:Hospital Anxiety and Depression Scale

BCWI:心配評価尺度(Brief Cancer Related Worry Inventory)

SF-36:MOS 36-Item Short-Form Health Survey

EORTC QLQ-C30:European Organization for Research and Treatment of Cancer QLQ-C30

COPM:Canadian occupational performance measure

MMSE-J:Mini Mental States Examination-Japanese

IADL:手段的日常生活動作(Instrumental Activities of Daily Living)

SF-8:SF8 Health Survey スタンダード版

## II. 序論

### 1. がん患者の心理症状と心理症状に対するリハビリテーションの現状

#### a) がん患者の心理症状におけるリハビリテーションの課題

がんは、1981年以降から本邦において死亡原因の第1位の疾患となり、がんの罹患者数は1985年以降増加している。2012年の罹患者数は1985年のおよそ2.5倍となり、2017年に新たに診断されたがん患者はおよそ100万人である<sup>1)</sup>。急速ながん患者の増加により、近年では2人に1人ががんに罹患すると推計されている。そのような現状の中で、本邦でのがんのリハビリテーション(以下、リハ)は、予防的、回復的、維持的、緩和的の4種の病期<sup>2)</sup>において、がん患者の身体的、認知的、心理的な障害を評価および治療し、Activities of daily living (以下、ADL) 自立度と Quality of Life (以下、QOL) の向上を目的としている<sup>3)</sup>。2010年度の診療報酬改定では、がん患者リハビリテーション料の算定が可能<sup>4)</sup>となり、リハの実施内容はストレッチ、関節可動域訓練、ヨガ、有酸素運動、筋力訓練と運動療法が推奨されている<sup>5,6)</sup>。一方で、がん患者の40%以上が抑うつ症状と不安、心配を抱え、自殺率が高いとされている<sup>7-9)</sup>。また、がん患者の30%に重度の心理、社会的問題を有する報告があるにも関わらず、心理症状に対する適切な援助が提供されていないことが問題視されている<sup>10)</sup>。このことより、がん患者の心理症状に対する介入が必要であると考え、がんに関する心配とは、「将来に関する否定的な思考やイメージ」によって特徴づけられる心理的状态を指し、不安とは「侵襲的で不快な不安思考が集中力や意思決定、社会機能に大きく影響を与えている状態」と定義されている<sup>9,11)</sup>。

#### b) がん患者の心理症状とリハ介入に関する報告

がん患者の心理症状には抑うつ症状・不安、心配、QOLの低下に関する先行研究が散見される。そのため、以下に抑うつ症状・不安、心配、QOLに関する先行研究と心理症状に対するリハ介入の先行研究を記載する。表1にがん患者の心理症状に関する先行研究一覧を示す。

##### (1) がん患者の抑うつ・不安に関する報告

がん患者の抑うつ症状に関する研究では、肺がん患者の手術前後における Hospital Anxiety and Depression Scale(以下、HADS)の抑うつ得点に有意差はないが、抑うつ症状を抱く割合は、入院直前では全体の3割に対し、退院後には5割まで増加したことが報告されている<sup>12)</sup>。

がんの不安に関する研究では、周術期の乳房がん患者は、がんの罹患に対する動揺や役割遂行、治療に対する不安を示した報告がある<sup>11)</sup>。また、大腸がん患者は、手術後に排便機能の将来予測に関する知識不足が原因で、不安を示した報告がある<sup>13)</sup>。

がんの抑うつ症状および不安に関する研究では、周術期の消化器がん患者は、倦怠感あるいは抑うつ症状と不安が有意な正の相関関係を示した報告がある<sup>14)</sup>。また、介護施設に入所する高齢がん患者は、55%が抑うつ症状を抱えており、身体機能が低下して ADL、仕事、余暇活動ができないことへの不安を訴えた報告がある<sup>15)</sup>。

## (2) がん患者の心配に関する報告

がん患者の心理尺度は、大方が不安のみを測定する尺度である。平井<sup>9)</sup>は、がんの心配と不安は区別されていなく、具体的な心配の内容を測定できない問題を解決するために、手術後の乳房がん患者と肺がん患者を対象にしたがん患者の心配評価尺度(Brief Cancer Related Worry Inventory:以下,BCWI)を開発した。BCWIは、将来に関する心配、身体に関する心配、対人関係に関する心配の3つの構成概念からなる尺度である<sup>9)</sup>。このBCWIは、多次元尺度法により、がんの心配とHADSの不安・抑うつ症状を3つに分類できることを明らかにした。さらに、BCWIとHADSは有意な正の相関を示した<sup>9)</sup>。

321名のがん患者を対象とした研究では、がんの病気自体や再発の心配が継続している人が30%に認められ、抑うつ症状や不安は心配の説明要因とした報告がある<sup>16)</sup>。

手術後の結腸がん患者が退院した後に調査した研究では、がんと向き合い方、食事、排泄に関する心配が明らかになり、食事や排泄の心配は、結腸がん患者の特徴的な体験であるとした<sup>17)</sup>。

## (3) QOLに関する報告

### a) がん患者のQOLに関する報告

消化器がん患者は、MOS 36-Item Short-Form Health Survey (以下, SF-36)の身体機能、日常役割機能(身体)、日常役割機能(精神)、痛み、活力、社会生活機能が、手術前よりも手術後に有意な低下を示した<sup>18)</sup>。

大腸がん患者は、手術後1年間の健康関連QOLをEuropean Organization for Research and Treatment of Cancer QLQ-C30(以下, EORTC QLQ-C30)で経時的に追跡すると、手術後1か月で包括的な健康感(QOL)、痛み、身体的倦怠感が最低値を示した<sup>19)</sup>。

食道がん患者は, EORTC QLQ-C30 における包括的な健康感(QOL)と ADL, 活動性, 身体的倦怠感, 不安, 抑うつが有意な正の相関関係を示した<sup>20)</sup>.

高齢者 126, 685 名のがん患者と非がん患者を比較した研究では, がんの種類に関わらず, がん患者の SF-36 の身体的 QOL と精神的 QOL は非がん患者よりも有意に低下していた<sup>21)</sup>.

#### b) がん患者の心理症状および QOL に関するリハの報告

予防的, 回復的, 維持的病期における乳房がん患者や大腸がん患者および前立腺がん患者の研究では, 運動療法で身体機能を改善したことで ADL と QOL が向上した<sup>22-25)</sup>. しかし, 直腸がん患者では, 散歩やスポーツ等の 3METs 以上の身体活動は身体的な QOL と有意な正の相関を示したが, 精神的な QOL とは有意な相関がなかった<sup>26)</sup>. また, 運動療法だけでは, がん患者のリハ参加頻度が低下する問題に対して, TV ゲーム, Exergaming を実施した Systematic review<sup>27)</sup>によると, 楽しさと満足感がリハ参加頻度を改善させたことを示した. ただし, 病期や重症度による測定の違いと研究数が不十分なことから, TV ゲームや Exergaming の有効性に至らなかったことが指摘されている.

#### c) 作業療法におけるがん患者の心理症状と QOL に関する報告

がん患者の心理症状や QOL に対する作業療法の効果に関する研究は少なく, QOL に関するエビデンスは十分ではない<sup>28)</sup>. また, 302 施設を対象とした作業療法の調査では, ADL 介入と運動療法が 64%を占めており, 心理症状へのケアは全体の 13%と, 心理症状に対する介入は非常に少ない現状である<sup>29)</sup>. 回復的病期に脳梗塞と子宮体がんを併発して抑うつ状態に陥った患者に余暇活動の楽しさを考慮した作業療法を実施した結果, 抑うつ状態が改善した事例報告がある<sup>30)</sup>. また, 維持的病期における地域在住の乳房がん患者 10 名に身体機能訓練と積極的な社会参加及び余暇活動を提供することで, 通常身体運動群の 11 名と比較し, 抑うつ症状や不安および QOL が有意に改善した報告がある<sup>31)</sup>. さらに, 緩和的病期の肺がん患者に対して, カナダ作業遂行測定 (Canadian occupational performance measure: COPM) の評価を基に, ADL 訓練や余暇活動を実施して QOL が改善した事例報告がある<sup>32)</sup>.

#### (4) 先行研究のまとめ

先行研究より, がん患者は心理症状として, 不安, 抑うつ症状, 心配を抱いている報告が散見される. がん患者の心理症状を測定する尺度は, 不安・抑うつ症状を測定する HADS と心配

を測定する BCWI が活用されている報告がある。HADS と BCWI は、正の相関関係にあり、不安、抑うつ症状、心配は 3 つに分類できることが示された。また、不安と抑うつ症状は心配の説明要因であることが明らかにされている。

がんの心配に関する先行研究では、BCWI の尺度開発において、乳房がん患者、肺がん患者を対象にして、将来に関する心配、身体に関する心配、対人関係に関する心配が明らかになった。また、結腸がん患者を対象に退院後にインタビュー聴取した研究では、食事や排泄に関する心配が明らかにされている。

しかし、国内外の先行研究では、入院中の結腸がん患者の将来に関する心配を聴取した報告はない。かつ、BCWI で示された乳房がん患者と肺がん患者の将来に関する心配が結腸がん患者に生じているかは明らかにされていない。退院後の生活でがんの心配を抱えながら、生活することは QOL の低下に影響を及ぼす可能性が高い。そのため、入院中での結腸がん患者の将来に関する心配を明らかにすることが必要であると考えた。したがって、本研究では、結腸がん患者の入院中における将来に関する心配に着目した。

#### (5) 研究対象となる結腸がん患者の特徴

結腸がんは大腸がんの一部であり、罹患者数は約 10 万人、5 年相対生存率は 71.2%である<sup>1)</sup>。初期症状は、ほとんど現れないが、進行に伴って、出血や排便異常が生じる。また、その治療は内視鏡治療や切除術、薬物療法、化学療法、リハ介入が主である<sup>1, 33)</sup>。

研究者が所属している病院(以下、A 病院)での結腸がん患者は、外科的治療において腹腔鏡手術や結腸がんの切除術を実施する。手術後は、疼痛や倦怠感が生じるが、それらの身体症状が改善すると自宅や施設に退院し、結腸がん患者の平均在院日数は約 10 日間程度である。また、体調管理や化学療法を目的とした入院の場合は、服薬管理を実施し、倦怠感などの身体症状が改善し、ADL が自立すると平均在院日数約 14 日間程度で退院に至ることが多い。

以上のことから、結腸がん患者は手術の有無に関わらず基本動作や歩行などの運動療法を短期間で集中して行い、退院時には基本動作や歩行は完全に自立した状態で退院となる。よって、身体機能に特化したリハとなり、心配の有無などの心理症状の評価を実施せずに退院するため、結腸がん患者はそもそも入院中から将来に関する心配があるのかという臨床的疑問が生じた。

また、A 病院では、がん患者の外来リハを実施していないため、退院後の生活に対する介入ができないことが現状である。実際に研究者は、担当した結腸がん患者が再発に関する心配

やストーマの管理に心配を抱きながら退院に至った経験をしたことがある。したがって、本研究におけるリサーチクエスションは、退院時における結腸がん患者は将来に関する心配はあるのかとした。

## 2. 本研究の目的と意義

### a) 研究の目的

本研究の目的は、退院時における結腸がん患者が抱く将来に関する心配を明らかにすることである。

### b) 研究の意義

退院時における結腸がん患者の将来に関する心配を明らかにすることで、入院中から将来に関する心配の内容を把握できる可能性がある。また、結腸がん患者の作業療法において、入院中から退院後の心配を評価する必要性が高まる。様々な心配があるとしたら、退院後の心配を解消する作業療法介入の確立に向けた研究に移行できる。

## 3. 本研究の操作的定義

### a) 抑うつ症状・不安の操作的定義

本研究における抑うつ症状は、興味喪失や易疲労性、自信喪失、自責感、睡眠の変化、絶望感、心氣的憂慮と定義する<sup>34)</sup>。

不安とは、侵入的で不快な不安思考が、集中力・意思決定・睡眠・社会機能に多大な影響をおよぼしている状態とする<sup>12)</sup>。

### b) 心配の操作的定義

心配は、将来に関する否定的な思考およびイメージ、懸念によって特徴づけられるものとする<sup>9)</sup>。

## Ⅲ. 対象と方法

### 1. 研究概要

a) 研究期間:本研究の研究期間は、2021年4月から2023年3月までであった。

## b) 研究デザイン

先行研究より、結腸がん患者の退院時における心配の内容が明らかになっていない。そのため、本研究では、心配があるかないか、あるとすればどのような心配なのかを明らかにするために、仮説を検証する研究である量的研究ではなく、仮説を生成する研究である質的研究を選定した<sup>35)</sup>。

## 2. 参加者の選定方法

a) サンプルサイズ: 本研究の対象者数は10名とした。

サンプルサイズの設定には、大腸がん患者9名の大腸切除手術後における生活変化とその対応に関する内容分析を行なった報告<sup>36)</sup>や乳房がん患者10名の将来に関する希望や不安を内容分析した報告<sup>37)</sup>、骨・関節疾患手術後高齢患者10名の退院に際する不安を内容分析した報告<sup>38)</sup>を参考にした。これらの先行研究では、対象者数が10名前後となっていることから、本研究における対象者を10名に設定した。また、対象者数は、先行研究を参考に設定するとともに、質的研究における理論的飽和は10名以上でデータ収集が安定するという報告を考慮した<sup>39)</sup>。

## b) 参加者の選定方法

参加者の適格基準は、初発の結腸がん(上行結腸がん, 横行結腸がん, S 状結腸がん)を発症後に A 病院の外科病棟に入棟して、疼痛や倦怠感が改善したと主治医が診断した退院予定で作業療法が処方された20歳以上の結腸がん患者とした。

除外基準は、重篤な呼吸器疾患など合併症を発症した者や Mini Mental States Examination-Japanese (以下, MMSE-J)<sup>40)</sup>が23点以下の認知機能低下を示す者、インタビューの回答が困難な精神・言語機能を有する者、精神疾患の既往歴がある場合とした。

## 3. 基本情報

### a) 一般情報

電子カルテより、年齢、性別、疾患名、既往歴、退院先、家族情報、就業状況の有無、家事動作等の Instrumental Activities of Daily Living (以下, IADL) に関する家庭内役割活動の有無、習慣活動、趣味活動の有無と内容を収集した。

## b) 医学的情報

電子カルテより、主治医からのがんの重症度である stage の告知内容の有無、病態説明、手術の有無、ストーマ造設の有無を収集した<sup>41)</sup>。

## a) 作業療法評価：以下の評価を実施した。

### (1) 健康関連 QOL 測定：SF8 Health Survey スタンダード版（以下、SF-8）<sup>42)</sup>

SF-8 は 8 項目の設問に対して 1～6 の 6 件法で答える評価法である。短く簡潔であり、回答者の負担を大幅に減らすことができる。構成概念は、身体機能 (PF)、日常役割身体機能 (RP)、体の痛み (BP)、全体的健康感 (GH)、活力 (VT)、社会生活機能 (SF)、日常役割精神機能 (RE)、心の健康 (MH) の 8 つである。日本語版が作成されており、信頼性や妥当性が確認されており、スコア化に関して、良い状態の最高点を 1 点として、1 点から 6 点でスコア化した後に国民標準値に基づくスコアリング方法を用いてスコアを算出する<sup>42)</sup>。

### (2) 認知機能検査：MMSE-J

認知機能障害のスクリーニングとして使用される MMSE は国際的に使用されており、日本版である MMSE-J における認知症者の重症度は、MMSE-J の認知障害重症度分類に基づき、正常が 27～30 点、軽度認知障害が 21～26 点、中等度認知障害が 11～20 点、重度認知障害が 0～10 点とされている<sup>40)</sup>。本研究では、MMSE-J におけるアルツハイマー型認知症のカットオフ値<sup>43)</sup>を参考に 23 点以下の対象者を除外した。

## 4. データ収集期間とインタビュー時期

研究参加者へのデータ収集は、2022 年 7 月から 2023 年 9 月までの期間で実施した。また、各研究参加者へのインタビュー時期は、退院予定日から 3 日間以内に実施した。

インタビュー時期の設定根拠は次のとおりである。通常 A 病院に入院する結腸がん患者は、外科的治療を実施した場合、疼痛や倦怠感が改善してから約 3 日程度で退院に至る。そのため、聴取時期を疼痛や倦怠感などの身体症状が出現している状態でインタビューを実施した場合、心配の内容は倦怠感や疼痛に偏ってしまう恐れがあるため、適切に将来に関する心配が聴取できない可能性が生じる。よって、疼痛や倦怠感が改善した状態で心配を聴取することが本研究における将来に関する心配を適切に聴取できると考え、インタビューの実施時期は退院予定日から 3 日以内に設定した。疼痛と倦怠感の改善状況は、主治医による判

断で確認することにした。

## 5. データ収集方法

### a) 研究デザイン

研究デザインは、質的研究における Lincoln&Guba の内容分析<sup>44)</sup>を選定した。

内容分析とは、テキストのある特定の属性を客観的、体系的に同定し、推論を行うための手法である<sup>45)</sup>。本研究における、テキストとは「将来に関する心配」に関する語りが該当する。本研究における内容分析では、「将来に関する心配」に関する語りを客観的にコード化することで、結腸がん患者の将来に関する心配の構成概念を抽出する目的で採用した。

質的研究では、研究者の主観が結果に影響を及ぼすために、検討方法における妥当性を確保するための手法が適切に活用されているか否かが問題視されている<sup>46)</sup>。また、質的研究における評価基準では、客観的事実と主観的な経験が混在するために、量的研究の評価基準である妥当性と信頼性という用語を使用することが不適切だという指摘がある<sup>47)</sup>。これらの問題に対して、Lincoln&Guba は、量的研究における研究の妥当性と信頼性の代わりに研究の真実性と表現し、質的研究の結果が現実を表していることであると提唱している。本研究では、真実性を確保するために、Lincoln & Guba のトライアングュレーションを採用した<sup>44)</sup>。トライアングュレーションとは、聴取したテキストとコードを複数の研究者で検討することで、研究者の恣意的解釈を排除することができる手法である。この Lincoln&Guba による検討は、検討過程における真実性の確立を可能とする手法であることを特徴としている。近年、検討過程の真実性を高めるために、Lincoln&Guba を採用し、在宅がん患者の将来的な希望に関する心理的ニーズを明らかにした報告がある<sup>48)</sup>。したがって、本研究では、作成された逐語録の検討過程における真実性を確保する目的で Lincoln&Guba の内容分析の方法を採用することにした。

### b) インタビューの概要

結腸がん患者が退院後に抱く具体的な心配を明らかにするため、インタビューを実施した。インタビュー実施者が複数名になると回答の偏りが生じてしまう可能性を考慮し、インタビューの実施者は本研究責任者のみとした。また、インタビュー内容が「心配とはなんですか？」と回答の自由度が高い質問をすると、調査時点では入院中のために退院後の心配をイメージすることができない可能性がある。そこで、将来に関する心配を測定する BCWI の構

成概念を使用することで、退院後の心配をイメージして語るができることを考慮し、BCWI の構成概念を使用した半構造化インタビューを選定した<sup>9)</sup>。その BCWI とは、がんに関連する心配と不安の概念的な違いを明らかにする目的で、手術後の乳房がん患者と肺がん患者を対象に開発された尺度である。

BCWI の構成概念は、＜将来に関する心配＞＜身体に関する心配＞＜社会や対人関係に関する心配＞の 3 因子で構成されているが、本研究では、このうちの＜将来に関する心配＞の構成概念に関する内容を採用した。BCWI の構成概念を図 1 に示す。

よって本研究では BCWI の＜将来に関する心配＞の 6 項目＜がんという病気自体＞＜家族との関係＞＜自分のこころの状態＞＜治療の効果＞＜主治医や医療スタッフとの関係＞＜家族の将来＞を活用した。

#### c) 半構造化インタビューの内容

BCWI における将来に関する心配に準じた内容の半構造化インタビューを行うため、インタビューガイドを表 2 に示す。また、インタビュー開始時に「どんな心配を感じているかをお答えください」と説明した後、表 2 のインタビューガイドに沿って、実施した。その際、心配がある場合は「どのようなことが心配ですか？」と続けて聴取し、心配がないと回答を受けた場合は、次の設問に移行した。さらに、設問の 1 から 6 終了後に「その他の将来に関する心配をお答えください」と聴取した。

#### d) インタビュー実施場所と調査時間

インタビューの実施場所は、A 病院のプライバシーの保護が可能な周囲に人がいない環境で実施した。また、4 床以上の病室に入院している参加者は、外科病棟の食堂を使用し、個人病室に入院している患者は、個人病室で実施した。インタビューの調査時間は身体的、心理的負担を考慮して約 30 分とした。

#### e) データの分析方法

表 1 のインタビューガイドにある 6 項目のインタビュー内容を対象者から直接聴取して、IC レコーダーで録音し、全てのインタビュー内容の逐語録を作成した。逐語録の検討は、Lincoln&Guba の内容分析の手法を使用して、以下のような手順で実施した<sup>44)</sup>。図 2 に検討手順を示す。

#### (1) 検討手順①：心配カードの作成

作成した逐語録を基に将来に関する心配に関連した文節を抜き出して、カードを作成した。カードの作成方法の例は表 3 に示す。ただし、文節を抜き出す際には、すでに同じ文言のカードがあった場合には、カードは作成しないことにした。

1 枚目と 2 枚目のカードの内容が似ていれば、2 枚目のカードは 1 枚目のカードの下に置き、似ていなければ 1 枚目の横に置いていった。これを繰り返し、どこにも属さないカードはとっておいた。

#### (3) 検討手順③：カテゴリの説明づけ

全てのカードの処理が終了したら、各々のカテゴリに説明をつけた。カテゴリの説明づけの例は表 3 に示す。

#### (4) 検討手順④：カテゴリの概念抽出

全てのカードを再検討し、どこにも属さなかったカードは、生成されたカテゴリに適合するか検討した。

#### f) データの真実性の確保

内容分析におけるデータの真実性を確保する方法として、Lincoln&Guba が提唱しているトライアングュレーションを採用した。トライアングュレーションとは、内容分析の実施には、様々な方法論での分析、複数の研究者による分析、異なる場所や時期に分けてデータを収集して研究の真実性を確保することである。これらのトライアングュレーションの活用だが、本研究において方法論やデータ収集の場所や時期は定められているため、本研究では、複数の研究者による分析のトライアングュレーションを採用した<sup>44)</sup>。

この複数の研究者による分析のトライアングュレーションでは、Lincoln&Guba の内容分析に精通した研究者による検討内容の確認をすることで、研究者の恣意的な解釈をできるだけ減らし、データの検討方法における真実性を高めることを目的とした。

本研究における複数の研究者による分析のトライアングュレーションの活用として、検討手順毎に研究者が先行して実施した。その内容を、Lincoln&Guba の内容分析に精通した研究者と大学院生に共有し、確認と助言を得ることで真実性の確保に努めた。

## 6. 倫理的配慮

本研究は、ヘルシンキ宣言および人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を遵守し

て実施した。研究参加者には、本研究の目的および方法を口頭および文書にて説明し、書面にて同意を得た。さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、研究者および対象者の感染防止対策を口頭および文書にて説明し、書面にて同意を得た。

倫理的配慮として、北海道医療大学リハビリテーション科学部の倫理委員会より承認を得た(承認番号:22R186188)。また、研究者が勤務する A 病院の倫理委員会より承認を得た。

#### IV. 結果

##### 1. 研究参加者の基本情報

身体症状と ADL 自立してから退院許可が出た結腸がん患者 10 例の参加者にインタビューを実施した。平均年齢は 75.4(±9.7)歳、性別は男性 3 例、女性 7 例であった。一般情報の一覧を表 5 に示した。

結腸がんの部位は、上行結腸がん 1 例、横行結腸がん 3 例、下行結腸がん 1 例、S 状結腸がんが 5 例であった。MMSE-J の中央値は 29 点(24-30)点であった。帰結先は、自宅への退院が 9 例、施設退所が 1 例であった。就業している参加者は 4 例であった。3 例は農業、1 例は新聞配達をしていた。家庭内役割活動として家事動作等を行なっている参加者は 9 例、趣味活動をしている参加者は 6 例、習慣活動の参加者は 10 例であった。

医学情報の一覧を表 6 に示した。主治医の意向により、入院中に stage の告知はせず、退院後の初回受診で stage の告知を行っていた。したがって、インタビュー前に stage の告知を受けた参加者はいなかった。手術を施行した参加者は 10 例であった。病態説明を受けた参加者は 7 名であった。病態説明を受けていない理由は、家族の希望によるものであった。ストーマ造設した参加者は 3 例であった。

SF-8 の一覧を表 7 に示した。全体的健康感(GH)の中央値(最小値-最大値)は 3(1-5)点、身体機能(PF)の中央値(最小値-最大値)は 2(1-4)点、日常役割身体機能(RP)の中央値(最小値-最大値)は 1(1-4)点、体の痛み(BP)の中央値(最小値-最大値)は 3(1-5)点、活力(VT)の中央値(最小値-最大値)は 2(1-4)点、社会生活機能(SF)の中央値(最小値-最大値)は 1(1-4)点、心の健康(MH)の中央値(最小値-最大値)は 3(1-4)点、日常役割精神機能(RE)の中央値(最小値-最大値)は 1(1-4)点であった。

##### 2. 退院時における結腸がん患者の将来に関する心配

参加者からの逐語録の結果を表 8 から表 17 に示した。

研究責任者が 101 枚の心配カードを生成し、がんにおける心配に該当するものなのか、心配のカードにおける内容が重複するものを統合する議論を行なった。

最終的に、参加者の将来に関する心配の語りから 91 枚のカードを作成し、カテゴリが 27 個抽出された。実際に抽出されたカテゴリ名と心配のカードを表 17 に示した。これらのカテゴリは、仕事に関する心配、精神的苦痛に関する心配、ストーマ造設に関する心配、家族に関する心配、がん治療に関する心配、身体機能の低下が及ぼす活動に関する心配、食事に関する心配で構成されていた。図 3 に分類したカテゴリを示す。

以下に、抽出された 27 個のカテゴリを [ ] と各カードの内容を「 」で記載する。

### 1. 仕事に関する心配

〔仕事ができない心配〕では、「今後も、体力・筋力の低下によって、仕事ができないかもしれない」「体力の低下によって、仕事に復帰できないかもしれない」「今後、農作業の仕事ができないかもしれない」「今後、力仕事ができないかもしれない」「今後、農作業で力仕事ができないかもしれない」で作成された。

〔経済的な心配〕では、「自分の葬式代を兄弟にお金の迷惑をかけてしまうかもしれない」「がんで仕事がないため、税金が支払えないかもしれない」で作成された。

### 2. 精神的苦痛に関する心配

〔死が近づいてくる心配〕では、「がんになると、死が迫ってくるような感覚がある」「がんになり、死なないで家に帰れるのだろうか」「がんを宣告されて、命が短くなるのではないか」で作成された。

〔がんの再発や転移への心配〕では、「がんが転移してしまうのではないか」「がんが、どこの部位に転移するのか」「他の部位にがんが生じるのではないか」「がんが他の消化器官に転移するかもしれない」「がんが転移するかもしれない」「がんが転移するのではないか」「がんが転移するのではないか」「がんが転移してしまうかもしれない」「他の臓器にがんが再発してしまうかもしれない」「がんが再発してしまうかもしれない」で作成された。

〔再手術への心配〕では、「お腹を切られてしまうかもしれない」「再手術するかもしれない」「再手術になるかもしれない」で作成された。

〔考える意欲が低下する心配〕では、「がんのために、新しいことに挑戦するという考える意欲がなくなる」「がんのせいで、自分の考えが止まってしまう」で作成された。

〔悲観的なことを考えてしまう心配〕では、「がんになったと周囲に噂されるのではない」「がんの情報がないで、悪いことばかり考えてしまうかもしれない」「がんの病気を思うと鬱になるかもしれない」「がんになりやすい身体になったかもしれない」「もし亡くなったら、母親を悲しませてしまうかもしれない」で作成された。

〔感染症に関する心配〕では、「がんにより、免疫力が下がってしまうのではない」「がんにより、感染症になりやすいのではない」「体が弱って、感染症になるかもしれない」で作成された。

### 3. ストーマ造設に関する心配

〔ストーマの自己管理に関する心配〕では、「ストーマ管理において手がぶれて管が上手く挿せないかもしれない」「ストーマ管理自体を忘れてしまうかもしれない」「ストーマ造設し、急に空気音が鳴ってしまうかもしれない」「ストーマ内の排便の始末ができないかもしれない」「ストーマを清潔にするのを怠って、感染してしまうかもしれない」で作成された。

〔ストーマの造設に関する心配〕では、「今後、人工肛門がついてしまうのではない」「今後は人工肛門になるのではない」「今後、人工肛門を造設しないといけなくなるのではない」で作成された。

### 4. 家族に関する心配

〔自己の役割を家族に担わせてしまうことへの心配〕では、「もし自分が亡くなった後、夫は家事ができないかもしれない」「妻が体に無理をかけて、自分の代わりに除雪してしまうかもしれない」「自分の夫が病気になると子供が面倒を見なければいけないかもしれない」で作成された。

〔自分が亡くなった後、残された家族がどうなってしまうかが心配〕では、「亡くなった後、家族がどうなっていくのか」「もし自分が亡くなったら、子供達の将来はどうなるのか」「自分が亡くなった時に、家族に身寄りがいなくなってしまう」で作成された。

〔家族ががんになるかもしれない心配〕では、「家族もがんになってしまうのではない」「がんが家族に遺伝してしまうのではない」で作成された。

〔家族の介護に関する心配〕では、「今後も物忘れのある旦那との暮らしで身体がついていかないのではない」「今後も物忘れのある旦那と一緒に屋外散歩ができるか」「身体的介助で旦那の体を支えられないかもしれない」で作成された。

## 5. がん治療に関する心配

〔服薬の継続に関する心配〕では、「今後も、排便に関する薬を頓服し続けなければならない」「がんの薬を飲み忘れてしまうかもしれない」で作成された。

〔抗がん剤治療の副作用に関する心配〕では、「抗がん剤治療で髪が抜けてしまうかもしれない」「抗がん剤治療で体が辛くなるかもしれない」で作成された。

〔便秘に関する心配〕では、「便秘に服薬効果が続くのか」「便秘が続くかもしれない」「食事のせいで便秘になってしまうのではないか」で作成された。

## 6. 身体機能の低下が及ぼす活動に関する心配

〔余暇活動ができない心配〕では、「今後も、趣味の畑作業ができるか」「趣味の草刈りができないかもしれない」で作成された。

〔重たいものが持てない心配〕では、「洗濯時、重たいものを運べないかもしれない」「今後、仕事で重たいものを持ち運べないかもしれない」「農作業で、重たい物を持てないかもしれない」「今後、重たいものが持てないかもしれない」で作成された。

〔身体機能の低下に関する心配〕では、「長時間、掃除で身体を動かすと身体が辛くなるのではないか」「長時間、調理で身体を動かすと身体が辛くなるのではないか」「歩くことが遅くなるのではないか」「何時間も家事動作で立ってられないかもしれない」「掃除をする時に身体を前屈みにできないかもしれない」「バスの乗車中に倒れるかもしれない」で作成された。

〔行動範囲が狭くなることに関する心配〕では、「がんの病気で自転車に乗れないかもしれない」「がんの影響で生活範囲が狭くなってしまうかもしれない」で作成された。

〔がん治療の通院に関する心配〕では、「交通機関に乗り、がん治療の通院ができるかどうか」「独居のため、がん治療における通院手段をどうしたらいいか」で作成された。

〔痛みに関する心配〕では、「術部の痛みが続くかもしれない」「再手術をして、また痛みが出てしまうかもしれない」「雪が降り、傷口が痛くなるかもしれない」で作成された。

〔傷口が開く心配〕「お腹の傷口が開いてしまうのではないか」「雪投げで、傷が開いてしまうかもしれない」「家事動作の立ち座りで、傷が開くかもしれない」で作成された。

## 7. 食事に関する心配

〔消化に関する心配〕では、「食事で消化不良を起こすのではないか」「消化に良い食べ物を選べないかもしれない」「入れ歯がないため、消化に良い食事を摂れるだろうか」「消化の良い献立を考えられるかどうか」で作成された。

〔食事に関する心配〕では、「皮下脂肪を作らず、太らないでいられるか」「今後、好きな物が食べられなくなる」で作成された。

## V. 考察

本研究では、退院時における結腸がん患者の将来に関する心配を明らかにするため、内容分析を用いて分析を行なった。その結果、入院中の結腸がん患者 10 名による将来に関する心配は 91 枚のカードを作成し、27 個のカテゴリが抽出された。その 27 のカテゴリは、主に仕事に関する心配、精神的苦痛に関する心配、ストーマ造設に関する心配、家族に関する心配、がん治療に関する心配、身体機能の低下が及ぼす活動に関する心配、食事に関する心配で構成されていた。

以下に、退院時における結腸がん患者が抱える心配の構成に沿って考察を記載する。

### 1. 仕事に関する心配

肺がん患者と乳がん患者の将来に関する心配の研究では、仕事に関する心配は明らかにされていない。しかし、本研究では仕事に対する心配が結果として示された。具体的な仕事に関する心配は、「今後も体力・筋力の低下によって仕事ができないかもしれない」「体力の低下によって仕事に復帰できないかもしれない」「今後、農作業の仕事ができないかもしれない」「今後、力仕事ができないかもしれない」「今後、農作業で力仕事ができないかもしれない」であった。

これらの仕事に対する心配を語った参加者の年齢は、71 歳、68 歳、75 歳、58 歳であったことから、仕事の心配は前期高齢者と後期高齢者で 3/4 を占めていた。また退院直前の参加者は、身体症状が改善して ADL も自立しており、農作業に必要な動きは可能だが、体力と筋力に関する心配を抱えていることが明らかになった。

先行研究では、手術を受けた大腸がんの復職率は 1 年間で 79.2%だが、ストーマ造設や就労意欲低下によって復職は困難になる<sup>49)</sup>との報告がある。また、がんの復職に関する研究では、労働再開に心身の負担を抱えているという報告があり、復職理由、仕事内容を把握し、適切な復帰時期、復職しやすい要件を助言していくことが重要であると述べられている<sup>50)</sup>。

よって、特に仕事をもっている高齢の結腸がん患者に対しては、仕事に従事できるかどうかの評価や基礎的な体力や筋力の評価を行い、仕事や体力、筋力に心配がある場合は具体的にそれらの心配に対して支援することが必要になると考える。具体的な支援としては、仕事内容の変更やがん治療による合併症や制限すべき動作などについて、適切な仕事内容に関する助言が重要になると考えられる。

## 2. 精神的苦痛に関する心配

本研究の91枚の心配のカードで最も多かったカードは、「がんの再発・転移への心配」であった。がんの再発や転移に対する先行研究では、結腸がん患者が一般的に再発や転移に対する不安や恐怖を在宅に退院した際にも強く抱くことが報告されている<sup>17)</sup>。

本研究の結果、がんの再発・転移の心配を抱えていることが先行研究と一致していたが、身体機能やADLが良好になったにも関わらず、この心理症状が退院時においても抱えていることが明らかになった。

再発・転移に関する心配を軽減する支援には、ナラティブ・アプローチが有用であるとされている。ナラティブ・アプローチとは、人は自分自身のことを誰かに語ることによって、自分の考えを再構成して体験の中に意味を見だし、自己を再構築していくことである<sup>51)</sup>。この支援では、再発・転移の告知を受けた後に医療従事者と話し合うことで、再発・転移に関する心配が軽減し、気持ちが前向きになることが報告されている。

したがって、結腸がん患者の医療従事者は入院中から退院後の将来に関する心配の内容を整理し、退院後にどのような生活を送りたいかを確認する相談する場の設定が必要になると考える。

## 3. ストーマ造設に関する心配

本研究では、結腸がん患者が退院後に抱えるストーマに関する心配として、「ストーマの自己管理に関する心配」と「ストーマの造設に関する心配」の2つの側面が明らかとなった。その結果、ストーマ造設の有無によって患者が抱える心配の種類に差異が見られた。ストーマ造設患者は、「自己管理ができるか」「感染症を起こさないか」といった具体的なストーマの自己管理に関する具体的な心配を抱えていた。先行研究では、高齢者が退院後のストーマ管理に困難を感じる事が報告<sup>51)</sup>されており、このような心配が退院後も継続することで、身体的・心理的負担が増す可能性がある。

一方で、非ストーマ造設患者は「今後ストーマが必要になるのではないか」という将来的にストーマが必要になるかもしれないという漠然とした心配を抱えていた。この心配の背景には、がんの再発や転移への恐れが影響している可能性がある。つまり、単なるストーマの問題ではなく、がんの進行そのものに対する心配が、ストーマ造設の心配を強めていると考えられる。このように、ストーマ造設の有無に関わらず、結腸がん患者は、ストーマ造設に関する心配を抱えており、悪い予期を抱えてしまっている。

ストーマ管理に対する心配を軽減するためには、入院中の指導だけでなく、退院後のサポートも重要になると考える。具体的には、ストーマ管理の実施手順を記載した紙面を提供し、自己管理を行えるようにすることが有効であると考えられる。また、家族や地域の社会サービスの支援を活用することで、定期的なフォローアップを行い、結腸がん患者が自己管理に継続的な支援を提供することも必要であると考えられる。結腸がん患者の負担が軽減し、ストーマ関連合併症のリスクを減らすことが期待できる。これらの支援策を提供により、ストーマに対する心配が軽減すると考える。

#### 4. 家族に関する心配

本研究の結果、結腸がん患者が退院後の生活において家族に関する様々な心配を抱えていることが明らかになった。これらの心配を語った参加者は、退院後も自宅で家族と同居しながら、家事動作などの家庭内役割を担う予定の配偶者であった。

先行研究では、肺がん患者、乳房がん患者で家族の将来に関する心配の内容は明らかになっていないが、本研究では、より具体的な心配の内容が明らかになった。先行研究では、再発や増悪を経験したがん患者が家族と対話し難い体験をしており<sup>52)</sup>、これらは本研究における結腸がん患者の心配の内容と一致しており、家族の負担を最小限にしたいという思いは多くのがん患者に共通して見られる。このことより、退院後の生活で、結腸がん患者が出来る範囲で家庭内役割や介護を行うことができれば、役割に関する心配は軽減し、家族の負担感も軽減できる可能性がある。そのため、入院中から結腸がん患者自身が家庭内での役割を継続することや再構築するための支援が重要になると考える。

したがって、入院中から結腸がん患者が抱える家族の将来に関する具体的な心配の有無や家族の介護に関する心配、自己の役割活動を担わせてしまう心配があるのかないのかを把握すること、その心配の内容に合わせた家庭内役割の再構築や継続に向けた IADL 訓練の実施が重要になると考える。

## 5. がん治療に関する心配

本研究の結果、結腸がん患者が退院後の生活において、がん治療に関連する心配を抱いていることが明らかになった。その内容は、化学療法による身体的な負担や服薬の怠業、免疫機能の低下で感染症に罹患するなどの心配であった。また、脱毛やストーマを造設することへの身体的な外見の変化に関する心配もしていた。先行研究においても、乳がん患者や卵巣がん患者、大腸がん患者はがんの化学療法後に外見の変化が情緒的苦痛などの心理面に悪影響を与えることが示されている<sup>53)</sup>。

本研究の結果によると、化学療法未実施であっても、入院中から髪が抜けるのではないかという外見の変化に関する心配を抱いていたことが特徴的であった。

これらの心配を軽減するためには、入院中からがん治療に伴う外見の変化に関する心配を聴取し、それに応じた支援を行うことで、精神的負担を軽減できる可能性が高くなる。特に入院中から外見に関する支援として、先行研究では、頭髪の脱毛において皮膚障害の管理と外見の変化による心理的・情緒的苦痛の軽減に向けた支援が求められている<sup>53)</sup>。このような身体的および心理的な心配に対応した支援を行うことで、退院後の生活における心配が軽減できると考えられる。

## 6. 身体機能の低下が及ぼす活動に関する心配

先行研究では、消化器がん患者において、がん罹患後の身体機能の低下が手術後の歩行開始日が影響を与える報告されており<sup>54)</sup>、社会活動の低下を防ぐためには、家事などの低強度の身体活動から始めることが有効であるとされている<sup>55)</sup>。

しかし、本研究では、結腸がん患者が退院後に、日常生活の中で重たい物を持ち上げることにに対する心配や、通院や公共交通機関の利用、余暇活動ができなくなることにに対する単に低強度の家事などの日常生活活動を行うだけではない心配が明らかにされた。

上記の心配を軽減するためには、日常生活を送るための体力や筋力の回復を図るだけでなく、社会とのつながりを保ち、精神的にも充実した生活を送るために、余暇活動ができる場合は、入院中から余暇活動ができるよう支援を行う。また、以前と比べて余暇活動が出来なくなった場合は、余暇活動に対する楽しみ方を支援することが必要である。一般的にがん患者に対する作業療法は、身体機能および活動や参加の改善のために、ADL 支援、運動療法、就労支援、余暇活動の支援をしている。例えば、ビデオゲームの環境を調整することで、余暇活

動が再開し、うつ状態や意欲低下が改善した報告がある<sup>56)</sup>。また、逝去した夫に対する悲嘆感情がある心不全を発症した高齢女性に余暇活動の花壇管理を実施した結果、悲嘆感情や不安、うつ状態が改善した報告がある<sup>57)</sup>。がん患者に対する余暇活動の支援は、抑うつ症状がある子宮体がん患者に余暇活動の楽しさを考慮した作業療法を実施した結果、うつ状態が改善した事例が報告されている<sup>30)</sup>。これらの報告から、うつ状態の改善のために、余暇活動や余暇活動の楽しさを取り入れることで、心配や不安などの状態が改善する可能性があると考えられる。具体的には、入院中から余暇活動における楽しさを評価して、余暇活動の楽しさを実感できるような作業療法を提供することが、心配の改善に有効であると期待できる。さらに、通院や公共交通機関の利用についても、移動のための体力の強化だけでなく、具体的な移動環境の整備や指導が重要である。これにより、安全かつ快適に外出できるようになり、社会活動に対する心配が軽減することができると思われる。

## 7. 食事に関する心配

本研究では、結腸がん患者が退院後の食事に関して食べ物の消化に関する具体的な心配を抱えていることが明らかとなった。また、「何を食べるべきか」という食事の選定に関する心配を抱いていた。先行研究では、大腸がん患者において術後の食事や飲酒に関する認識が不十分であり、これが生活習慣に影響を与えることが報告されている<sup>58)</sup>。しかし、結腸がん患者が入院中から食事の選定や消化に関する心配を抱えていることに関する報告はない。実際にA病院では、食事に関する十分な指導が行われていない状況が確認された。

この結果を踏まえると、栄養士との連携し、手術後の消化器機能に負担をかけない食事内容や、特定の栄養素を補うための食事工夫を提案することが重要であると示唆された。さらに、食事に関する知識を深め、自らの健康維持に積極的に取り組めるような支援が効果的であると考えられる。このような栄養管理を行うことで、食事に関する心配が軽減することができると思われる。

## 8. 本研究で明らかになった結腸がんにおける特有の心配

先行研究では、がんによる痛みや倦怠感などの身体症状を有する場合の不安が報告されている。一方で、本研究の対象者は、身体症状を有しない結腸がん患者を対象にした心配の研究である。その結果、入院中の結腸がん患者は、退院後の生活を見据えた将来に関する心配を抱えていることが明らかになった。

がん患者の心配に関する研究は、再発や病気そのものに関する心配がこれまで報告されている。特に、退院後の結腸がん患者を対象にした心配に関する研究では、食事や排泄に関する心配が報告されている。一方、本研究の結果では、食物の消化、ストーマの管理やストーマの可能性、重たいものを持たず、仕事や家事動作ができないといった具体的な生活に関する心配が明らかになった。つまり、結腸がん患者における特有の心配は、先行研究の食事や排泄の心配に加えて、身体的な心配や、社会的役割の心配に広がっていたことが明らかになった。したがって、入院中の結腸がん患者は、退院後を想定した様々な心配が生じている可能性があるため、これらの心配の内容を入院中から詳細に聴取する必要がある。そして、その詳細な心配を明らかにすることによって、心配に対する最善の支援が行えると考えられる。

## VI. 研究の限界

本研究における研究限界として、2つの点が挙げられる。第1に、本研究では、病態説明の有無に関わらず、参加者全員から将来に関する心配を聴取した点である。病態説明を受けた参加者と受けていない参加者が混在しており、この違いが心配の種類や程度にどのような影響を与えるかについては十分な検討が行われていない。そのため、今後の研究では、病態説明を受けた群と受けていない群を明確に分けて調査を実施する必要がある。

2点目は、質的研究であり、症例数が少ないため、結果の一般化が今後の課題として挙げられた。また、入院中の結腸がん患者が抱える心配の内容や性質を抽出したが、これらの心配が他地域で入院している結腸がん患者と一致しているか不明である。したがって、今後の研究では、他の地域で入院している結腸がん患者の対象者数を増やすことで、結腸がん患者が抱える将来に関する心配の一般化に向けた研究が必要であると考えられる。

## VII. 結論

本研究では、退院時における結腸がん患者が抱く将来に関する心配を質的研究の半構造化インタビューで調査し、内容分析を行なった。その結果、退院時における結腸がん患者の将来に関する心配の語りから91枚のカードを作成し、カテゴリが27個抽出された。27個のカテゴリは、主に仕事に関する心配、精神的苦痛に関する心配、ストーマ造設に関する心配、家族に関する心配、がん治療に関する心配、身体機能の低下が及ぼす活動に関する心配、食事に関する心配で構成されていた。これは、入院中から結腸がん患者の将来的な心配を聴取し、心配を改善する支援を検討することが重要であると考えられる。

## VIII. 謝辞

本論文の執筆にあたり,本研究にご参加いただいた対象者の皆様およびそのご家族様に心から感謝いたします。また,北海道医療大学大学院リハビリテーション科学研究科にてご指導を賜りました先生方,大学院生の皆様に心から感謝申し上げます。

指導教員である本家寿洋教授には,研究計画,研究解析,論文執筆のみならず,作業療法士としての学びを多く与えていただきました。心から感謝申し上げます。

## IX. 文献

- 1) 国立がん研究センターがん情報サービス. [2022年2月26日], [https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/annual.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/annual.html)
- 2) Dietz J H(1981): Rehabilitation oncology. John Wiley&Sons, New York, USA.
- 3) 辻 哲也(2018): がんに対するリハビリテーション医療の意義. 日本リハビリテーション医学(監). リハビリテーション医学・医療コアテキスト. 医学書院, 248-251.
- 4) 辻 哲也(2015): がんリハビリテーション最前線. 理学療法学 42(4), 352-359.
- 5) Yoon J, Chun M, Lee S, Kim B(2014): Effect of virtual reality based rehabilitation on upper extremity function in patients with brain tumor: controlled trial. Am J Phys Med Rehab 94(6), 449-459.
- 6) がんのリハビリテーション診療ガイドライン改訂委員会(2019): がんの診療ガイドライン第2版. [2021年3月21日], [https://www.jarm.or.jp/document/cancer\\_guideline.pdf](https://www.jarm.or.jp/document/cancer_guideline.pdf)
- 7) Gerpen R V, Becker B(2013): Development of an evidence based exercise and education. cancer recovery program. Clin J Oncol Nurs 17(5), 539-543.
- 8) Fang F, Fall K, Mittleman M A, Sparén P, Ye W, Adami H O, Valdimarsdóttir U(2012): Suicide and cardiovascular death after a cancer diagnosis. N Engl J Med, 366(14)1310-1318.
- 9) Kei Hirai, Mariko Siozaki, Hiroko Motooka, Hirokazu Arai, Atuko Koyama, Hiroki Inui, Yousuke Uchitomi (2008): Discrimination between worry and anxiety among cancer patients: development of a brief cancer-related worry inventory. Psycho-Oncology(17), 1172-1179.
- 10) Block SD(2000): Ann Intern Med, Assessing and managing depression in the

- terminally ill patient. ACP-ASIM End-of-life Care Consensus Panel. American College of Physicians-American Society of Internal Medicine. 132, 209-218
- 11) 若崎 淳子, 掛橋 千賀子, 谷口 敏代(2006): 周手術期にある乳がん患者の心理的状況-初発乳がん患者により語られた内容の分析から-. 日本クリティカルケア看護学会誌 2(2), 62-74.
- 12) 小笠 美春, 當目 雅代, 野口 英子(2019): 手術を受ける肺がん患者の入院前から退院後における健康関連 QOL および不安・抑うつ状態の推移. 同志社看護 4, 7-17.
- 13) 辻 あさみ(2009): 低位前方切除術後患者に排便機能障害が及ぼす心理的影響とその対処. 日医看教会誌 18, 34-38.
- 14) 小暮 英輔, 原 毅, 石井 貴弥, 前田 眞治(2015): 周術期消化器がん患者における倦怠感の質について. 理学療法科学 30(6), 867-872.
- 15) Jorunn D, Geir E(2016): Symptoms of depression, sadness and sense of coherence (coping). among cognitively intact older people with cancer living in nursing homes—a mixed- methods study. Article in PeerJ4(3), 1-16.
- 16) Deimling G T, Bowman K F, Samantha S, Louis J, Wagner, Boaz K(2006): Cancer related health worries and psychological distress among older adult, long-term cancer survivors. Psychooncology15(4), 306-320.
- 17) 水越 秋峰, 白尾 久美子(2012): 結腸がん患者の手術から初回外来までの回復過程における体験. 日本看護研究学会雑誌 35(4), 1-11
- 18) 原 毅, 佐野 充広, 四宮 美穂, 野中 悠志, 市村 駿介, 中野 徹, 松澤 克, 櫻井 愛子, 草野 修輔, 久保 晃, 久保田啓介(2013): 消化器がん患者の周術期から自宅復帰後までの身体運動機能と Quality of Life の追跡調査. 理学療法学 40(3), 184-192.
- 19) 角田 明良, 中尾 健太郎, 高田 学, 神山 剛一, 平塚 研之, 山崎 勝雄, 鈴木 直人, 林 征洋, 保田 尚邦, 草野 満夫(2004): 大腸癌術後 1 年間の QOL の解析. 日本消化器外科学会雑誌 37(10), 1603-1609.
- 20) 遠山 柁介, 小森 康寛, 陶山 香里, 森下 辰也, 陶山 和晃, 宮城 昭仁, 蒔本 憲明, 田中 貴子, 神津 玲(2019): 食道がん術後に転入院した患者の健康関連生活の質の現状と関連要因. 保健学研究 32, 55-63.
- 21) Smith AW, Reeve BB, Bellizzi KM, Harlan LC, Klabunde CN, Amsellem M, Klabunde CK, Amsellem M, Bierman AS, Hays RD(2008): Cancer, comorbidities, and health-related

- quality of life of older adults. *Health Care Financ Rev*29(4). 41-56.
- 22) Bourke L, Homer KE, Thaha MA, Steed L, Rosario DJ, Robb KA, Saxton JM, Taylor SJC(2014):  
Interventions to improve exercise behaviour in sedentary people living with and beyond cancer:a systematic review. *Br J Cancer*110(4), 831-841.
- 23) Cramp F, Daniel J(2012): Exercise for the management of cancer related fatigue in adults. *Cochrane Data base of Syst Rev*14;11(11), 1-89.
- 24) Velthuis M, Agasi-Idenburg S, Aufdemkampe G, Wittink H(2010): The effect of physical exercise on cancer-related fatigue during cancer treatment:a meta analysis of randomised controlled trials. *Clinical Oncology*22(3), 208-221.
- 25) Kangas M, Bovbjerg D, Montgomery G(2008): Cancer-related fatigue:a systematic and meta-analytic review of non-pharmacological therapies for cancer patients. *Psychol Bull*134(5), 700-741.
- 26) Buffart L M, YThong M S, Schep G, Chinapaw M, Brug Lonneke V(2012): Self-Reported Physical Activity: Its Correlates and Relationship with Health-Related Quality of Life in a Large Cohort of Colorectal Cancer Survivors. *PLoS One*, 7(5), 1-9
- 27) George Kypriotakis(2016): The feasibility, acceptability and outcomes of exergaming among individuals with cancer: a systematic review, *Psychooncology* Feb25, 225-231.
- 28) MACKENZI P, GRANT RW, CLAUDINE C, LAURO AM, MUSS HB(2016): Occupational Therapy for Adults With Cancer: Why It Matters. *The Oncologist*21, 314-319.
- 29) 錦古 里美和, 路川 実代子, 立山 清美(2011): わが国におけるがんに対する作業療法アンケート調査. *J Rehabil Health* 9, 19-25.
- 30) 日谷 正希, 本家 寿洋, 山田 孝(2014): 「高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法」の実施が, 自己効力感の改善と作業選択の支援に役立った事例. *作業行動研究*, 18(3), 152-161.
- 31) Daiva Petruseviciene(2018): Effect of Community Based Occupational Therapy on Health Related Quality of Life and Engagement in Meaningful Activities of Women with Breast. *Cancer Occupational Therapy International* Apr17, 1-13.
- 32) Miyuki imanisi, Hisao Tomohisa, Kazuo Higaki(2015): In home occupational therapy for a patient with stage IV lung cancer: changes in quality of life and

- analysis of causes. Springerplus, Apr 4(157), 1-5.
- 33) JungaLee, JeffreyA, Meyerhardt, EdwardGiovannucci, JustinY. Jeon(2015): Association between Body Mass Index and Prognosis of Colorectal Cancer: A Meta Analysis of Prospective Cohort Studies. PLOS ONE journal, 3(26), 1-25.
- 34) 坂本 真士(1998): 自己注目と抑うつ-抑うつの発症・維持を説明する3段階モデルの提起-. 心理学評論 41, 283-302.
- 35) 鎌倉 矩子 (2003): -平成14年度保健学科FD研修会-保健学と質的研究-質的研究に胡散臭さを人々に応えて-. 広大保健学ジャーナル 2(2), 4-11.
- 36) 真志田 祐理子, 深堀 浩樹, 太田 喜久子(2019): 大腸切除術後に老いを生きる後期高齢者の生活の変化とその対応. 日本看護科学会誌 39, 278-287.
- 37) 妹尾 未妃(2009): 中年期乳がん患者の乳がん罹患後の人生の希望と不安-家族や同病者, 重要他者からのサポートとの関連について-. 母性衛生 50(2), 334-342.
- 38) 岡本 佳也(2020): 骨・関節疾患術後高齢者が退院に際して抱く不安の分析. 老年看護学 24, 96-105.
- 39) 青柳 健隆(2023): 質的研究の実践テクニック-論文執筆および査読における留意点-. 日健教誌 3(14), 265-272.
- 40) Marshal F F, Susan E F, Paul R M, Gary F(2012): 精神状態短時間検査-日本版(MMSE-J). 日本文化科学社, 東京.
- 41) 中尾 健太郎, 角田 明良, 松井 伸朗, 後藤 哲広, 木川 岳, 林 征洋, 長山 裕之, 高場 利博(2010): 大腸がん告知に対する心理状態の検討とその対応. 日外科系連会誌, 35(6), 850-855.
- 42) 福原 俊一, 鈴鴨よしみ(2019). SF-8日本語版マニュアル. NPO健康医療評価研究機構, 39-42.
- 43) 杉下 守弘, 逸見 功, 竹内 具子(2016): 精神状態短時間検査-日本版(MMSE-J)の妥当性と信頼性に関する再検討. 認知神経科学 18(3), 168-183.
- 44) Lincoln, Y&Guba(1985): E, Naturalisticenquiiy. Sage Publications.
- 45) 寺下 貴美(2011): 第7回質的研究方法論-質的データを科学的に分析するために-. 日本放射線技術學會雑誌, 67(4), 413-417.
- 46) Cypress, Brigitte S. EdD, RN, CCRN(2017): Rigor or Reliability and Validity in Qualitative Research: Perspectives, Strategies, Reconceptualization, and

Recommendations. *Dimensions of Critical Care Nursing*, 36, 253-263.

- 47) 野口 美和子 (2000) : ナースのための質的研究入門-研究方法から論文作成まで. 医学書院, 15-16, 171.
- 48) Hassankhani H, Dehghannezhad J, Rahmani A, Ghafourifard M, Soheili A, Lotfi M (2022) : Caring Needs of Cancer Patients from the Perspective of Home Care Nurses: A Qualitative Study. *Asian Pac J Cancer Prev* 23(1), 71-77.
- 49) Yusuke Fujita, Koya Hida, Takashi Sakamoto, Daisuke Nishizaki, Shiro Tanaka, Nobuaki Hoshino, Kae Okoshi, Ryo Matsusue, Takumi Imai, Kazutaka Obama (2023) : Employment Status of Patients With Colorectal Cancer After Surgery: A Multicenter Prospective Cohort Study in Japan. *Diseases of the Colon & Rectum* 66(12), 1207-1216. 雇用に関する論文
- 50) 堀井 直子, 小林美代子, 鈴木 由子 (2009) : 外来化学療法を受けているがん患者の復職に関する体験. *日職災医誌*, 57 (3) , 118-124.
- 51) 松原 康美, 遠藤 恵美子 (2005) : がんの再発・, 転移を告知され, 永久的ストーマを造設した患者と看護師で行うナラティブ・アプローチの効果. *日がん看会誌*, 19(1) 33-42.
- 52) 大橋 佳代, 稲垣 美智子, 多崎 恵子, 堀口 智美 (2020) : 再発や増悪を経験したがん患者が“家族と対話し難い体験”. *日本看護研究学会雑誌*, 43(4), 705-713.
- 53) 山口 昌子, 小松 浩子 (2018) : がん化学療法を受けた患者の外見の変化とそれに伴う心理的苦痛の実態—システムティックレビュー—. *日がん看会誌*, 32, 170-179.
- 54) 矢部 宏樹, 塚本 美月, 中根 真利子, 高尾 真理子, 大見 関 (2018) : 大腸がん術後の身体機能低下に影響する周術期要因の検討. *日本静脈経腸栄養学会*, 33(5), 1147-1152.
- 55) 藤井 綾, 井上 順一郎, 牧浦 大祐, 三浦 靖史 (2014) : 消化器がん患者の退院後の運動習慣と社会活動における関連性の検討. *理学療法科学*, 29(1), 1-7.
- 56) 大寺 亜由美, 竹内 寛人, 浅井 憲義, 福田 倫也 (2014) : 脳卒中後うつ状態を呈する重度四肢麻痺患者に対する作業療法～余暇活動としてのビデオゲーム実施の試み～. *作業療法*, 33 (2) , 164-171.
- 57) 三宮 孝太, 本家 寿洋 (2021) : 高齢者版・余暇活動の楽しさ評価法を使用した作業の提供で心臓リハビリテーションが円滑化した慢性心不全をもつ高齢女性の一事例. *作業療法*, 40 (5) , 674-682.
- 58) 宇地原 大海, 神里みどり (2018) : 大腸がん患者の症状の認識とリスク因子の知識および

生活習慣との関連. 日本看護科学会誌, 38, 383-393.

## あなたの健康について

このアンケートはあなたがご自分の健康をどのように考えているかをおうかがいするものです。あなたが毎日をどのように感じ、日常の活動をどのくらい自由にできるかを知るうえで参考になります。お手数をおかけしますが、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

以下のそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに印 (☑) をつけてください。

1. 全体的にみて、過去1ヵ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	ぜんぜん良くない
▼	▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input checked="" type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6

2. 過去1ヵ月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん妨げられなかった	わずかに妨げられた	少し妨げられた	かなり妨げられた	体を使う日常活動ができなかった
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

3. 過去1ヵ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん妨げられなかった	わずかに妨げられた	少し妨げられた	かなり妨げられた	いつもの仕事ができなかった
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

4. 過去1ヵ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

ぜんぜん なかった	かすかな 痛み	軽い痛み	中くらいの 痛み	強い痛み	非常に 激しい痛み
▼	▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6

5. 過去1ヵ月間、どのくらい元気でしたか。

非常に 元気だった	かなり 元気だった	少し 元気だった	わずかに 元気だった	ぜんぜん 元気でなかった
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

6. 過去1ヵ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し 妨げられた	かなり 妨げられた	つきあいが できなかった
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

7. 過去1ヵ月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか。

ぜんぜん悩ま されなかった	わずかに 悩まされた	少し 悩まされた	かなり 悩まされた	非常に 悩まされた
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

8. 過去1ヵ月間に、日常行う活動（仕事、学校、家事などのふだんの行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し 妨げられた	かなり 妨げられた	日常行う活動が できなかった
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

ご協力、ありがとうございました。

付録 ii 認知機能検査

## Mini-Mental State Examinaton (MMSE)

検査日： 年 月 日 曜日 施設名： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_ 男・女 生年月日：明・大・昭 年 月 日 歳

プロフィールは事前または事後に記入します。検査者： \_\_\_\_\_

得点：30点満点

質問と注意点		回答	得点			
1 (5点) 時間の 見当識	「今日は何日ですか」	日	0	1		
	「今年は何年ですか」	年	0	1		
	「今の季節は何ですか」		0	1		
	「今日は何曜日ですか」	曜日	0	1		
	「今月は何月ですか」	月	0	1		
2 (5点) 場所の 見当識	「ここは都道府県でいうと何ですか」		0	1		
	「ここは何市(*町・村・区など)ですか」		0	1		
	「ここはどこですか」		0	1		
	(*回答が地名の場合、この施設の名前は何か、と質問をかえる。正答は建物名のみ)		0	1		
	「ここは何階ですか」	階	0	1		
3 (3点) 即時想起	「今から私がいう言葉を覚えてくり返し言ってください。」					
	『さくら、ねこ、電車』はい、どうぞ		0	1		
	*テスターは3つの言葉を1秒に1つずつ言う。その後被験者に繰り返させ、この時点で、いくつ答えたかで得点を与える。 *正答1つにつき1点。合計3点満点。 「今の言葉は、後で聞くので覚えておいてください」 *この3つの言葉は、質問5で再び復唱させるので3つ全部答えられなかった被験者については、全部答えられるようになるまでくり返す。(ただし4回まで)		2	3		
4 (5点) 計算	「100から順番に7をくり返し引いてください」		0	1	2	
	*5回くり返し7を引かせ、正答1つにつき1点。合計5点満点。 正答例： 93 86 79 72 65 *答えが止まってしまった場合は「それから」と促す。		3	4	5	
5 (3点) 遅延再生	「さっき私が言った3つの言葉は何でしたか」		0	1	2	3
6 (2点) 物品呼称	時計(又は鍵)を見せながら「これは何ですか？」					
	鉛筆を見せながら「これは何ですか？」		0	1	2	
7 (1点) 文の復唱	「今から私がいう文を覚えてくり返し言ってください。」					
	『みんなで力をあわせて綱を引きます』		0	1		
8 (3点) 口頭指示	*紙を机に置いた状態で指示を始める。 「今から私がいう通りにしてください。」					
	右手にこの紙を持ってください。それを半分に折りたたんでください。そして私にください」		0	1	2	3
9 (1点) 書字指示	「この文を読んで、この通りにしてください」	2ページ目に 質問有	0	1		
10 (1点) 自発書字	「この部分に何か文章を書いてください。どんな文章でもかまいません」	2ページ目に 質問有	0	1		
11 (1点) 図形模写	「この図形を正確にそのまま書き写してください」	2ページ目に 質問有	0	1		

## 退院時の結腸がん患者の心配に関する研究に対するご協力をお願い

北海道医療大学リハビリテーション科学部  
研究実施者 作業療法士 岩岡 拓人

この研究は、結腸にがんを罹患された患者様が抱く、将来に関する心配事を調査したいと考えておりますので、以下のことにご協力をお願いいたします。

### 1. 研究の方法

がんに関する将来の心配事をインタビュー形式でお聞きいたします。

インタビューは退院予定日の 3 日前に研究実施者が行います。回答時間は、約 30 分を予定しています。その際、外部の人に聴取した内容が漏れないように個室で行います。インタビューの内容は、退院後の心配に関する内容をお聞きします。また、インタビュー内容を正確に記録するために、ICレコーダーを使用し、録音させていただきたいと考えています。

疲労などを認めた場合は、休憩あるいは一旦中止し、万が一、体調が悪くなった場合は、医師にすぐ連絡を取りますのでご安心ください。

### 2. 研究への参加とその撤回について

研究への参加は自由意志ですので、いつでも研究協力を途中で撤回することができますので、その際には、私にお申し付けください。研究に参加しなくても、あるいは途中で研究を撤回しても、不利益を被ることは一切ありません。そのことは院長からも承諾を受けています。

### 3. 個人情報の取扱いについて

個別データは厳重に取り扱い、本研究で得られた結果は、学会や論文で公開させていただきますが、個人が特定されるような個人情報は一切公開しませんのでご安心ください。

### 4. 感染対策について

マスクの着用と手の消毒を徹底し、インタビューに使用する部屋は清潔に保ち、万全の感染対策をとりますので、安心して研究にご協力いただければ幸いです。

### 5. 研究代表者と連絡先

本研究に関して、何かご不明な点がありましたら下記の岩岡まで遠慮なくお尋ねください。

#### 【研究実施者連絡先】

北海道 深川市立病院 診療技術部 リハビリテーション科 作業療法室

北海道医療大学 リハビリテーション科学研究科 岩岡拓人(いわおか たくと)

[連絡先]〒074-0006 北海道深川市6条6番 1 号

電話:0164-22-1101(代表) E-mail:takuto0820@hoku-iryo-u.ac.jp

## 同 意 書

北海道医療大学リハビリテーション科学部長

小島 悟 殿

研究課題名：「結腸がん患者の退院時における将来に関する心配の質的研究」

1. 研究の方法
2. 研究への参加とその撤回について
3. 個人情報の取扱いについて
4. 感染対策について
5. 研究代表者と連絡先

### 【署名欄】

私はこの研究に参加するにあたり、以上の内容について十分な説明を受けました。研究の内容を理解いたしましたので、この研究に参加することについて同意します。また、説明文書と本同意文書の写しを受け取ります。

同意日：令和 年 月 日

署名： \_\_\_\_\_ (自署)

### 【代諾者の署名欄】

私は \_\_\_\_\_ さんが、この研究に参加するにあたり、以上の内容について十分な説明を受けました。研究の内容を理解いたしましたので、この研究に参加することについて同意します。また、説明文書と本同意文書の写しを受け取ります。

同意日：令和 年 月 日

代諾者 氏名： \_\_\_\_\_ (自署) 続柄 \_\_\_\_\_

### 【説明者】

私は、本研究について十分に説明した上で同意を得ました。

説明日：令和 年 月 日

説明者氏名：\_\_\_\_\_（自署）

## 同意撤回書

北海道医療大学リハビリテーション科学部長

小島 悟 殿

臨床研究課題名：「結腸がん患者の退院時における将来に関する心配の質的研究」

### 【署名欄】

私は、上記研究について説明を受け、この研究に参加することについて同意をいたしました。これを撤回します。

同意撤回日：令和 年 月 日

署名：\_\_\_\_\_（自署）

### 【代諾者の署名欄】

私は \_\_\_\_\_ さんが、上記研究について担当医師より説明を受け、この研究に参加することについて同意をいたしました。これを撤回します。

同意撤回日：令和 年 月 日

代諾者 氏名：\_\_\_\_\_（自署） 続柄 \_\_\_\_\_

### 【確認者】

私は、上記の患者さんが、同意を撤回されたことを確認しました。

確認日：令和 年 月 日

氏名：\_\_\_\_\_（自署）

## 結腸がん患者様の将来に関する心配の研究 インタビューの説明とインタビューガイドについて

### (1)インタビューの説明

本インタビューは、退院時における**将来に関する心配**を明らかにする目的で、がん患者の心配評価尺度を使用いたします。この、がん患者の心配評価尺度を基に作成したインタビューガイドに準じて、インタビューを行います。また、インタビュー内容を正確に記録するために、ICレコーダーを使用し、録音させていただきたいと考えています。質問に対して、心配がある場合は「どのようなことが心配ですか？」と続けてお聞きしますので、心配だと感じていることに回答していただければ幸いです。心配がない場合は、次の設問に移りますが、回答の有無で不利益は生じません。また、答えたくない質問に対して、回答を強要することはありませんのでご安心ください。

さらに、インタビュー中に気分や体調が悪いと感じた場合は、担当医師、看護師に連絡を入れるなど、即座に対応します。

インタビューを途中で中断されても、何らかの不利益は生じません。

### (2)インタビューガイド

Q1.がんという病気自体に関する心配はありますか？

→どのようなことが心配ですか？

Q2.家族との関係に関する心配はありますか？

→どのようなことが心配ですか？

Q3.自分のこころの状態に関する心配はありますか？

→どのようなことが心配ですか？

Q4.治療の効果に関する心配はありますか？

→どのようなことが心配ですか？

Q5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配はありますか？

→どのようなことが心配ですか？

Q6.家族の将来に関する心配はありますか？

→どのようなことが心配ですか？

以上で説明とさせていただきます。ご協力いただければ幸いです。

## 感染対策計画申請書

令和 4 年 7 月 4 日

北海道医療大学リハビリテーション科学部長  
小島 悟 殿

研究実施者  
所 属:北海道医療大学大学院  
リハビリテーション科学研究科  
博士課程前期  
職 名:作業療法士  
氏 名:岩岡 拓人

下 記 の 通 り 申 請 い た し ま す .

### 記

課 題 名 : 結腸がん患者の退院時における将来に関する心配の質的研究

○健康管理と健康チェック (対象者及び研究者) に関する方策

研究対象者	研究実施者
<ul style="list-style-type: none"><li>・体調不良の有無(37℃以上の発熱,咳,鼻水,喀痰,咽頭痛,倦怠感,頭痛,下痢,結膜炎,呼吸困難感,嗅覚・味覚異常)があった場合は,研究責任者へ報告する.</li><li>・研究参加日に上記の症状を認めた場合は,研究参加を延期する.</li><li>・研究参加後,体調記録を退院日まで継続する.</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・対象者に感染対策について説明を行う.</li><li>・体調不良のうち,左記のいずれかが確認された場合あるいはその有無が明らかでない場合は,研究実施を延期する.</li><li>・熱発等の体調不良が認められた場合,症状の経過を把握し,症状消失後,48 時間が経過した後に研究実施日を検討する.</li></ul>

○感染者との濃厚接触者と判断される場合の方策

研究対象者あるいは研究実施者が感染者となった場合,本人あるいは代理人が直ちに本学及び研究責任者に報告し,研究を中止する. 対応については,保健所の支持に従う. 発症後 14 日間かつ症状消失後 3 日間以上経過した後,主治医からの指示を参考にして研究再開を検討する.

○データ採取の際の対応

- ①体温は病棟にて毎朝検温されている.
- ②密集を避けるため,インタビュー時は対象者の病室もしくは外科病棟の食堂を使用し,研究実施者と1対1にて行う.
- ③密閉を避けるため,適宜換気を行う.
- ④インタビュー時において,対象者はマスクを着用する.研究実施者はアイシールドならびにマスクを着用する.
- ⑤対象者および研究実施者はデータ採取の前後において,石鹼を用いた手洗いならびに消毒用アルコールを用いた手指消毒を実施する.
- ⑥インタビュー時は可能な限り,対象者と研究実施者との距離が2m以上となるように配慮する.
- ⑦説明およびインタビュー実施時は,対面での会話を避ける.
- ⑧インタビューでのデータ採取のため,身体接触は基本的にない.
- ⑨インタビュー終了後,研究実施者はアルコール配合除菌用ウェットティッシュを用いて,使用したテーブル,椅子を消毒する.

図 1 BCWI の構成概念

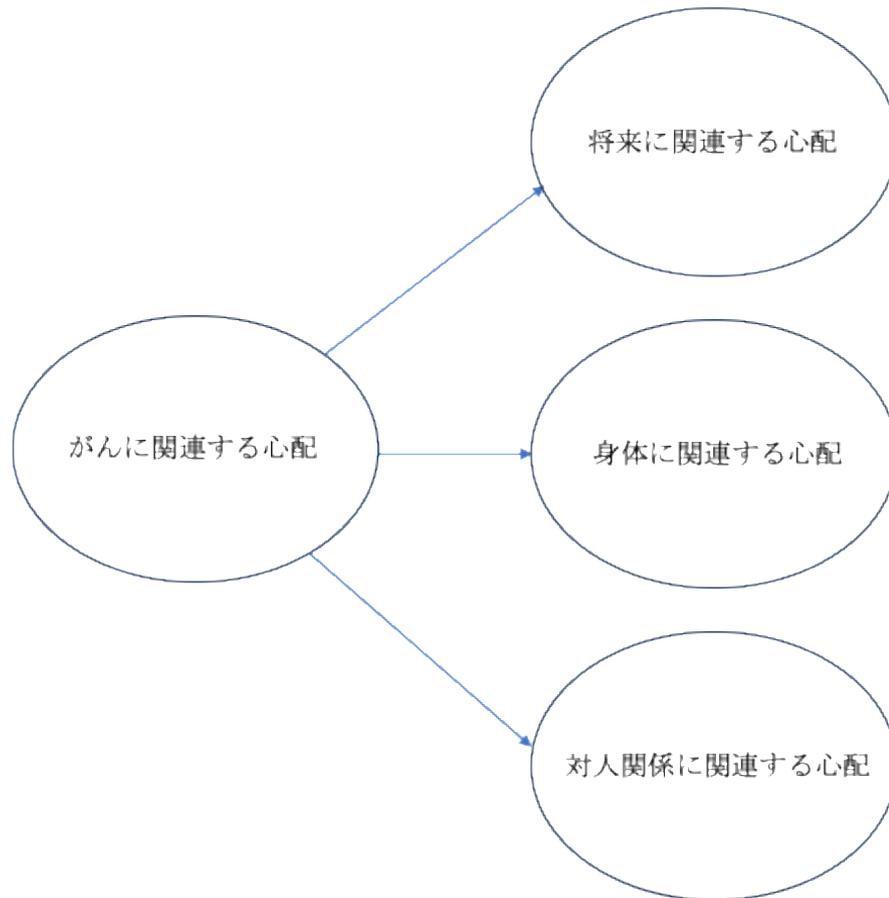


図2 検討手順

各手順を研究者が先行して実施した後、担当教授と大学院生に確認と助言としてトライアングレーションを実施する。

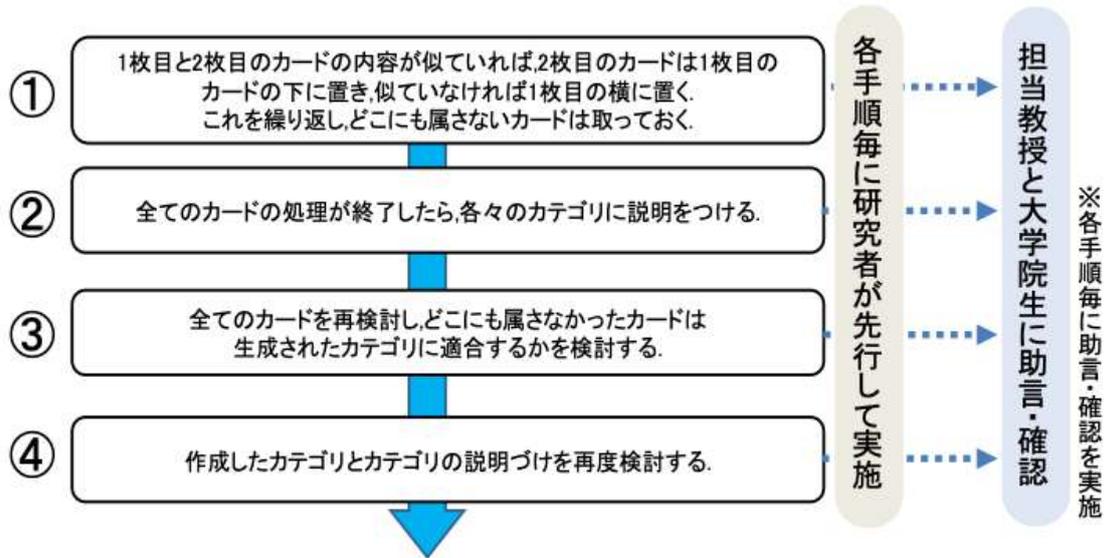


図3 結腸がん患者における将来に関する心配のカテゴリ

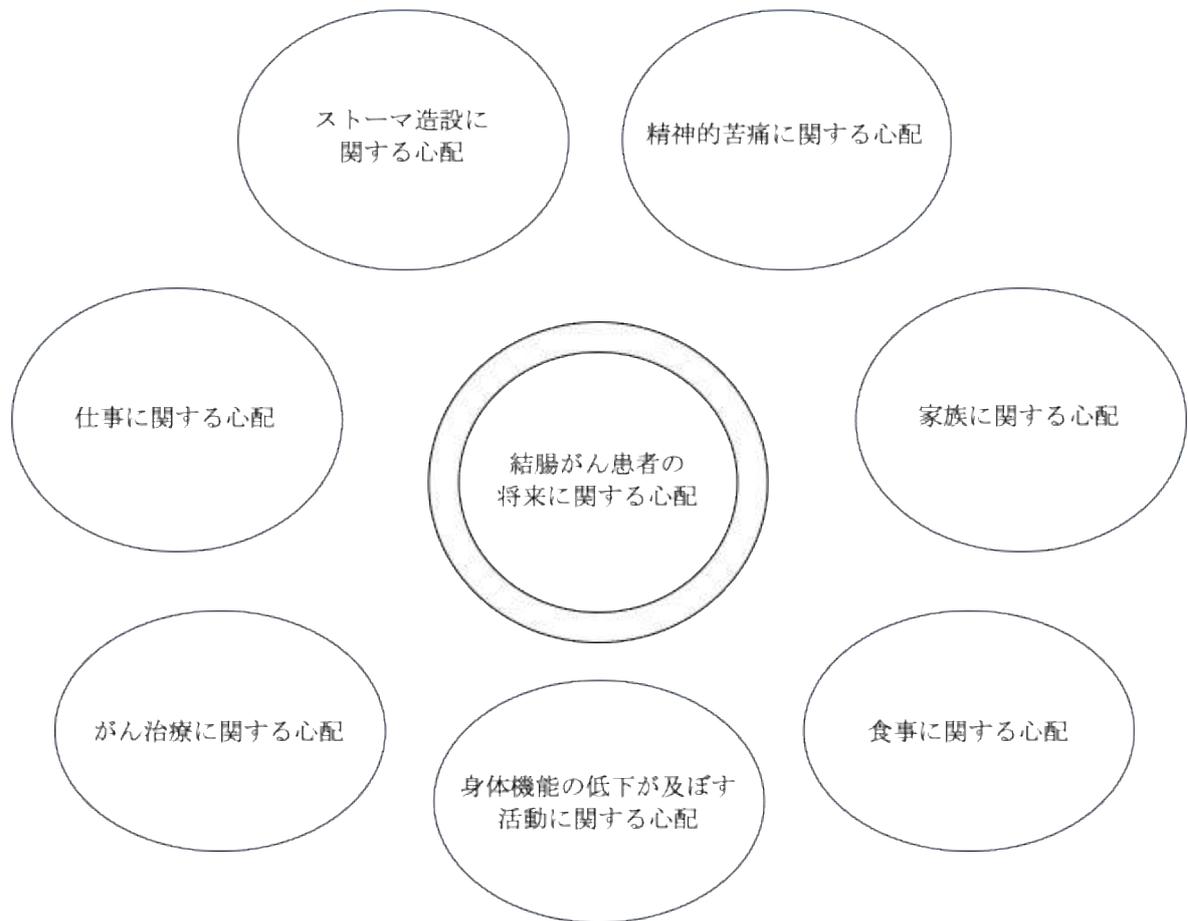


表 1 がん患者の心理症状に関する先行研究一覧

先行研究	報告内容
がん患者の抑うつ・不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肺がん患者の抑うつ症状としたHADS得点は術前後で有意差なし,入院直前3割から退院後5割に増加した<sup>12)</sup>.</li> <li>・ 大腸がん患者は,手術後に排便機能に関する知識不足が原因で,不安を示した報告がある<sup>13)</sup>.</li> <li>・ 消化器がん患者の倦怠感や抑うつ症状と不安に正の相関を認めた<sup>14)</sup>.</li> </ul>
がん患者の心配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢がん患者の55%が抑うつ症状,身体機能が低下してADL,仕事,余暇活動ができないことへの不安を訴えた<sup>15)</sup>.</li> <li>・ 乳房がん患者,肺がん患者の心配評価尺度 (BCWI) の開発.BCWIとHADSの間に正の相関を示した<sup>3)</sup>.</li> <li>・ 結腸がん患者は食事や排泄の心配が特徴的であった<sup>17)</sup>.</li> </ul>
がん患者のQOL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消化器がん患者のSF-36 (身体機能等) の手術後に低下した<sup>18)</sup>.</li> <li>・ 大腸がん患者では術後1ヶ月にQOLや倦怠感が最低値を示した<sup>19)</sup>.</li> <li>・ 高齢患者のQOLが非がん患者より低い<sup>21)</sup>.</li> </ul>
心理症状およびQOLに関するリハ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動療法により身体機能が改善しADL・QOL向上した<sup>22-26)</sup>.</li> <li>・ 直腸がん患者では身体的QOLと運動に正の相関も精神的QOLでは有意差なし<sup>26)</sup>.</li> </ul>
作業療法と心理症状・QOL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Exergamingの楽しさでリハ参加頻度が向上した<sup>27)</sup>.</li> <li>・ 作業療法における心理症状介入は13%と低いが,余暇活動を取り入れて抑うつやQOLの改善事例あり<sup>29-30)</sup>.</li> </ul>

表 2. インビューガイド

---

- Q1. がんという病気自体に関する心配はありますか？→どのようなことが心配ですか？
  - Q2. 家族との関係に関する心配はありますか？→どのようなことが心配ですか？
  - Q3. 自分のこころの状態に関する心配はありますか？→どのようなことが心配ですか？
  - Q4. 治療の効果に関する心配はありますか？→どのようなことが心配ですか？
  - Q5. 主治医や医療スタッフとの関係に関する心配はありますか？→どのようなことが心配ですか？
  - Q6. 家族の将来に関する心配はありますか？→どのようなことが心配ですか？
-

表 3. カードの作成方法の例

<p>将来に関する心配に関連する内容</p>	<p>大腸がんを平成 7 年にもやっている。そのとき、物が食べられなかった。最初はカステラや牛乳、徐々に食べ始めた。<u>今後も形ある物を食べ始めるのが心配だね。</u>よく噛んで食べるようにしている。豆腐が一番食べやすいね。<u>物が食べられるかどうか</u>が心配、徐々に増やしていくよ。3 人とも仕事しつつ、自分のことは自分でやっている。でも、食べたいものがあれば買ってきてもらったり、冷蔵庫を開けて見て買ってもらうんだ。今後、流しのことは自分でやっていきたい。流しのことは心配はない。良くなるまで大人しくしている。<u>今後は自分のことを中心に心配していくことにする、物を食べられることだね。</u>家族からも前は普通食になるまで 3 年かかったから頑張れと言われている。<u>もう一回がんになる心配がある。</u> 医院長が治療してくれたから大丈夫と思うけど、再発しないように努力する。昨日、のどに食べるものをひっかけたのが勉強になった。大事にしていく。家族の心配はないよ、みんな仕事してる。本当に幸せだね。チームワークが良くて仲良くてね。たまにベッドで泣いてる、こんな幸せでいいのだろうか？と思うよ。</p>
<p>作成カード</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も形ある物を食べ始めるのが心配だね。</li> <li>・もう一回がんになる心配がある</li> </ul> <p>(物が食べられるかどうか心配) ←上記内容と重複するため削除対象となる。</p> <p>(自分のことを中心に心配していくことにする。物を食べられることだね。) ←上記内容と重複するため削除対象となる。</p>

表 4. カテゴリの説明づけの例

将来に関する心配に関連する語り	カテゴリの説明づけ
<p>今後も形ある物を食べ始めるのが心配だね。                      (物が食べられるかどうか心配)                      (自分のことを中心に心配していくことにする,                      物を食べられることだね.)</p>	<p>退院後の摂食に関する心配</p>
<p>もう一回がんになる心配がある</p>	<p>再発の心配</p>

表 5. 研究参加者の一般情報

ID	性別	疾患名	年齢	MMSE-J	帰結先	就業状況	家庭内役割	習慣活動	趣味活動
A	男性	下行結腸癌	89	25	自宅	無	有	家族と食事	無
D	女性	S状結腸癌	91	29	自宅	無	有	家事動作	書道
E	女性	上行結腸癌	77	30	自宅	無	有	家事動作	畑作業
F	男性	S状結腸癌	75	28	自宅	有	無	仕事	農作業
G	女性	横行結腸癌	83	30	自宅	無	有	家事動作	無
H	男性	S状結腸癌	71	27	施設	有	有	家事動作	無
I	女性	S状結腸癌	75	24	自宅	有	有	仕事	農作業
K	女性	横行結腸癌	67	30	自宅	無	有	家事動作	数独
L	女性	S状結腸癌	58	30	自宅	有	有	家事動作	読書
M	女性	横行結腸癌	68	26	自宅	無	有	家事動作	無
			75.40	29					

表 6. 研究参加者の医学情報

ID	stage告知	病態説明	手術	ストーマ造設
A	無	有	有	無
D	無	有	有	無
E	無	有	有	無
F	無	無	有	無
G	無	有	有	無
H	無	無	有	有
I	無	有	有	無
K	無	有	有	無
L	無	有	有	有
M	無	無	有	有

表 7 SF-8 の一覧

ID	全体的健康感 (GH)	身体的機能 (PF)	日常役割身体機能 (RP)	体の痛み (BP)	活力 (VT)	社会生活機能 (SF)	心の健康 (MH)	日常役割精神機能 (RE)
A	1	1	1	1	1	1	1	1
D	4	1	1	3	2	4	4	1
E	3	2	1	4	1	1	3	1
F	4	1	1	1	2	1	1	1
G	5	4	4	3	4	3	4	3
H	4	4	4	3	3	4	4	4
I	2	3	2	1	1	4	1	4
K	3	2	1	4	1	1	3	1
L	2	3	4	5	3	1	3	3
M	3	3	3	1	3	1	4	3
中央値	3	2	1	3	2	1	3	1

表 8. A 氏逐語録

A 氏: 逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	よろしく願い致します。これから、将来に関する心配を聞いていきたいと思えます。1つ目の質問ですが、がんという病気自体に対する心配はありますでしょうか？
A 氏	ないと思うけどな。そういう風な心配ないわ。がんにならないだろうって…
研究者	今、患ってしまっているがんという病気自体に関する心配は現状ではありますか？
A 氏	<u>日常から言うとやっぱりがんだなあつと言うふうに思われたら…、うん。やっぱり心配っていうか。そのことが、やっぱり心の中にずっと持つてるだろうと。そうすると良くはないなあ。ねえ、気持ちの中にいつも心配事があるみたいになるから。</u>
研究者	1 回でもがんになってしまったと思いながら生活すると、心の中に心配が付き纏ってしまうという意味ですか？
A 氏	<u>そうだね。がんという言葉の感覚から言ってね、心配だよ。がんがなければ通常の生活ができるよって。がんになったら物事が全部止まってしまう。</u> <u>がんって聞いたら恐ろしいって、恐ろしいという気持ちはがんって聞いた時点から続いてしまう。かからなかったらよかったなと思ってもがんってなったら生涯の感覚がそこでストップします。</u>
研究者	そうですね。がんという言葉の印象が…
A 氏	<u>がんになったら、物事が全て止まってしまうから前進しないというか。</u> <u>本人の言葉で言えば、やっぱり、もう、そこで止まってしまうから、それからの新しい物の考えはできない。今までのやり方を続けていこうというか。そう、することしかできないと思う。がんになったらし続けていこうというより、現状を守っていこうという気持ちでやっていくしかない。考えとしてはもちろん意欲はなくなるよね。こうしていこうというそういう思いはストップするんだよ。現状を静かに待とうというか過ごそうというか。</u>
研究者	新しいことをやろうと思うことがなくなっていくことに関して心配はないですか？
A 氏	<u>現状の病気を守ろうとするから止まってしまうんだと思うよ。今まではなんでもなかったんだよ。がんになってしまったと言われたら、その時点で余分なことはしない、自分の体に無理をしない。だから、自分の現状のままの体力を維持して生活をできる範囲を守ります。がんになったら、人生の筋道はここで止まりますって思いがある。だから、別に病気に関する心配はないってことだね。</u>
研究者	お答えいただき、ありがとうございます。次の質問に移りますね。家族との関係に関する将来の心配はありますか？
A 氏	病気のことだからね、そんなに心配するような表現をできないわ。
研究者	その心配するという表現をできないとはどういうことですか？
A 氏	<u>何かを言ったら、私がこういう事を心配してるんだって思わせちゃう。あと家族以外にも周りの人が、言葉をかけてくる、あの人は何々のがんになったんだよって言ったら、</u>

	<p><u>かわいそうだなんて.周りの人も挨拶程度になる,元気にやれよって声もかけてくれなくなる.もうあの人は寿命ないよねってなるでしょ.がんという言葉ってことを表現するのは死が迫ってくるよってなる.死が迫ってくるのは心配だよ.</u></p>
研究者	<p>そうですか…,死が迫ってくるのは心配に関しては後ほど聞きたいと思います.申し訳ないのですがインタビューですので,順番にお聞きいたしますね.家族に関する心配はありますか?</p>
A 氏	<p>家族のことはないな.</p>
研究者	<p>そうですか.それでは次の設問に移ります.続きまして,自分の心の状態に関する心配はありますか?</p>
A 氏	<p>それは,こうしなきゃいかんということではなくて,もう寿命みたいなものががんの言葉で,これ以上に体を悪くならんような環境は作られない.だから,物事がストップしますというか.どこかへ行こうとか,外に行こうとか思ってもそれは身体を守るために動かない方がいいでしょって.がんという言葉がなければ,いつでも新しいことができるよって思う.</p>
研究者	<p>その,物事がストップしてしまうことに心配とか,新しいことができないことに対する心配はありますか?</p>
A 氏	<p>それはないね.みんなが見てくれたらうし,本人も満足して守ってきたんだよってことになるんだから.だから,人にこうしなさい,教えてあげようとか,何かをしようとかってことはすべきでないでしょって.</p>
研究者	<p>このことに関する心配なことはありますか?</p>
A 氏	<p>ないね.自分で満足できるように努力した.息子がいるからね.奥さんもいる.一緒に守り続けてきたから,何も心配は何もないよ.</p>
研究者	<p>満足できる努力って実際にどんなことですか?</p>
A 氏	<p>それは,いつでも顔を合わせることだね.食事ができて,いろんなところと一緒にいって会話を守っていけば,子供たちもすぐそばにおるから,会社もおるし,離れてはいるけど,毎日 1 人で生活しているけど,息子たちと生活する体制は取れているから何にも心配はないよね.会社のことも息子の顔を見て,いろんなことがわかるから,そのことはこうした方がいいって言えるから.会社の場合だと,社長とかね.役職があるでしょ?今は会長になってるから,やっぱりね,会社の方に心配がある.</p>
研究者	<p>会社に関する心配はあるのですか?</p>
A 氏	<p>心配っていうか,会社の心配はないんだけど,一緒におるからね.だから,環境を会社と今は別れておる生活をしているけど,一緒に入ってて,会社の中の社員の人と交流できるようにしている.</p>
研究者	<p>今でも会長として,交流しているということですか?</p>
A 氏	<p>そうだね,今の場合はできているけど,ドアを開けると社員がいるから心配ではないね.そういう心配はないね.</p>

研究者	将来的にどうですか？
A 氏	うん,そこも順次,息子に流れを任せているからね.僕がいなくても家族のことも会社のことも心配することはないよね.
研究者	先ほどの質問が家族のことで,会社のことも話していただきありがとうございます.A 氏の立場上,会社や家族のことを優先的に考えられる方だと感じているのですが,自身に関する心配というのはどうでしょうか？ A 氏にとっての気がかりなことはありますか？
A 氏	自身に関する心配は特にないね.いつ死んでしまっても仕方ないって,満足した生活をしたって思っています.
研究者	はい.ありがとうございます.それでは,次の質問に移りたいと思います.治療の効果に関する心配はありますか？
A 氏	安心して,治るでしょって意識は常に持っているよ.どんなことがあっても長生きできるよ,長生きするんだよって思いは自分で持っているよ.
研究者	それでは,治療の効果に関する心配はないですか？
A 氏	会社のことは任せているし,自身のことも考えても子供たちもずっと一緒だからね.
研究者	はい.例えばなのですが,治療の効果といえば今後は薬を飲んだりしていくこともあたると思いますがどうですか？
A 氏	やっぱり,1 人の感覚だもんだから,前に新しいことをやろうとしないわ. 例えば,外行こうとしたら,転ばないようにとかくらいしかしようとしな.新しい,今までだったら外に出たら,鉢を直そうとか,綺麗にしようってやっていただけ,この病気になっちゃったら,引き継いでくれるってことは思わなくなる.
研究者	その,新しいことをしないことに関する心配事がありますでしょうか？
A 氏	迷惑かけるからね.
研究者	新しいことをすることで誰かに迷惑をかけてしまうってことですか？
A 氏	そうだね,新しいことをすると,誰かに迷惑かけてしまう心配はあるね.だからやらないね.それを自分でやってきたことものを引き継いでいこうとはしない.息子にやれ,会社の人にやれとかっていう意識は無くした方がいい.
研究者	押しつけないってことですか？
A 氏	うん,押しつけはしないってことだね.やっぱり,新しいことをやれっていうと俺に代わって何かをやろうとしてしまうからね.
研究者	押し付けることで,どのような迷惑がかかりますか？
A 氏	押しつけないっていうか,押しつけをすべきでないってことだね. 押し付けてしまう,受けたことを常に持ってしまうよね.何年でもそれを引き継いでしまうからせんほうが良いと思う.
研究者	お答えいただき,ありがとうございます.質問に戻りますが,治療の効果に関する心配はありますか？

A 氏	それは心配事じゃないね.俺が心配するということじゃなくて.現実はお薬があるでしょ.具合が悪くなったら,治してくれる人がおるでしょ.だから,そういう周りの心配はしなくても,薬をくれれば生きていくができる.周りを気にしてしまうと,周りの人に右行ったり,左行ったりって動きを観察され流って.そんなことは関係ないからって思う.
研究者	お答えいただき,ありがとうございます. 続きまして,医療スタッフに関する心配はありますか?先生とか,看護師とかリハビリに関する心配事がありますか?
A 氏	ないんでない?その,安心して任せてね,頼りにして思いを語ってるんだから,余分な考え方はしなくてもいい.だから,病院に入ったら治してくれるって考え方.病院に入ったら,薬を飲んで退院だってできるよって.家庭だったら自然と死なざるおえんよね.病院に頼りを携えようと思っている.
研究者	ありがとうございます.それでは,続きまして,家族の将来に関する心配はありますか?子供やお孫さんの将来に関する心配はありますか?
A 氏	うん,それはもう自分で子供が 2 人おれば育てていいっていうか.育つって意識がなかったから,そういう思いですときているから,だから他の息子たちもおるけど,それぞれ心配せんように育ててきたっていうか.だから,そういう心配はないわね.
研究者	例えばですけど,会社をやっている息子さんの経営に関する心配とかはありますか?
A 氏	そうだね,でも社長の息子に任せて,私自身も離れようとして,会長って立場で会社の様子を見なきゃいけないし,子供は会社のことと自宅での家族としての会話を常に持っていたら,社員が何人もいるけど,1 人ずつに俺から言わないで息子がやるでしょって思っている.そういうふうに段階を踏んでいる.遊びに行く時は違うけどね.
研究者	はい.続けてなのですが,息子さんのお嫁さんに関する心配とかはありますか?
A 氏	一緒に夕食を食べたり,家族だし,特に心配はないよ.
研究者	はい,それでは,お孫さんに関する将来に関する心配はありますか?
A 氏	安心できる息子たちのところにいるから,特に心配はないよ.
研究者	そうですか.ありがとうございます. 最後になりますが,死が迫ってくることに心配だと仰っていましたが,どのような心配がありますでしょうか?
A 氏	<u>がんにかかったって聞いたら,最初に俺は死なないで帰られるだろうかって思うんだ.例えば,入院したとしたら俺は帰れるのかって,帰れないと困るよなって思う.息子たちは関係なく,困るよなって思うよ.仕方ないなって思うよね.病気に対する心配はないよ,死んでしまうことは仕方がないことだからね.</u>
研究者	お答えしづらいことに答えていただき,誠にありがとうございます. 本日はこれでインタビューを終了させていただきます.ご協力いただきまして,誠にあ

A 氏	<p>りがとうございました.体調悪くなられたり,疲れたりしませんでしたか?</p> <p>大丈夫だよ.ありがとう.</p>
-----	---

将来に関する心配に関連する内容
<p><b>1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り</b></p> <p>日常から言うとやっぱりがんだなあつと言うふうに思われたら…,うん.やっぱり心配っていうか.そのことが,やっぱり心の中にずっと持つてらるうと.そうすると良くはないなあ.ねえ,気持ちの中にいつも心配事があるみたいになるから.がんという言葉の感覚から言ってね,心配だよ.がんがなければ通常の生活ができるよって.がんになったら物事が全部止まってしまう.がんって聞いたら恐ろしいって,恐ろしいという気持ちはがんって聞いた時点から続いてしまう.かからなかったらよかったなと思ってもがんってなったら生涯の感覚がそこでストップします.</p>
<p><b>2.家族との関係に関する心配に関連する語り</b></p> <p>あと家族以外にも周りの人が,言葉をかけてくる,あの人は何々のがんになったんだよって言ったら,かわいそうだなって.周りの人も挨拶程度になる,元気にやれよって声もかけてくれなくなる.もうあの人は寿命ないよねってなるでしょ.がんという言葉ってことを表現するのは死が迫ってくるよってなる.死が迫ってくるのは心配だよね.</p>
<p><b>3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>4.治療の効果に関する心配に関連する語り</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>6.家族の将来に関する心配に関連する語り</b></p> <p>特になし</p>
<p><b>その他</b></p> <p>がんにかかったって聞いたら,最初に俺は死なないで帰られるだろうかって思うんだ.例えば,入院したとしたら俺は帰れるのかって,帰れないと困るよなって思う.息子たちは関係なく,困るよなって思うよ.仕方ないなって思うよね.病気に対する心配はないよ,死んでしまうことは仕方ないことだからね.</p>
作成したカード
<p>(A-1)がんになったと周囲に噂されるのではないか</p> <p>(A-2)がんになると,死が迫ってくるような感覚がある</p> <p>(A-3)がんのために,新しいことに挑戦するという考える意欲がなくなる</p> <p>(A-4)がんのせいで,自分の考えが止まってしまう</p> <p>(A-5)がんになり,死なないで家に帰れるのだろうか</p>

表 9. D 氏逐語録

D 氏: 逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	よろしくお願ひ致します.
D 氏	よろしくお願ひします.
研究者	それではいきます. がんという病気自体に対する将来の心配はありますか?
D 氏	将来に関する心配というのは, 私はもう 91 歳ですから将来は短いんですよ. だから, 先生が手術しますか? しませんか? と言われた時に, 自分は高齢だから, そのまんまいったらどうなるのかということをお聞きしたんですよ. だから, 将来というのは考えてないです.
研究者	将来というよりもお家に帰った後の心配のことです. 将来と聞くと大袈裟に感じてしまいますよね. お家に帰った後の心配はありますか?
D 氏	<u>家に帰ってからの心配なことは, やっぱり, 主人が 95 歳ですから, 2 人暮らしですし, マッチ箱のような家ですけど戸建ですので, 外仕事もありますし, そういうことが心配です.</u>
研究者	なるほど, 外仕事もされているんですね.
D 氏	畑がこの部屋,, いや半分くらいかな? あります.
研究者	お二人でされているんですか? 畑仕事.
D 氏	私 1 人です. 父さんはもうしてませんね.
研究者	畑仕事の何が心配ですか? 家に帰ってから.
D 氏	畑仕事ですか? あらあんな事は整理してきたんですけど, あと柵で囲ったりとかそういうことは今できないから, うん. そういうことを息子に頼まないといけないと思ってるね.
研究者	畑仕事で身体を動かすことが, やっぱり心配ですか?
D 氏	<u>心配で,, 身体がなんでもなければ, 外仕事っていうのは快適なんですよ. ある意味, 父さんから離れて外仕事するって割と爽やかかっていうか.</u>
研究者	そうですか.
D 氏	がんに対しては, 心配はあまりしてないよ. 自分が歳だから, 今まで生きてきた通り, 長く生きて後 9 年だから, 新しくがんができたとしてもそんなにそんなに, 大きくなるんでしょ? だからこうやってがんをとっても, 転移も何にもないし, 何にも影響はないし. 取るだけで済むからって言われたので.
研究者	なるほど, そしたら再発の心配も今の所, 年齢からもあまり考えてないってことですか?
D 氏	再発の心配は, 考えてない. 4 年前に腸の検査をしたときに D さん, もう検査しなくてもいいよって言われてたんです. だから, 今回も 4 年前も検査をしなくていい

	<p>よって言われてたから、私はしたくないって頑張ってたんですけど先生が勧めて下さったので、腸の検査をしたら結局はがんだったということです。</p>
研究者	<p>わかりました。そしたらがんという病気自体に関する心配は特にないということで、次の質問に移らせていただきます。先程、先生との会話の中でも主人が95歳で、お手伝いをしながら畑をしたりするって仰ってたんですが、家族との関係に関する将来の心配、家に帰ってからの心配って何かありますでしょうか？</p>
D氏	<p><u>だから、第一の心配は主人との生活ですよ。脊柱管狭窄症があるものですから、がんはよくなっても、足腰がちょっと痛いから、お世話ができるかできないかって、</u></p>
研究者	<p>足腰が痛い？</p>
D氏	<p>うん、足腰が痛くて、整形にかかっています。</p>
研究者	<p>ごめんなさい、ちょっと、主人との生活ということを確認したいのですが、生活に関する心配ってありますでしょうか？</p>
D氏	<p><u>ちょっと、父さんの頭が弱くなっているのね、物忘れが激しいんですよ。だから、それのお世話が大変なんですね。チグハグになっちゃう。会話が。だから、帰ってきて、うまく生活を合わせていけるか、やっぱり父さんも今施設にお世話になっているし、頭が弱くなっているかもしれないね。</u></p>
研究者	<p>身体を使用することの援助は何かありますか？</p>
D氏	<p>そういうのはないね。95歳と言っても足腰も丈夫だしね、下の方を汚すこともないし、とても温厚な人なので、それは心配ないです。これからはどうかかわからないけど。</p>
研究者	<p>身体を使用することに関する心配というよりは、物忘れに関する心配、例えば薬の管理とかですか？</p>
D氏	<p>薬のお世話は私が全てやっています。</p>
研究者	<p>それでは関わり、コミュニケーションの方に心配があるのですか？</p>
D氏	<p>そうですね。</p>
研究者	<p>わかりました。それでは、家族との関係に関する心配というのは、身体を使用するより、関わりの方が心配ということですね。家族に関する心配は、他には何かありますか？</p>
D氏	<p>そうだね。夫以外に？</p>
研究者	<p>そうですね。全然大丈夫ですよ。</p>
D氏	<p>子供のことに關しては、2人おりますけど、それぞれもう結婚して、良い旦那さん、良いお嫁さんやに恵まれましたから、全く心配はありません。</p>
研究者	<p>わかりました。お子さんたちに関する将来に関する心配はないということですね。質問の趣旨とは外れてしまいましたが、明日迎えに来る息子さんとの同居などは考えていますか？</p>

D 氏	考えてないです.隣町のマンションだしね,私たちが行っても四方がコンクリだとね,土がないのが寂しいよね.最後まで今住んでいる所にいたいね.
研究者	ありがとうございます.それでは,次の質問に移りたいと思います.自分の心の状態に関する将来の心配はありますか?
D 氏	心,,将来の心配,,
研究者	家に帰ってからの近い将来のことで大丈夫ですよ.
D 氏	やっぱり1番の心配なのは, <u>先程も言った通り,10月1日から夫と二人暮らしになるから,それが一番心配.自分の身体がついていくかどうか</u> が心配だね.この,お腹のことは大体良くなったからいいんですけど.やっぱり,脊柱管のことがあるから, <u>黙って外に出た時には,私がついていけないんですよ.昔から住んでいる地区だから,近所の人が見つけてね,ちょっと乗せてきてくれたり,連れてきてくれたりするけれど.足が悪いからね,父さんが外行ったからって,私が「父さん,父さん」って呼んでも耳が遠いから聞こえないんですよね.私の行動を近所の人が見て,声かけてくれる状態だからね.うん.そういうことが1番心配だね.</u>
研究者	お父さんが外に出て行って,事故に合うことが心配ですか?
D 氏	う〜ん,田舎だから,そう事故って事はないと思うけど,黙って出て行くから困るよね.
研究者	なるほど.
D 氏	出て行く時は言ってねと言うんだけど,頭が弱いから,忘れてしまって黙って出て行くんですよ.気がついたら,外を散歩しているとか.
研究者	それは心配ですね.
D 氏	大きい道に向かって行くんじゃないよって言うんだけど,駅の前にある桜並木があるところを散歩するんだよって言うんだけど,黙って向こう行っちゃって.ある時は,施設の人が車の人が見つけて,家に連れてきてくれたりしたことがある.
研究者	結構,遠くまで歩いて行かれるんですね.
D 氏	うちの父さんはダンスやってたから,足が丈夫なんですよ.足腰が丈夫なんだけどね,頭の方が先に弱くなってきて.
研究者	素晴らしいことですね.お父さんに黙って出て行かれても身体がついていかないことが心配ですか?
D 氏	私はついていけないからね.玄関先に行って,黙って見ているくらいで,もう.だから,やっぱり2人暮らしが心配だってことだね.若ければこんな心配ないのにな.
研究者	そうですね.それでは,夫婦として一緒にやっている家事やお父さんがしている家事などはありますか?
D 氏	何にもない.
研究者	ゴミ捨てとかもしてないですか?

D 氏	昔からね、あの田舎のちょっとお偉いさんの方に入るからね。昔からね、全部私がやってきました。父さんにこれやってって言うよりも私がやったほうが早いからね。
研究者	聞いていて、私も耳が痛いです。
D 氏	料理もしないし、掃除とかそう言うこともしないし、畑のことも全部私がやっています。父さんは全然わからない。
研究者	ありがとうございます。それでは、次の質問に移らせていただきます。治療の効果に関する、これからの心配は何かありますか？
D 氏	治療の効果って、私はもう治った気しているのですよね。治った気がしているから、治療に関しては、もうあまり考えてない。
研究者	治療に関する心配は特にないでしょうか？
D 氏	うん。がんに関してはね。おかげさまで、がん保険に入っていましたから、そっちの方もあんまり関係はないね。
研究者	そうですね。治療って、意味が広がってしまうので、例えばですが、お腹に対するこの後の薬を飲むことや、生活でもご飯に関する心配ってありますか？
D 氏	薬はもう、この病院に任せているから、買って飲むってことはないですね。全部お任せしているから。
研究者	時間が来たら、飲んでって形ですか？
D 氏	そうそう。自分の内科と整形と両方の薬ですから。結構、7 種類くらいありますね。それに父さんの薬が加わるから。
研究者	7 種類の薬とお父さんの薬ですか。
D 氏	それも全部管理していますから。
研究者	整形もうちで受診されているのですか？
D 氏	うん、内科も整形も日付を合わせてもらって、月に 1 回来てるよ。だから、薬に関しては考えてないです。
研究者	特に心配はなさそうですね。
D 氏	はい、病院にお任せです。
研究者	わかりました。ありがとうございます。今後の食事に関する心配はありますか？
D 氏	あまり考えてないかな。でも、今勉強したことは、入院してみてもね。柔らかいのと、味が薄いのと、そう言うことを勉強しましたね。で、昔のあれですけど、一応調理師の資格も持っているから、色々なんて言うの 3 食の色分けとかも考えて今までもやっていますね。ヨーグルトを自分で作ったりね。
研究者	そうなんですね。そう言う点でも、帰った後に消化に良い食べ物を意識して食べていただければいいですね。
D 氏	なんていうか、新しい料理はできないんですよ。もう、新しくやるってよりは、大根、いも、人参、玉ねぎがあったら、もう、できますよね。割と好きなんですよ。
研究者	そうですね、煮る時間を長くするとか、うどんを食べるとかしたりするといいかもし

	れませんね.
D 氏	そうですね.
研究者	はい.それでは,続きまして,次の質問に移りたいと思います.今後,私たちを含めた医療スタッフとの関係に関するこれからの心配ってありますでしょうか?
D 氏	いや,別にこれからの心配は,毎月あのお,それこそ病院に来てね,先生に健康診断していただいて,お薬いただいて,それしかないです.今までの看護師さんとか,先生に対する不安も全くないです.もう,とにかくみんな優しい人ばかりでした.
研究者	そうですね.ここのスタッフは優しい人ばかりですよ.
D 氏	優しいですよ.だから,先生に対しても親しみを感じる.整形のね.親しみを感じる人ばかりだね.
研究者	とても優しい先生ばかりですよ.
D 氏	うん.特に親しみを感じるというのは個人的話なんですけどね.2 年前に主治医の先生の診察室にお邪魔した時に,こういう書の額がかかってね.それが私の大好きな友達,親友の額だったんです.それですごく親しみを感じていて.そして,今回初めてお邪魔したのが今の主治医.その部屋に行ったらまたこう額がかかっていてね,篆刻の書でね.私 40 年くらい書をやっているものですから,先生がみんな親しみに感じちゃったの.
研究者	共通点があったんですね.
D 氏	共通点だったね.
研究者	好きなことや趣味が一緒だと親しみに感じますよね
D 氏	そう,書いた人がね,2 年前になくなったんですけどね.懐かしいなって思ってね.回診に来たときに,ちょうど写真を持ってきてたから.手術の後に麻酔が切れた後に楽しいものを持ってきてって先生に言われてたから.1 番楽しかった時期の写真を持ってきてたから.そこに書を書いた友達が映ってたからね.先生も懐かしいなって言ってたね.だから,先生方に親しみを感じていてね.だから,先生方に関する心配は何にもありません.
研究者	それでは,これからもそのような心配はなさそうですね.
D 氏	はい.ないと思います.
研究者	ありがとうございます.それでは,最後の質問になりますが,家族の将来に関する心配はありますでしょうか?
D 氏	家族の将来というのは子供も入るもんね
研究者	そうですね,お父さんのことももちろん大丈夫ですよ.
D 氏	まあ,旦那のことは,お世話しないと何にもできないから心配だけど,息子は 65 歳になって定年になって再就職してますし.娘の方の旦那は市役所を退職して,違う病院に 5 年間勤めて,そして今,私のお世話をしてくれています.B 市なんですけ

	どね.送り迎えとかをずっとやってくれてる.だから,子供の心配はまずないかな.ただ,孫に結婚しない子がいるから,それが心配です.
研究者	写真に写っていた美人なお孫さんですか?
D 氏	う〜ん,頭もピカイチなんだけどね,うん.なんですかね,結婚できない.できないっていうのか,しないっていうのかわからないけど.それが一番心配です.
	それぐらいです.
研究者	お孫さんに関する可愛い孫が結婚しないというのは心配ですね.
D 氏	娘,息子に対する心配は何もないんですよ.もう経済的にも心配はありませんしね.
研究者	そうですか,やっぱりお孫さんは可愛いものですか?
D 氏	かわいいですね.孫よりもひ孫がかわいいね.
研究者	良縁があればいいんですけどね.
D 氏	そうですね.
研究者	お孫さんは全員で4人でしたっけ?
D 氏	はい,全員女です.
研究者	ひ孫さんは?
D 氏	3人です.1人だけ男の子.
研究者	お孫さんとは,どのくらいの頻度でお会いしていますか?
D 氏	孫とかい?遠いから,あれなんですけど.4年前の米寿の祝いで集まってくれて,その時に全員集まってくれてね.娘はしょっちゅう会っているけど.違うところに住んでいる孫は1年に数回ですね.
研究者	なかなか会えなくて寂しいですね.
D 氏	でも,入院するときは,孫とひ孫たちが電話をくれてね.一般的家庭にしたら,まあまあ幸せな方だと思いませんけどね.
研究者	家族仲がとても良さそうですね.
D 氏	そうですね.畑に葡萄がなっているから,またC市の孫が取りにくると思うし.
研究者	家に帰ってね,葡萄の管理して,お孫さんにあげないとですね.
D 氏	私がいけない間は,娘婿が行って大根を植えてくれたり.大根が50本くらいあるし,白菜が7つかそこらあるから.娘婿が行って,消毒したり,やってくれているからね.
研究者	そしたら,入院中の管理は心配ないですね.
D 氏	うん.娘が家の中,冷蔵庫の中をきれいにしてくれたり,お風呂をきれいにしてくれたりやってくれています.近くにいるから心配はないですね.
研究者	援助を受けながら生活しているんですね.
D 氏	これからもそうだね.父さんは1週間のうちで3泊4日は施設に泊まるしね.残りの4日間はうちにいるからね,娘がちょこちょこきて手伝ってくれる.

研究者	わかりました。
D 氏	お父さんのことは、施設にね、これからずっとお世話になるように書類の手続きもしているんですよね。私がこんなんだから、脊柱管で足が思うように動かないから、お願いしているんです。いつ施設が空くかわからないけどね。
研究者	でも、まだ、この後、10 月からは、2 人暮らしを再開するんですもんね？
D 氏	再開するんですけど、施設側から 4 泊にしてもいいですよって言ってくれているんですよ。
研究者	泊まる日を 1 日増やすということですか？
D 氏	うん。そうだね。増やすか、増やさないかを帰ってみて、生活してみて無理だと思ったら施設にまたお願いするかもしれないし。また、お食事もね、無理かと思ったら、配食サービスをね、お願いするかもしれないしね。
研究者	お父さんの生活もそうですし、家事の食事のことも心配も若干ありますか？
D 氏	脊柱管の症状がね、朝寝て起きた時はね、午前中が楽なんですけどね。すごく外を散歩したり、畑を 1 時間くらいやったりね。段々と時間が経つと、夕方になると、足がなかなか痛くて動かなくなっている。 そのなると、手すりに掴まりながらご飯支度もするし、入浴も何かに掴まりながらやるし。自分のことね。だから、どんどんとお父さんに手が届かなくなってくる。だんだん腰がね、右足が痺れてくるからね。
研究者	朝昼晩になるにつれて、辛くなるんですね。
D 氏	ああ、そうそう。段々とね。散歩していても、午前中は食前はここのところを 1 周まわったら、50 歩だから、3 から 4 回くらいできるけど、食後もできるけど。夕食が終わったらできないのよ。足が。だから、午前中は夫の世話をできるかもしれないけど、 <u>夜ね。やっぱり、頭が弱いものだから、ストーブいじってみたりするから。そういうところが大変。</u>
研究者	それは心配ですね。
D 氏	だから、一緒にいるってことはね、段々と無理になってきている。
研究者	確かに、先ほどまで時間帯を考えてないで家事動作はどうですかと聞いていましたが、同じ家事でも朝より夜の方が辛いんですね。
D 氏	朝は元気だからね、ゴミ捨てでもなんでも自分で全部やるしね。畑も大体 1 時間って区切ってね、それ以上やると恐くなるからね。年のせいだと思うけどね、段々と恐くなるから、大体 1 時間とっている。やっているうちに 1 時間 30 分になることもあるけれどね。
研究者	午前やる家事より、午後やる家事の方が大変なんですね。
D 氏	うん、これが脊柱管の特徴だと思っているよ。みんな、そうやって言うね。夜の方が辛いって。朝の方が爽やか。
研究者	わかりました。それでは、家族の将来に関する心配とは、お孫さんの結婚といった

	とお父さんとの生活が心配だということですね。
D 氏	そうですね。
研究者	それでは、これで6つの質問、研究の方を終わりたいと思います。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
D 氏	ありがとうございました。
研究責任者	私からも質問よろしいでしょうか？この歳まで生きていらっしゃるって想像していましたか？
D 氏	いやあ、全然。もうね、90歳を超えて、友達とも話すんですけど、同じ90歳、年齢が家の周りに4人いるんですけどね、昭和6年生まれの方は6人いるんですけど、みんなに話を聞くと、「いつの間にか90歳になったね」って、みんなそう言います。それまで生きるとは思わなかったけど。
研究責任者	周りの方には病気をした人はいなかったんですか？
D 氏	病気はあ、あんまりされてないですね。一生懸命に仕事をする人ばかりでした。
研究責任者	そうなんですか。
D 氏	脱腸や盲腸くらいとかね。みなさん、腰がこんなになって曲がって。皆さん、こう曲がってね。
研究責任者	そうなんですか、近所付き合いの心配はありますか？
D 氏	近所付き合いは、全然ない。皆さん、良い方で。うーん。
研究責任者	割と、家は近いんですか？
D 氏	そうですね、田舎ですからね。道路一本挟んだら、もう迎えだし。割と近いですよ。
研究責任者	そうなんですか。
D 氏	私、今住んでいるところの生まれでね。ずーと。他の方は、他所からお嫁に来た人だけど、結構仲良くしています。
研究責任者	そうですね。例えばなんですかね。これから家に帰ってね、冬が来ますよね。それに対する心配はありますか？
D 氏	<u>雪はねです。雪はね。もうそれはできなくなってね、若い時は父さんと2人でね、なんとかやっていたんですけどね。それはできなくなって、いま業者さんをお願いしているんですけどね。思うようにやっぱりやってくれないから・・・</u> <u>自分がやった時はこうやって、きちんとこうやってたんですけど。業者さんがくると、ブルでバァーってやっちゃうから、後始末を私がしなくちゃいけない。しなくともいいんですけどね、私はやりたくなっちゃうね。</u>
研究責任者	旦那さんの足は丈夫なんですか？
D 氏	足腰は丈夫です。
研究責任者	それならできそうな気がしますがね。ちょっとやってよって言ったらね。
D 氏	いやあ、こっちの方が弱いから・・・
研究者	身体が覚えていて、ビシィーやってくれるかもしれませんね。

D 氏	それはね、娘の婿さんがね、仕事を退職して今暇にしているからね。あのお、来る度にきちんとやってくれんだから、それがもうきれいにやってくれるの。もう辞めたって言ってるんだけど、冬なのに汗びっしょりになってやってくれるの、だからそれも去年からです。その前は仕事をしていたからね。
研究責任者	そうですか、旦那さんは身体をよく動かしていた方です？
D 氏	よく動かしてたって、仕事柄、金庫を預かってるから、外を歩いてたりはしなかった。昔は 55 歳で、定年だったんです。定年になってから、5 年間他の会社で勤めて、働いてね。あとはもうダンスばかりでした。
研究責任者	そうなんですか。
D 氏	だから、足腰は丈夫です。あははは。
研究責任者	意外とですね、雪かきとかすると血流が良くなったりするんですよ。頭の。
D 氏	あ～
研究責任者	だから、頭の予防にもいいんですよ。だから、もし、なんか機会があれば、身体を動かしたほうが予防になりますのでね。旦那さんにとっても。
D 氏	うちにいたらまず動かないですよ。
研究責任者	なるほどね、身体を少し動いてもらったほうが、良いと思うですけどね。
D 氏	そうかもしれないね。
研究責任者	前は雪かきもしてなかったですか？旦那さん。
D 氏	してない。
研究責任者	なんでしてなかったんですかね？めんどくさいからですかね？
D 氏	いやあ、私が、父さんのやるのが気に入らないから。きれいにしないから。こういうふうにしたいから、自分が出てやってしまうんですよ。割と、そうね。おとなしい、静かな人なんですけど。外仕事って好きでないみたいで。畑をちょっと手伝ってもらっても、後始末もスコップをそこらへんに投げきててなんかするから、後始末も私が全部しなくちゃいけない。
研究責任者	D さんとしたら、旦那さんに雪かきを手伝ってもらおうと余計に腹が立つと言う感じですかね。
D 氏	そうかもしれませんね。
研究責任者	それはね、任せられないところありますよね。
D 氏	やっぱり、そうかもしれないね。
研究責任者	そうですか、わかりました。どうもありがとうございます。あとですね、友達とですね、100 歳まで生きようねとかって話はしたりしますか？
D 氏	100 歳まで生きようねって話はあまりしないですね。ただね、話するのは、私たちはどういう死に方をするのかって話はするよ。どういう死に方をしていくかが心配だねって話はよくします。
研究責任者	やっぱりそういう話しはしますか。

D 氏	そういう話はしますね。これから病気するのか、コロっていくのか、コロっていきたいけど、どういう死に方するのかねってこと。100 歳まで生きたいねってことは、あまり聞かないね。
研究責任者	歳とってから、なんか楽しいみたいなありますか？
D 氏	楽しみ。私、書道は好きなんです。だから、今大きいのは書けなくなったから、今は仮名の勉強をして、仮名を少しやろうかなって。
研究者	仮名習字ですか？
D 氏	そうです、病院にも本を持ってきて、見えていますけど。
研究責任者	それは退院してもやる予定なのですか？
D 氏	退院してからやりたいですけど、父さんがいるとできないですね。
研究責任者	父さんがいると気が散りますか？
D 氏	散りますね。
研究責任者	病気のせいで、習字がするっていう心配はありますか？
D 氏	う〜んと、今でも書きたいなって思うんですけどね。習字を書くには <u>2 階に上がらん</u> <u>きゃならないし、父さんが下にいるから、なかなか手がつかないね。帰ってから、落</u> <u>ち着いたら書いてみたいね。</u>
研究責任者	2 階に上がっていくのは大変じゃないですかね？
D 氏	手すりに掴まって、上がる度に 1 段こうあれして、手をついてね。お洗濯も運動だ と思って。お洗濯も 2 階に上がって。お外に干すとね、竿に届かないんです よ。7cm も身長が小さくなっちゃったらね、背中が丸くなったらね、もう、かからない の。洗濯が。それで、2 階の小部屋を洗濯アレにして。2 階に上がったたり下がったり を 1 日に 5〜6 回やってますね。運動だと思ってね。
研究責任者	そういうことに対する心配って何かありますか？
D 氏	いやあ、それはないですね。干せなくなったら、下に干そうかなって思いますけど、 今のところはやっぱり、上に干して、乾いたら降ろしてって、1 日に。上に自分の部 屋って言ったらかおかしいけど、テレビとか書道の道具とか全部が 2 階にあるから、 上に行かないとできないね。
研究責任者	もし、2 階で書くとしたならば、1 階にいる旦那さんのことが心配になりますか？
D 氏	<u>心配になりますね。冬になったら、特にストーブをいじるんです。古い家ですから、</u> <u>灯油なんです。ものすごく寒がり、茶の間なんか 30℃です。息子がたまに来る</u> <u>と、入れなくて、2 階に逃げちゃうんです。私が暑がりだから、ちょっと合わないん</u> <u>ですよ。</u>
研究責任者	多分なんですけどね、旦那さん、動かないから寒がりなんじゃないですかね？
D 氏	いやあ、なんかね。高齢になると寒暖の差がわからなくなるってよく言いますが、 それでないかと思うんですよ。30℃あれしてもね、やっぱり、また着たいんです よ。そんなに着たらダメだよって言うんですけどね。お布団もちゃんと私より厚い

	<p>のをかけるんですけどね,それでも押し入れから引っ張り出して,綿の布団をかける.そんなに着たらダメだって言うんですけどね,やっぱり頭が弱いから聞いてくれない.自分でかけてしまうから.</p>
研究者 D氏	<p>やっぱり,旦那さんが火の周りや外に行くと心配ですね.</p>
研究責任者 D氏	<p>そうそう,大人しく昼寝してくれてたら私はありがたいね.あははは. ある程度,元気は元気で色んな心配があるものですね.</p>
研究責任者	<p>うん.どこも悪くなくて,2人暮らしならいいんですけどね.父さんは頭弱くなったし,私は脊柱管の方が,お腹はいいけど,段々と悪くなってきたら倒産について行けないしね.高齢って大変ですよ.</p>
D氏	<p>ちなみになんですけど,何年くらい前から旦那さんのことが心配になりましたか?</p> <p>88歳まで車に乗ってたんです.娘や私も辞めたらわ,辞めたらわって言うんですけど辞めなかったんですよ.そしたら,B市のスーパーに買い物しようとしたら,車から煙が出てきたの.それである,車屋さんに来てもらったら,直らないって言うことで.パタッとそこで諦めたんですよ.そしたら,こっちの方が...,寂しくなったんでしょね.あのお,辞めよう,辞めようって思って辞めたんならいいんですけど.バタッと壊れて辞めたもんですからね,寂しくて頭がだんだん痴呆症みたいになって.で,先生にお願いして,脳の方を調べたんですけど,これは痴呆ではなくて,年相応のものだよって言われたの.痴呆にはなってないの.年相応の物忘れだよって.施設とかどっかに入る時には,ちゃんと証明しますって先生が言ってくれてます.</p>
研究責任者 D氏	<p>人間って80歳を超えたらもう,ほとんど物忘れしない人っていないですもんね.だから長生きしすぎるとダメだ.あはははは.80歳で亡くなればね,先生ね.そんな,お腹は痛くならないしね,痴呆にもならないだし,歯も丈夫だし.80歳過ぎたら歯がダメになってくるし,耳も遠くなるしね.みんな長生きすぎなんですよ.</p>
研究責任者 D氏	<p>話している感じでは,90歳を超えている人と話している感じじゃないですけどね. なんとか,人様くらいはしゃべるってことは思っています.学ぶってことは大変ですよ.素晴らしいことだと思います.こんなところで,よろしかったでしょうか?</p>
研究責任者	<p>はい,大丈夫です.本日は,ありがとうございました.</p>

将来に関する心配に関連する語り	
1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り	特になし
2.家族との関係に関する心配に関連する語り	<p>主人が95歳ですから,2人暮らしですし,マッチ箱のような家ですけど戸建ですので,外仕事もありますし,そういうことが心配です.</p>

第一の心配は主人との生活ですよ。

父さんの頭が弱くなっているのですね、物忘れが激しいんですよ。だから、それのお世話が大変なんです。

### 3. 自分のこころの状態に関する心配に関連する語り

先程も言った通り、10月1日から夫と2人暮らしになるから、それが1番心配。自分の身体がついていくかどうか心配だね。

黙って外に出た時には、私がついていけないんですよ。昔から住んでいる地区だから、近所の人が見つけてね、ちょっと乗せてきてくれたり、連れてきてくれたりするけれど、足が悪いからね、父さんが外行ったからって、私が父さん、父さんって呼んでも耳が遠いから聞こえないんですよ。私の行動を近所の人が見て、声かけてくれる状態だからね。うん。そういうことが1番心配だね。私はついていけないからね。玄関先に行って、黙って見ているくらいで、もう。だから、やっぱり2人暮らしが心配だということだね。若ければこんな心配ないのね。

夜ね。やっぱり、頭が弱いものだから、ストーブいじってみたりするから。そういうところが大変。

### 4. 治療の効果に関する心配に関連する語り

特になし

### 5. 主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

特になし

### 6. 家族の将来に関する心配に関連する語り

孫に結婚しない子がいるから、それが心配です。頭もピカイチなんだけどね、うん。なんですかね、結婚できない。できないっていうのか、しないっていうのかわからないけど。それが一番心配です。

### その他

今でも書きたいなって思うんですけどね。習字を書くには2階に上がらんきゃならないし、父さんが下にいるから、なかなか手がつかないね。帰ってから、落ち着いたら書いてみたいね。

雪はねです。雪はね、もうそれはできなくなってね、若い時は父さんと2人でね、なんとかやってたんですけどね。それはできなくなって。いま業者さんをお願いしているんですけどね。思うようにやっぱりやってくれないから・・・自分がやってた時はこうやって、きちんとこうやってたんですけど。業者さんがくると、ブルでバァーってやっちゃうから、後始末を私がしなくちゃいけない。しなくてもいいんですけどね、私はやりたくなくなっちゃうね。

心配になりますね。冬になったら、特にストーブをいじるんです。古い家ですから、灯油なんですよ。ものすごく寒がりです、茶の間なんか30℃です。息子がたまに来ると、入れなくて、2階に逃げちゃうんですよ。私が暑がりだから、ちょっと合わないんですよ。

### 作成したカード

(D-1) 今後も物忘れのある旦那との暮らしで身体がついていかないのではないかと

(D-2) 今後も、趣味の畑作業ができるかと

(D-3) 今後も物忘れのある旦那と一緒に屋外散歩ができるかと

(D-4) 自宅前の雪かきができるかと

表 10. E 氏逐語録

E 氏: 逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	よろしくお願ひします。まず、最初なんですけれども、がんという病気自体に関する心配はありますでしょうか？
E 氏	あ、がんということ？
研究者	そうですね。がんになってしまったってということに関する心配ですね。
E 氏	もう、なったものは仕方ないから、前向きに自分なりに、元気いつまでも、、、何て言ったらいいんだろう。あのお、負けないで、自分の体に力をつけて打ち勝とうと思っています。
研究者	はい。そうですね。若干という病気自体にがんという病気そのものに関する心配っていうのは、特にないですかね。
E 氏	もう、なってしまったのは仕方ないからね。うん。ただ、なんていうの、 <u>これ以上ね、人工肛門になったとか。また、あちこちに転移したって言ったらまた別なのかもしれないですけども、今のところは、はい、自分なりに大丈夫だと思って、今日をいます。</u>
研究者	はいありがとうございます。そうですね。がんになってしまったことに関する心配とかっていうのは特にないということですね。
E 氏	はい。仕方ないことですからね。うちの母親が乳がんだったんです。もう何十年もなるんだけどね。そして、それこそもう片方を全部取って余命 3 ヶ月って言ったのが、もう、何て言うんだろう。不思議な人で 7 年間大丈夫だ。元気でいたんですよ。タバコの好きな人だからタバコをいつものんでたんですよ。それで肺がんになったんですけども、それは転移のものでなくて、別問題だからっていうことで。そういうもん、苦しかったと思うけど、すごい頑張って、頑張ってたから、今、自分がこうなってみて。ああ、あの時、なんかもう少ししてやればよかったかなあって、そういう風に思って。母親に負けないように、自分も自分で頑張って一生懸命頑張って、病気と戦うように仕方ないんだなあっ思って。人に頼っても無理なことだからなって。
研究者	はい。ありがとうございます。次の質問なのですが、家族の将来に関する心配はありますでしょうか？
E 氏	ないです。
研究者	特にないですか？
E 氏	はい、ないです。
研究者	ない理由などを教えていただけると幸いなのですが。

E 氏	うん。ボロクソに言われるけどね、キチツとしてくれるからね。あはははは。まあ、息子もしゅっちゅうは来ないけど、陰ながら心配してくれているし。お嫁さんもそれなりに心配してくれているし。だから、家族との仲は心配なことはないですね。
研究者	はい、ありがとうございます。続きまして、自分の心の状態に関する心配はありますか？
E 氏	いや、入院してきた時はね。悪い方にばかり考えてて、 <u>うちに帰っても何にもできないだろうかという心配</u> と心細さって言うの。周りに誰もいないって言うのとね。こーやって、退院が決まってしまうたら、そんなことみんな忘れてしまっているけどね。
研究者	治療中や入院前は、家に帰っても家事などができない心配だったりとか、周りに人がいない心配があったということですか？
E 氏	うん。周りに人がいないということに関する心配は一切ないけど、 <u>できていたことができなくなるんでないかという心配</u> はありましたね。なるべく、なんでも自分でやっていたという性格だから。
研究者	家に帰った後に、そのような心配はないですか？
E 氏	うん。今はないね。先生も帰ってから、何をしても良いよって言ってくれているしね。まだ、今度の 5 日の日に診察に来るんですけど、甘やかさないで、どんどん動けって言われていてね。あはははは。
研究者	そうですか。先ほど、動くことが好きって仰ってて、出来ることができなくなるのが心配とのことでしたが、ご自宅の中ではどのようなことをして、例えば、仕事とか家事とかすることが多いですか？
E 氏	まず、朝起きるでしょ。朝起きたら、あのお仏壇が 2 つあるんですよ。E 氏の方とうちの実家と 2 つあるんです。その 2 つのお仏壇のご飯とお茶とお水とあげるのが、私の毎日の仕事なの。あと、掃除したり、お花変えたりすることが 5 時ごろに起きてすること。そして、流しでは、娘がご飯支度してきてくれるので、洗い物を全部私がやるんです。そして、お父さんと私のご飯支度をして、みんなが仕事に出たら、その辺の掃除をしたり、自分たちの洗濯したり、犬の世話をしたり。あと、夏の間だったら、畑だとか、庭の草とか取るのが私の仕事です。それで大体、お昼頃までかかる、全て終わらせたらね。んで、お昼の支度して、お昼ご飯食べて、13 時くらいに 1 時間くらいワンコとお昼寝する。起きてから、夜のみんなのご飯支度して、お風呂を沸かして、みんなが帰ってくるのを待ってって。大体、それが私の毎日の日課。
研究者	素晴らしい日課ですね。
E 氏	すごいよ。だから、もう、座っていることがないね、いつも立っていることが多い。
研究者	手術前だと、家に帰ってから、これらの日課ができなくなるのではないかという心配があったということですか？
E 氏	そうそう。長く同じことができないんでないかとか、重たいものが持てないんじゃないかな

	<u>いかっていう心配があった,今までね.</u>
研究者	今は具体的な,長く動けるかなとか,重たいものが持てるかなとか,心配は少しはありますか?
E 氏	うん.やっぱりね,何かあるんじゃないかな,ないかなと思うよね.私,お友達の高齢者の方に,お米を買ってあげてるんですよ.それ,玄米で来て,精米にして,10kg ずつにして,欲しいって言って.それを 2~3 年続けているんですけど.今年もやって,それが 10kg 持てなくなったらどうしようとかさ.そういうね.いらないことまで考えてしまって,断ればいいことなだけども.なんか,その方も 90 歳になっているから,断るのも,なんか無下に断れないなって.うちで食べてるご飯が美味しくて言うから.だから,帰ったら,怒られてでも娘と孫に頼んで,持ってもらおうかなってとかね.そういうことを考えている.
研究者	そうなんです.具体的な話をすると 10kg の米が持てないことに対する心配があるということなんです.
E 氏	そうそう,そうそう.そういう心配があるね.
研究者	どちらかといえば身体のことを心配なんです.この後,出来るのかなって心配はあるかもしれませんね.
E 氏	そうそう.あるね.
研究者	はい.ありがとうございます.続きまして,治療の効果に関する心配はありますでしょうか?
E 氏	いえ,もう,先生に任せて,先生の言う通り,そうですね.
研究者	はい.なんとなくですけど,治療の効果って広い意味なんですけど,適切にご飯を食べたり,排便をしたりなどの生活の中で出来る治療って言えば大きくなってしましますが,そのようなことに心配はありますか?
E 氏	うん,普段から便秘気味なんです.何日か出ないと,もう,それこそ,下の方でね,固まった感じで,力まないと出ない感じなんです.今までも.だから,今,今やっと,下っ腹に力が入るようになったけど,最初の頃なら,力むこともできなくて,いや,こんなだったらどうなんだろうって思ってね.その痛みがだんだんなくなってきて,便の話をしたら,先生がスムーズに出るようにちょっと薬を出してくれるって言ってくれて,出してくれたんです.したら,スムーズに出たんで,それがずっと効いてくれればなって思っています.
研究者	なるほど,それでは排便に関する心配はなさそうですね.
E 氏	はい.
研究者	それでは,食事に関する心配はありますでしょうか?
E 氏	食事?
研究者	はい.
E 氏	<u>心配は,消化の良い物を食べること.よく噛んで食べることですね.</u> あと,自分で作

	るから、硬さとかは調節できるからね。
研究者	食事に関することは、よく噛むことと柔らかい物を食べることを心がけることが大事ですね。
E氏	そうですね。そういうことをやっていきたいです。一応、何を食べてもいいと言われて いるから、消化に良い物を選ぶことをしていきたいですね。
研究者	すいません。ありがとうございます。それでは、次の質問に移ります。主治医や医療 スタッフに関する心配はありますか？
E氏	ないです。みんな、良くしてくれるので安心して、任せられます。
研究者	みなさま、優しいですもんね。
E氏	はい。
研究者	はい。それでは、最後の質問になります。家族の将来に関する心配はありますで しょうか？
E氏	いやあ、ないです。家族は全部、自分は自分ってきちんとやってくれているので。ま だ、まあ、2人の孫が真っ直ぐいってくればいいなって。 それこそねえ、上の子も卒業できて、就職して。欲言え、うちから通う、うちのそば から通うところに勤めてくればいいなって思うし。下の孫は、就職が決まったけ ど、事故とか起こさないでね、ずっと長く勤めれるようにねって思うね。
研究者	孫に関する心配はあるんですね。
E氏	あるね。病気に関する心配ではちょっとないけど、 <u>孫に関する心配はあるね。</u>
研究者	はい。息子さん、娘さんに関する心配はありますか？
E氏	息子はお嫁さんがついてるし、娘には婿がついてるから、私が口出すことないね。
研究者	旦那さんは？
E氏	私がついているから心配ないよって言って。あはははは。
研究者	<u>はい。やっぱり、お孫さんですか？</u>
E氏	<u>やっぱり孫だろうね。まあね。今までも素直にきてくれたから、これからもこのように ね、いってくればいいなって、大きな願いだね、私のね。やっぱりね、産まれた頃 から、一緒にいるからね。親がついているんだから、心配する必要ないと言われて るけど。やっぱりね、気を使わせて欲しいわって感じ。</u>
研究者	いいですね。以上で全体のインタビュー、6項目を終わらせていただきました。あり がとうございました。
E氏	ありがとうございました。
研究者	あと、インタビューガイド以外の違う質問になってしまう生活に関する質問なので すが、先ほど、帰ってから重たいものが持てないことや長く動けないという身体に 関する心配をされていましたが、家事の他の動作、買い物とか、除雪とかはどうで すか？
E氏	除雪はしたらダメって娘に言われているからね。お父さんがやるって言うだけ

	ど、孫に朝早く起こして、孫にね、入り口だけでも空けて、させるようにするから、外に出ないでねって言われているから、今年はしないと思うけど。
研究者	買い物などはどうですか？
E氏	買い物は、日曜日に大体、大きいものはね、娘と一緒に車で買いに行くんですよ。あと足りないものは、今までは自転車で行ってたけども、冬になったら、歩いて、歩いても10～15分くらいで着からね、カラカラッと押すやつを持っていけばね、負担もかからないからね、その心配はしてないです。
研究者	はい、ありがとうございます。最後の質問になるのですが、食事に関するところで、よく噛んだり、柔らかいものを食べることに心配があるとのことでしたが、最初、帰ってからは何を食べようと考えてますか？
E氏	まずね、お粥だね。今全粥になったところなんですけどね、もう白米でもいいと思うけど。帰って1週間くらいはお粥を炊いて、あと、根菜類、芋やカボチャだとか、そういうものを柔らかく炊いて、あと、お魚を食べるようにしないと考えています。
研究者	柔らかい物をどのくらいで元に戻すタイミング、お粥をご飯に戻すタイミングはどうしようか考えていますか？
E氏	ちょっと、1週間くらいで、まず、少しから初めてみて、なんともなければだんだん量を増やそうかなって。野菜類だって、初めはクタクタ煮てても、少し形のあるくらいまでにするとか、そうすればなんとか、自分なりに元に戻れるかなって。そうしたら、少し固くても、よく噛んで食べれば、消化はできるかなって考えてるよ。
研究者	なるほど、よく噛んで食べたりと対応をとるのですね。ありがとうございます。以上で、インタビューの方を終了させていただきます。ありがとうございました。
E氏	ありがとうございました。

将来に関する心配に関連する語り
<p>1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り</p> <p>これ以上ね、人工肛門になったとか。また、あちこちに転移したって言ったらまた別なのかもしれないですけども、</p>
<p>2.家族との関係に関する心配に関連する語り</p> <p>特になし</p>
<p>3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り</p> <p>入院してきた時、悪い方にばかり考えてて、うちに帰っても何にもできないだろうかという心配うん。周りに人がいないということに関する心配は一切ないけど、できていたことができなくなるのではないかという心配はありましたね。</p> <p>長く同じことができないんでないかとか、重たいものが持てないんじゃないかっていう心配があった、今までね。</p>
<p>4.治療の効果に関する心配に関連する語り</p>

食事に関する心配は、消化の良い物を食べること、よく噛んで食べることですね。

5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

特になし

6.家族の将来に関する心配に関連する語り

孫に関する心配はあるね。

#### 作成したカード

(E-1) 今後は人工肛門になるのではないか

(E-2) がんが転移するのではないか

(E-3) 長時間、家事ができないのではないか

(E-4) 今後、重たいものが持てないかもしれない

(E-5) 食事で消化不良を起こすのではないか

(E-6) 便秘に服薬効果が続くのか

表 11. F 氏逐語録

F 氏: 逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	はい,よろしくお願いいたします.F さんそれでは,F さんの些細な心配でいいので,何かありましたら教えていただければ幸いです.まず最初なんですけれども,がんという病気自体に関する心配はありますでしょうか?
F 氏	いやそれはかかってしまった以上は, <u>ちょっと他に転移するのかどうかというのが一番心配だよね.</u>
研究者	今後,転移の心配があるのですか?
F 氏	うん.あと,これからどんなかわからないけど,透析,透析っていうかね.あの,あれでしょ.だからそれをやらないのかどうかちゅうのはちょっとね.あれだけ.まあ,今のところはあれだね. <u>どこに移転するのか,どうなるかちゅうのが一番心配だよな.がんは.</u>
研究者	そのために,今後さらなる受診の回数とかね.増やすことが必要なのかもしれないですね.
F 氏	そうそうそう.わからないからね.それはね.だから,今こった状態でもなんちゅうの自分では皆さんに聞いてみたけど,ちよつとこら辺の人に聞いてみたけど,やっぱり同じ症状ですよ.大腸癌の人ね.そして皆さん,やっぱりなんちゅうの.トイレがなんちゅうの.自分で思ってなくても出てしまうちゅう感じだったよね.うちはそんなことなかったんだけど.ただ,何か出血してるなど思ったから.あら.自分はずなつたのかなと思う感じだったからね,そう何でもなかった.だから.
研究者	その話を聞いた人で,その方たちも大腸癌の方だったんですか?
F 氏	そうだよ.うちの部屋にいる人がそうだよ.あの,がんのあれ受けてるしよ.
研究者	その方達とお話していく中で,排便に関する心配はありますか?
F 氏	だからうちはそうでもなかったからさ.今の人は,そんなんでもなくて早く見つかったのかどうかわからないけど,だけど先生に話では 8 年も育ってるなって言うんだけど,はい.実際に自分の腸のあれ,ずっと見たけど悪いのはそこ 1ヶ所だけだったんだよね.
研究者	そうですね.
F 氏	うん.だけどそれがねどんなんなってるかわからないけどさ.それが <u>一番心配だね.他に移転するっていうね.</u>
研究者	がんという病気自体に関しては,他に移転するってことが一番心配なんです.
F 氏	そうそうそう.
研究者	わかりました.排便とかトイレに関してはまた後ほど聞いていこうかなと思います.ありがとうございます.それでは次の質問に移ります.家族との関係に関する心配

	はありますでしょうか？
F 氏	家族との関係って言ったって、このがんって何か、遺伝するの？そこは何とも 言えないよね？
研究者	僕にはちょっと何とも言えませんね。
F 氏	はい。だからこそ、そこで血統だとかって言うじゃないですか？普通、皆さんはが ん血統だと言うじゃないですか。 <u>子供らに関してはあれだね。もうちょっと悪かっ たらすぐ行くようにって。もう、言っとくよね。ただ、あと家族に対しては気付けれてい いうさ、ちょっとおかしかったらすぐ行くようにって言うのは、だから皆さんも先生も 言うようだけどなんていうの。少しぐらいのことじゃさ、はい。病院に行かないってい うのはやっぱりそうです。だからそういうことのないようには家帰ったら言うてみよ うかなと思うけどね。子供らにはね。</u>
研究者	なるほど。家族ががん血統だと言葉がもしあったとしたら、家族が癌にならないか かっていう心配がありますか？
F 氏	うん。あるね。だから、そうなったら困るから、ちょっとおかしな事あったらすぐ行っ た方がいいってね。病院には。だから、それぐらいだな、そんなに心配しても仕方な いけどね。あはははは。
研究者	家族ががんになってしま、
F 氏	もしくは、かかったら嫌だなんていう感じぐらいだ。きっちり健康診断を受けてるか ら、今子供は勤めてるから、しょっちゅう行ってるから、自分で調子悪かったら、また 別の病院も行ってるし、いいんじゃないかなと思うけど。だからそれは心配してな いけど、一応は細かいとこまでは言うておかないとね。
研究者	なるほど、がんにならないかが心配ですか？
F 氏	<u>そりゃ心配ださ。うん。きっと今まで自分だって何もないのに、こんなってしまってる のだから。</u>
研究者	家族ががんにならないかが心配ってことですよ？
F 氏	<u>うん。そうだね。どうも心配だよ？それは、家族はならないことを祈ってるだけだ。</u>
研究者	はい、ありがとうございます。続きの質問いきます。自分の心の状態に関する心配 はありますか？
F 氏	いや、別にないな。
研究者	別にないですか？
F 氏	うん、なるようにしかならないんだから。もう、その割り切りだね。
研究者	はい。なるようになるっていうのはやっぱり家に帰った後も続きますか？気持ちとし ては。
F 氏	それはそうだよ。ただもうこれ心配事になるかもしれないけど自分の今の仕事 <u>がさ、うまくできるかどうか。ちゅうのも、まず心配だし。</u>
研究者	お米農家さんの仕事ですよ？

F 氏	そうそうそう.だけど,このまま体が動くから,別に支障はないだろうと自分では思うけどどうなるかわからん,やってみないと.
研究者	あの,米農家に関する質問なんですけど,何かできないことが心配とかってありますか?
F 氏	<u>やっぱり力仕事さ.ちょっとした力仕事.それが力が入るかどうかが問題だよ.</u>
研究者	力が入るかどうかのお米仕事ができるかが心配だってことですか?
F 氏	そうそうそう.そんなに重いもの持ったりなんかはしないけどね.
研究者	ちなみに重たいものってどんくらい重たいんですか?手で持てそうなくらいの10キロくらいですか?
F 氏	いやそんなのは重いって言わないから.あはははは.
研究者	すいません,何キロくらいですか?
F 氏	やっぱり30キロ以上になるとやっぱり,ちょっとね.
研究者	30キロ持てるかどうか,結構,重たいですよ.
F 氏	うん.そうそうそう.まあ,あとはそのくらいだね.
研究者	なるほど.ちゃんと退院されてから仕事復帰ができるかが心配だってことですね.
F 氏	はい.そうです.
研究者	なるほど.でもそれも自分の心の状態に関する心配だと思います.他にはないですか?
F 氏	うん,ただそれだけだな,
研究者	わかりました.ありがとうございます.それでは,次に行きます. 今後の治療に関して何か心配ってありますか?
F 氏	いや,先生の言った通りに従うだけしかない.何もどうしてくれこうしてくれとは言いません.それは.
研究者	それは大丈夫ですか.
F 氏	うん.
研究者	治療の効果に関する心配って,例えば先生が処方する薬とかもちろんそうなんですけど,ご飯食べたりとか,適切にトイレに行ったりとかっていうところもあると思うんですけど,ご飯とかの心配とか何かありますか?
F 氏	いや,極力だから自分は油物を少なくし,先生に言われた通りに太らないようにと言われてる.
研究者	その腸の方の心配よりは体重の管理ってことですか?
F 氏	うん.要するに,下腹部を太らないようにって言われている. <u>皮下脂肪を作らない</u> っていうこと.先生もだいぶ苦労したみたいだ.
研究者	なるほど,ありがとうございます.それではトイレに関する心配はありますか?
F 氏	別にないね.ただ,もよおしたら行くぐらいの問題で.別にそういう支障はないからね.

研究者	そうですか.
F氏	そうそうそう.今来てる人,あれ.もう肛門の近くだったから,肛門まで取ってしまったって言うてる人がいて,そういう人と違うからないね.
研究者	ありがとうございます.それでは,ないようなので次に進みます.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配はありますか.
F氏	いや.ちゃんと先生はちゃんとしてくれるし,うん.だから別にそういう心配はありませんよ.
研究者	大丈夫ですか?
F氏	はい.
研究者	ありがとうございます.今後,外来で通ったりする中でも心配は.
F氏	そうそうそう.だからもう先生のとしか俺も来ないし,またね.
研究者	関係は良い関係なんですね.
F氏	うん.そう思います.
研究者	最後になりますが,家族の将来に関する心配はありますか?
F氏	いや俺死んだらどうすんのかなと一瞬思うけど, <u>明けの話した.</u>
研究者	死んだ後の家族の心配,,
F氏	いやいや,なんていうのかないつなくなるかわからんけど,死んだら死んだようにしかならないべ.
研究者	そうで,,
F氏	だからそういうのはあんまり聞いてもあれでね,わかんねえしょ. これに答える人いるのか?
研究者	はい.中にはいますよ,,
F氏	死んだら,そのままだべ.
研究者	この質問の内容が家族の将来に関する心配なので,その後のことを心配する方ももちろんいらっしゃいます.
F氏	いや,うちの子供はそういうことはないと思うから,別にゴタゴタするようなこともないだろうしね.
研究者	お子さんだけでなくお孫さんとかの心配はないですか?
F氏	そうそう,みんな心配ないね.もう奥さんとか,かわいいもんね.いやあと.いつそね,こんな話はしない方がいい.終わらせて.
研究者	気になることがありましたか?
F氏	いや,もういいよ.
研究者	このような話をすると寂しくなり,,
F氏	そうそうそう,もうしたくないよ.
研究者	やっぱり,このインタビューしたときに,なんか気持ちが暗くなるような終わり方じゃなくて明るくなるような終わり方をした方がいいと思うです.

F 氏 研究者	そうそうそう。うん、それはそうだよ。それで良いと思うよ。 はい。インタビューはこれでやめようかなと思うんですが、最後に確認なんですけど、最初に転移が心配だっておっしゃってたじゃないですか。
F 氏 研究者	うん。 具体的に、転移って怖いものだと思うんですけど、転移のどういうところが心配ですか？
F 氏 研究者	要するに胃に転移したとかさ、そうなるともたあれじゃん。 <u>あんまり手術はしたくないよ</u> 、やっぱり。
F 氏 研究者	やっぱり手術を何回もしなきゃ、心配また新しく生まれてくるよねってことですか。 そうだね。したって野球の選手でもあれ。ドラフトで取られた人でさ、大腸をみんな切った人もいるんだよね。
F 氏 研究者	そうなんですな。 うん。そんなの見て、1 年間大学で休んでして直して、その役員の選手になれるんだからその人がすごい努力したんだなと思うんです。なんか調子悪いっていう先生も、それはもう大丈夫切った方がいいっていう、大腸をとったんだっちゅう話だと。
F 氏 研究者	そのプロ野球選手がですか？ その大学の生徒がね。して腸を取って、それからプロ野球に入れたんだからドラフトでね。
F 氏 研究者	すごいですね。 うん。だからすごい話、あの人練習ちゅうか何て言うんだろうね、その人の気力というのか何ていうのかな、素晴らしいなと思って。もう 1 年間休んでもよく動けるようになったと思うけどね。
F 氏 研究者	確かに。そうですね。自宅に帰った後、雪かきに関する冬場の心配とかってありますか。 なおそれは要するにあんまり雪の重いやつを押せるかどうかってだから全部機械さ、だから機械でやるから、まあ何とかできるでしょう。
F 氏 研究者	確かに。できそうですか。大丈夫ですか？ うん、だから後ろ行ったり、なんかしてもそんなに痛いわけじゃないからいいよ。でも帰って、除雪してやらないといけないのは大変だな。
F 氏 研究者	心配じゃないですか？ <u>うん、それは息子が来てやってやると言ってるけどいいですね。いや、B 市に息子がいるからさ、来てやろうと言ってるけど、うちのおっかあが来なくていいって、終わってるからって言っちゃうから無理するからもうだから無理だけはするなって言ってるの。</u> いっつもだからその辺にちよっとためてきなさいって帰ったやつを押すからってね。もう話すは良いかい？

研究者	はい,ありがとうございます.以上でインタビュー全体を終了します.お疲れ様でした.
F氏	ありがとうございます.

### 将来に関する心配に関連する語り

#### 1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り

ちょっと他に転移するのかどうかというのが一番心配だよね.  
どこに移転するのか,どうなるかちゅうのが一番心配だよな.がんは.  
一番心配だね.他に移転するっていうね.

#### 2.家族との関係に関する心配に関連する語り

うん.そうだね.どうも心配だよ?それは.家族はならないことを祈ってるだけだ.

#### 3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り

ただもうこれ心配事になるかもしないけど自分の今の仕事がさ,うまくできるかどうかちゅうのも,まず心配だし.  
やっぱり力仕事さ.ちょっとした力仕事.それが力が入るかどうか問題だよね.

#### 4.治療の効果に関する心配に関連する語り

皮下脂肪を作らないっていうこと.

#### 5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

特になし

#### 6.家族の将来に関する心配に関連する語り

俺死んだらどうすんのかなと一瞬思うけど,明けの話した.

#### その他

あんまり手術はしたくないよ  
うん,それは息子が来てやってやるって言ってるけどいいですね.いや,深川に息子がいるからさ,来てやろうって言ってるけど,うちのおっかあが来なくていいって,終わってるからって言っちゃうから無理するからもうだから無理だけはするなって言ってるの.

### 作成したカード

- (F-1)がんが転移してしまうのではないか
- (F-2)がんが,どこの部位に転移するのか
- (F-3)がんが家族に遺伝してしまうのではないか
- (F-4)皮下脂肪を作らず,太らないでいられるか
- (F-5)農作業で,重たい物を持ってないかもしれない
- (F-6)亡くなった後,家族がどうなっていくのか
- (F-7)再手術になるかもしれない
- (F-8)妻が体に無理をかけて,自分の代わりに除雪してしまうかもしれない

表 12. G 氏逐語録

G 氏: 逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	よろしく願いいたします。些細なことでもいいので心配だと感じるがことあったら教えてください。それでは G さん,このがんという病気自体に関する心配というの はありますでしょうか？
G 氏	あります。
研究者	どのような心配がありますか？
G 氏	<u>再発っちゅうか。再発っていうのか,何なんだっけ。あの,再発って言ったら一番 早いかな。</u>
研究者	再発に関する心配があるってことですか？
G 氏	そうですね。あと,なんか肺に転移とか,うん,あの,こないだ手術前にレントゲンと か検査したときにも先生から言われたんですけど,肺とか脳とか,肝臓とかには, 転移してないですからって。とか <u>他の部位に転移がするかどうか</u> も心配です。
研究者	今回はしていないけど,今後再発するかもしれないという心配と今回の結腸のと ころも再発するかっていう心配があるっていう 2 点ってことですね。
G 氏	はい。手術する前の検査,いろいろ検査したのではどこにも転移してないって いうことでした。
研究者	うん。そこが心配ということは,今後やっぱりそれが転移するかもしれないという心 配が今はあるってということですか？
G 氏	はい,あの経験してる人からの,近所の人とかでもやって,大腸がんで手術しても 何年も何ともないっちゅうか,転移してない人もいるし,転移していろいろ転移し た人もいますので,あの袋下げてるとかそういう人もいますので。
研究者	人工肛門ですか？
G 氏	そうそれ,それは結腸？直腸直腸だね。そうですね。がんだったらその袋だっ てね,なんかそういうのも聞いてます。
研究者	<u>人工肛門が,今後がんが悪くなってつくってということに関しては心配とかありま すか？</u>
G 氏	<u>そうですね,はい。とにかく再発,転移とか,うん,そういうのが心配で。</u>
研究者	そうですね,はいわかりましたありがとうございます。続きまして家族との関係に関 する心配っていうのはありますでしょうか？
G 氏	別に,ないと思います。家族って 1 人で暮らしてるけど,別に暮らした息子たち, <u>家族 1 人だから,でも家に 1 人だから心配はありますね。</u>
研究者	1 人で生活することが心配ですか？
G 氏	そうだねえ。

研究者	なるほど.例えばですけど,1人で生活するのにどんな心配はありますか?
G氏	はい,あれだね.あの金銭,お金のことは大丈夫だと思うんですけど,年金もらってるのと,年金ではちょっと足りなくて,積んでる貯金っていうか,そういうのがまだあるから,今までも年金になってからは足りない分を下ろしながら,暮らしてきて,今のところまだあるから,うん.大丈夫かと思うんですけど,やっぱり1人で暮らして,今までどうにかしてきたけど,今後できなくなった.でも,あの近くに特老っていう老人ホームもあるので,あの早くからは,もしもあれになったときはそこへ入れてもらえるかどうかね,なかなか順番が,たくさん希望してる人がいるので都度入れるとか,そういうあれはあるんですけども, <u>そういう覚悟はしてるんですね.息子たちに世話になるのはもうかわいそうだ.</u>
研究者	1人で生活してて心配だっていうことだったんですが,何ができなくなる心配があるから施設に行こうって思いますか?
G氏	ええ.はい.早くからそう思ってるんですけど,,
研究者	どんなことでできなくなったら家で生活できないかなって思いとかありますか心配とか.
G氏	そうですねできなくなったらなんかね,何でもはい, <u>自分のことができなくなったら動かれなくなるっちゃうか,</u>
研究者	自分の身の回りのことで何ができなくなったら施設に入らなきゃいけないっていうのがあったりしますか.
G氏	そうですね,自分のことができなくなったらね.ええ.
研究者	わかりました.次の質問に移っていきこうと思います.自分の心の状態に関する心配はありますか?自分の今の気持ちの面に関する心配というのは何かありますか?
G氏	やっぱり治ると思って,あんまり考えて治ることを考えてということですね.
研究者	今の気持ちは治るってことを考えてるってということですね.
G氏	<u>そうですね,なんか負けないっていうか,魔っていうんですか?そういうのに魔がさしてるっていうか.具合が悪くなって,だけでもそれに負けないっていう気持ちでおります.</u>
研究者	魔がさすことに対しても心配とかかってないですか?魔がさすっていうのは具体的にどういうことなんですか?
G氏	私ね,学会なんですよ,創価学会に入ってるのね.そしたらそういうね,はい.勉強すると,あれがあるんですよ,魔がさすとかなるほどねこういうね,悪いことがあったら,絶対にもう,魔がさすって病気になったりなんかね,悪いことがね,あるけど,それに負けないっていう気持ちっていうような学会さんの,あれなんちゃうかうんそうですね.なんつって勉強って言ったらいいか,習ってるって言ったらいいか.上司の人,上司とか幹部ですけど,そういういろんな話とかそういう勉強をします.

研究者	G さんにとってはそういう表現が,あのもう G さんにとって表現しやすい言葉だ てことですね.
G 氏	習ってきたことだからね.
研究者	なるほど,それで大丈夫ですよ.家に帰った後,何か気持ちに関するところで何か 心配事は他にはないですか?
G 氏	大丈夫ですね.なんか近所の人もたくさんはいない.いなくなって,1 件近くによく 世話してくれる人がいるんですよね.それと兄が近くについて世話してくれて,世話 になって,うんと,あと息子が近所について,いろいろなことをできないっちゅうか,私 のできないっちゅうか,しかねることを頼んだらすぐ来てしてくれるし,そういうこと ですね.
研究者	なるほど.
G 氏	で,やっぱり鬱っていうかになりそうに考えて,でもそんな風になっておれんとか, どっかそういう自分で気持ちに言い聞かせております.
研究者	はい.うつになる心配とかはないですか?
G 氏	<u>ちよつと,ちよつとだけどそんなに負けておられないと思っ</u> てんですよ.
研究者	なるほど本当に自分の心に関する心配ってのは特にないんですね.わかりまし た.次の質問にいきます.今後の治療に関する心配とかはありますか?
G 氏	やね,こういう病気になったら,はい,どのぐらいのあれで,何か病院に来なきゃな きゃならないようにあの,知ってる人の経験からいったら,月に 1 回とかなんかず っと病院にあれしてる, <u>病院に来るのが心配,足も痛くなって,最初足痛くなったと</u> ときにはまだバスに乗ってくれて,だけどバスの乗り降りとか,もうなんかちよつと 困難になって,そして,兄さんに頼んで,兄さんが急に連れてきてもらって,1 ヶ月 に 1 回ずつくらい連れてきてもらってたんですよ.病院に来ることは兄さんもこ の間,ここで手術して,兄さんは胆嚢の手術したんですよ.それぞれで二,三を 月に 1 回か何かだと思ってんですよ,そんなんで.一緒にのときにあれしてもらえ ればなおいいかなと思ったり,そういう考えです. <u>やっぱ心配なんです.その通院</u> <u>中か,病院に来ることがね,</u>
研究者	回数 <span style="font-size: small;">の</span> 心配ですか?月に何回もこなきゃいけないという回数 <span style="font-size: small;">の</span> 心配?
G 氏	いや,回数でなく,はい.ずっとあの 1 ヶ月に 1 回か最初はどのぐらいか,そのうち にとにかく何か検査っていうかそういうのが,知ってる人がたのあれではあるの で,それだね,やっぱり心配だね.
研究者	検査が心配ですか?
G 氏	<u>来ることだね.やっぱり一番は病院通うことが心配</u> だね.息子も働いてるから,一 応土日とかそういう時しか休みでないの,そういうときは病院も休みなの,今 のそこは兄さんが,そういうのをしてくれてた.
研究者	はい.

G 氏	兄さんも、私 2 つ上で 85 歳ですよ、まだ運転はしてるんですけど。運転だってそんな後何年もね、できないと思うし。
研究者	それはお兄さんも運転大変そうですね。 なるほど。それってさっきの質問でもあった家族との関係に関する心配にも入ってくるのかなって、運転で通院を手伝ってもらってというのも心配になるのかなと、今話して僕も思ったんですけど、どうですか？
G 氏	<u>そうですね。とにかくそれが心配です。</u>
研究者	なるほどもう病院に通院すること自体も心配だし、家族に負担をかけ、通院で負担をかけてしまうっていうのも心配に感じたんですけどどうでしょうか？
G 氏	やっぱりね、いや本当に、なるべくね、うん迷惑かけたくないと思うけど。やっぱりできないとして兄さんも良い人で、もうあれ、よく面倒を見てくれるんですけどねえ。
研究者	わかりましたありがとうございます。他に治療の効果に関する心配とかってありますか？
G 氏	いや、特にないんです。
研究者	わかりました。それでは次の質問に進みます。主治医や医療スタッフとの関係に関する心配はありますか？
G 氏	いや、あの、もう任せてるからね。大丈夫です。
研究者	ありがとうございます。うちのスタッフ優しいですよ。
G 氏	いや本当にね、やさしい人たちで本当にあの、よくしてもらって、よくなりました。
研究者	はいありがとうございます。それでは家族の将来に関する心配はありますか？
G 氏	いや、やっぱりないことは、苦勞ないって言うけど、 <u>息子 2 人でね。なにかといろいろ心配です。</u>
研究者	息子さん 2 人に関して何が心配ですか？
G 氏	<u>はい、あと、やっぱり孫とかのことも心配ですね。</u>
研究者	お孫さんのことも心配ですか？
G 氏	いやあ、元気でちゃんとね、あれしてくれればね。 <u>息子たちも、ちゃんと過ごしてくれれば、そういう心配ですね。</u>
研究者	なるほど息子さん 2 人とお孫さんのあの体調面だとかそういうところの心配ですか？
G 氏	はい、そうです。
研究者	他の方の心配とかありますか？
G 氏	やっぱりあれだね。血の繋がった、兄弟とか。やっぱりね、もう後とか、 <u>子供のこととか、血の繋がった人のことは心配です。</u>
研究者	血の繋がった兄弟の何が心配ですか？
G 氏	いやちゃんとね、元気でね、何事もなく、そういうことにはまだないけどね、何かね

	<p>起きますけどね。</p> <p>ありがとうございます。以上で準備した 6 個の質問は終了するんですけど、さっき聞いてた中で、はい、1 人で自宅で生活されるということが心配だっというふうにおっしゃられたんですけど、ええ。ちょっとその部分で聞きたいことが何点かありまして。例えばなんですけど、はい今後、ご飯食べたりとか、便を出したりとかっていうところが特徴的な症状の一つで挙げられるんですけど、その点に関する生活面で心配は何かありますか？まずご飯食べることからにします。ご飯に関する心配なんかありますか？</p>
G 氏	<p>おかず今出してもらって食べてる物を参考にした、看護師さんに聞こうとは思ってるんですけど、帰るときに聞こうとは思ってるんですけどね。看護師さんたち忙しそうにしているしね、他の食べて出して、あの食事を見てあんまり脂っぽいものは出てないので、こういうものをこちらで食べればいいのかと常にそう考えています。</p>
研究者	<p>そういう献立的な何か心配とかってというのはそこにありますか？</p>
G 氏	<p>いや、<u>買い物に行くのが心配</u>だけでも、息子にいても休みときは頼めば、あれしてもらえるからって、近所の人でも買い物に行ったときに買ってきてもらったりしてできるかと思います。食べるものはね。</p>
研究者	<p>1 人で買い物行くってというのは心配だけど、周りの協力があるから大丈夫かもしれないですか？</p>
G 氏	<p>1 人ではね。やっぱり行かれないね、生協のトドックっちゅうのを使って、そんなのでも食べると買えたりするね。</p>
研究者	<p>なるほど。1 人で生活の中での買い物自体は心配だけど、他にカバーしてくれるものがあるよってことなんですね。</p>
G 氏	<p>そうですね。</p>
研究者	<p>わかりました、ありがとうございます。最後にあの排便に関する心配とかって何かありますか。</p>
G 氏	<p>いやね、薬もいっぱいくれてて。今、入院して、いろいろ薬飲ましてもらって、はい、あの、手術後もちゃんと排便してるし、血もまだでてない。だから薬であれできると思います。</p>
研究者	<p>薬の管理で今できてるってことですか？</p>
G 氏	<p>ええ。</p>
研究者	<p><u>薬を飲み続けなきゃ早めに何か影響を与えると</u>かっという心配とかっというの<u>はありますか？</u></p>
G 氏	<p><u>だと思えますね。何回薬飲んでスムーズになってるんだと思えますけどね。やっぱり、やっぱり痛がっててもちょっと痛いよね。うん、前ほどではないけどね。今日お風呂入っていいですよって。かなり切ってるのね。ちょっとかなと思ったんです。あ</u></p>

	<p>のその上からくしゃくしゃとなってるから。縮まってるけども伸びたら 15 センチか 20 センチくらいあるのかね。</p>
研究者	<p>そこに関して心配とか何かありますか？</p>
G 氏	<p>何か今張って、はい、そしてちらっと看護師さん帰る、帰ってもその 1 人で何か取れるとか何とか。そういうふうになってるからとか。まだもう 1 回はつきり帰るまで聞こうと思うんですけど。</p>
研究者	<p>うん、わかりました。今のところは看護師さんと相談しながら、対応していくっていう感じなんですね。わかりました。すいません。僕からは以上になります。先生の方から、僕へのアドバイスと質問があると思いますので、よろしくお願いします。</p>
研究責任者	<p>すいませんお家帰ってからですね、例えば掃除とか洗濯とか、あるいはご飯作ったりっていうことで何か心配ありますか？</p>
G 氏	<p><u>みんないろいろできるかどうか今のところはわからないので心配です。</u></p>
研究責任者	<p><u>体動けるかなとか、そういうことですか？</u></p>
G 氏	<p>はい。</p>
研究責任者	<p>そうですか。そこもちょっと家の中のことを具体的に聞いた方がいいんじゃないですかね。</p>
研究者	<p>はい。今、先生の質問の中で掃除、洗濯、ご飯支度の 3 つあったと思いますけど、掃除のどんなところが心配ですか？</p>
G 氏	<p>はい。掃除機でこうするんですけど、そんなにもうでもなんか入院するまで何ヶ月も何か怖くて、入院してみたら貧血って、人の半分くらいだよって言われて、そういうのもちょっとね。辛かったですけど、またね、黙っていたらなおなんかね、違和感があって、ちょこちょこって怖いけどもちょこちょこって私も黙っていいきれない性分だし、夏だったし、外のこと、秋だったら片付けとかもあつたし。夏は畑のこととかして、はい。いたんですよ。怖いから、なんか怖いけども、ちょっと長らくでなく、紛らしてたっちゅうか、年取って、こんな怖いのかなと思いがらしていた。うん、そう過ごしました。</p>
研究者	<p>家の中掃除機かけることとかもそうだけど、畑のところとかで体をしっかり長い時間動かすことに対しての掃除、片付けに心配があるってことですか？</p>
G 氏	<p>そうですね。だけど、黙ってたら、なお何か違和感があって怖い、ちょっと動いて紛れるんっちゅうか、はい。怖さが紛れて長らくしたまたなお怖いから。少しずつって感じで、うん、いろいろちょっと仕事も草も生えるいろいろある。そういうことをしてました。</p>
研究者	<p>はい、なるほど。その中で何が心配でしたか？</p>
G 氏	<p><u>なんかやっぱり怖いのが一番心配ですね。</u></p>
研究者	<p>掃除してて片付けしてて、体が怖いっていうのが心配ってことですか？</p>
G 氏	<p><u>そしてね、あの、あれ。足も痛いせいか、長い時間流しでご飯支度なんかおかずと</u></p>

	<p><u>かね.なんか長い時間するのもやっぱりね,大変.ご飯支度のときもね.全く私もあ</u>  <u>るあんまりぱぱとできなくなって.トロ臭くなって.なんか時間経ってもうなんか,</u>  ええ,なんか怖かったけども,やっぱり食べることもお腹が空かなくて,食べたくない  ときもあったんですけどね,時々お腹も痛くなっても,それでも痛くなってる.  なんか,何時間かしたらピタッと止まったりとかしてね.さて,今年の夏は過ごして  きたんです.</p>
研究者	はい.ご飯支度とかで長い時間経って,調理してると流しとかで長時間立って英語 発足してると体が怖くなってくるのが心配ってことですか?
G 氏	うん.足もね,やっぱりつらかったです.全然黙ってたらやまないですけどね.何か くたってたらね.家でのそういう家事とかやってね.外仕事でも短時間はいそ がってと待ってたら何か違和感があって怖いし.紛らしてってということで,今年 の夏は過ごしました.
研究者	ありがとうございます.洗濯とか,どういうところが心配ですか?
G 氏	洗濯やっぱりね,もうやっぱり大儀でいっぱい溜めたり,でも洗濯機も大きいので 洗濯機ではしてたんですけどね.
研究者	何が心配になりそうですか?
G 氏	やっぱりそうだね, <u>洗濯とかも心配だね.</u>
研究者	心配ですね,洗濯の何が心配になりそうですか?
G 氏	うん. <u>洗濯機であれして,脱水になって,外に持っててか,乾かすとかそういうのを</u> <u>してたけど,やっぱり大変だったなとそういうのが心配だった.怖かったです.</u>
研究者	量多いと重たくなりますしね.水吸って脱水してたとはいえ,よしよって持ってい くのは心配ですよ.
G 氏	そうそう.して歩くのもあれだし,はいてもね,ちょっとあの,洗濯機から外に干 すところまでかね,歩いて思っつけてやりましたけど,なんかそれって 転んでもあれだし,そういうの気をつけてやりました.足もびっこひいて,もう平のと ころはどうかかねだけでも,ちょっとでこぼこしたところなら使えたりするしね,そう いうのを気をつけて.でも家の周りでそれをするときには全部使わないで,うん,あれし たんですけど.長らく歩かなきゃならないときには,シルバーカーとかで押してね.
研究者	そういうのを使うってことはやっぱりあの,転ばないかも心配ですか?
G 氏	<u>転ぶのが心配だと思ってね.そうです.それより後の方が安定してるから,うん,足</u> <u>も痛いすしね.とにかくやっぱり怖いのが怖かったですね.ええ長くね.</u>
研究者	わかりました,ありがとうございます.
研究責任者	あとですね,すいません.おうちにこれから帰るんですけども,一人暮らしになっ てですね,はい1人で暮らしていて気持ちの面で何か心配ありますか?
G 氏	<u>なんかいろいろ家事をすることが,色々やろうと思ってるんですけど,やっぱり</u> <u>それが一番心配です.あと,猫1匹飼ってるんですよ.そういうのが猫飼って癒</u>

	<p>されていいんですけどもね、やっぱりその世話も結構、猫の砂取り替えたりとかね、餌やりとかそういうのがね、ちょっと。</p>
研究責任者	<p>そうですか。あの冬の家がやっぱり寒いとか、その冬に関して何か心配ってありますかね？</p>
G 氏	<p>いや、家はね、あんまり寒くないんです。水道なんか今まで暮らしてきて、水道なんかも落とさなくても、そんなしばれたことがないのです。電気の線入れて、水道管に問い合わせ入れたりなんかしてしばれたことはないんです。</p>
研究責任者	<p>そうですか。</p>
G 氏	<p>ちょっとお風呂の蛇口がちょっとしばれたりとか。なくなったりとか、トイレとかもちょっとあったりするんですけど、お風呂の場合はお風呂沸かして、ただ、あれ。しばれるようなときはお風呂沸かして、ってあのトイレも、あの、こんなトイレで電気のポータブルっちゅうか、そういうのを使ってしたら、しばれないし、今まで何ともなかったんです、そういう寒さにはね。家もそんなに寒くないし。</p>
研究責任者	<p>はい。そうですか。はい。B 市ですかね。おうちは？</p>
G 氏	<p>いえ、D 町です。あのひまわりの有名な D 町です。</p>
研究責任者	<p>D 町も雪多いですよ。</p>
G 氏	<p>はい、多いです。</p>
研究責任者	<p>そうですね、雪かきとかは？</p>
G 氏	<p>雪かきは田舎なので、雪かきしてるところはあるんですよ。農家の方の近くの丘です、トラクターであの押してっていうか、ちゃんとしてもらって、毎年、お金ちょっとかかるんですけど、D 町はかかった半分の D 町で払ってくれる。手続き中しなきゃならないけど、そしたら戻ってくるんですよ。半分 5 万かかったら、2 万 5000 円とかって。</p>
研究責任者	<p>半額出してくれるのでいいですね。</p>
G 氏	<p>ええ。何か、老人に対しての何かいろいろ待遇がいいです。はい、D 町ね。はい。</p>
研究責任者	<p>あとですね、家に帰ってからですね、人付き合いに関する心配って何かないですかね？</p>
G 氏	<p>いや、近所、そんなにいないんですけど、すぐ近くにいる方、お母さんと娘さんっていうか、もうお母さんは 80 過ぎで娘さんが 50 過ぎかな、50 くらいの方はすぐ近くで住んでるんですよ。その人型がよくね、いい人でね、そうなってお世話になってます。</p>
研究責任者	<p>はい、そうですか。あとはね自分の好きな活動とか、何か趣味活動に関する心配とかってないですかね？</p>
G 氏	<p>あのね、趣味ってあんまりないんだけど、出ることはいろいろ皆誘ってくれたら、出て。そういう出ることを、やっぱり今までもしてきてます。</p>
研究責任者	<p>そうですか。みんなと外出して何かするとかですかね？</p>

G 氏	デイサービスとかってね,あるんですよ.そういうのでいろいろ何て言ったら,いろいろしてます.
研究責任者	はい,デイサービス通ってたんですか?入院する前に.
G 氏	ちょっとそんなに 500m ぐらいあるかな,あの,片道ね,そこなんですけど,友達で送り迎えしてくれて,一緒に行って留守で送り迎えしてくれる人がいて,一緒に行っていました.
研究責任者	そうですか最後ですね,家に帰って,この先の人生に関する何か心配ってありますか?
G 氏	はい,やっぱり何か欲なのか,死にたくないというか,そういう気持ちを持っています.
研究責任者	そうですか.やっぱり長生きしたいです?
G 氏	やね,しなくても,かえってしたら息子,子供にね,迷惑かかるからあれなんだけど,やっぱり死ぬっていうことが一番なんか怖いっていうか,そういうような感じですよ.
研究責任者	いや意外と多分,健康なときって早くぽっくり死にたいなとか思うけど意外と病気になってからなんかね,死にたくないなって言う人を何十人もね,聞いたことあるんですよ.そんなもんなんですかねやっぱり?
G 氏	あの,親たちを母親も父親も長生きしたんですよ.母親は 100 数え 3 歳だったんですけど,父親は,うん.96 歳かな.満の 96 歳で数えの 97 歳で亡くなって長生きしてるんですよ.それで兄もういるんですけど,二つ上で 85 歳で私 83 歳なんですけど,今ね,2 人とも元気だったんですけど,今年は 2 人ともなんかね,病気になって手術して兄が主な手術して帰ってきた晩に私が,入院したような形でいるんです.兄は元気で,大丈夫,元気だって言って.手術したのは,兄は 11 月の 29 日だったんですよ.だから 1 ヶ月ちょっとなどくらいかね.元気で,元気で世話しなってるんですけど,はい.
研究責任者	そうですか,長生きですね.101 歳ですか.
G 氏	だから今までは 2 人ともね,元気だったんです.兄も私もね,ええ.
研究責任者	そうですか.
G 氏	はい.
研究責任者	お兄さんから何か言われてることってあるんですか?
G 氏	いや別にないですけど,いろいろ面倒は見てくれます.いろいろお世話になります.
研究責任者	やっぱりお父さんお母さんも長生きしたら自分も長生きしたいなって気持ちが強いですかね?
G 氏	なんかね,はい.
研究責任者	それはまだまだいろんなことをしてみたいっていう,何かそういう考えとかあるん

G 氏	ですか。 いや、別にそんなに趣味もないし、特別な趣味はないですけど、みんな何ついたらいいんだろうね。出て誘ってくれれば、出てあるっていうような、うん。ということです。今までもそうしてきました。いろんなことに出てね、家にいないで、あの人とあれしてました。
研究責任者	はい、そうですね。はい。入院する前、家にいないことの方が多かったんですか？
G 氏	いや、そんなこともないですけど。1 週間に 1 回デイサービスっていうのは行ってきました。その間でもなんか、出ることの何かあったときには出てね、あの人に誘っても 1 人で行くちゅうのはあれだったんですけど、誘ってくれたら出て歩いていました。
研究責任者	そうですね。さっき畑仕事をやってらっしゃったって言ってましたけど。結構あるんですか？
G 氏	いや、あの畑、あれでどんくらいあるかな、30 坪くらいかな。 たくさんはないですけどして、1 人だから十分野菜今年良い行く野菜取れたので。人にあげたりなんかして暮らしてきました。
研究責任者	畑仕事に関する心配って何かないですか？
G 氏	怖いけどちょっと紛れてやってたんです。嫌いでないっていうかね、好きなことでしてました。家の全部の面積が、はい。あれなんぼだったけな。あの、借地なんですよねと、土地はね、それでね。あれ、なんだったもう年取ったらもうぱっと何か出てこなくなっちゃってね。なんとかだったかな。120？そんなにないか、80 坪だったかな、80 坪全部でね。家も全部 80 坪ぐらいはい 80 坪です。うん、そこに畑がちょっと植木なんかも植えてるし。だから 80 坪だから、35 坪ないし、半分は畑ないかな、もう 20 か 30 坪だけだね。砂畑の分だけね。あと周り花畑とか植木とかもありますしね。庭周りはいれだし。砂利とかひいたりなんかして。だからやっぱり 20 坪くらいの畑です。畑はね、全部で 80 分ほどだね。
研究責任者	家帰って春になったら、畑仕事をしたいと思ってるんですか？
G 氏	そうだね。やりたいね。
研究責任者	そうですね。はい。わかりました。ありがとうございます。
研究者	ありがとうございました。研究の方を終了したいと思います。ありがとうございました。
G 氏	ありがとうございました。

### 将来に関する心配に関連する語り

#### 1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り

再発ちゅうか。再発っていうのか、何なんだっけ。あの、再発って言ったら一番早いかな。他の部位に転移がするかどうか心配です。

とにかく再発,転移とか,うん,そういうのが心配で,,

2.家族との関係に関する心配に関連する語り

家に1人だから心配はありますね.

3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り

やっぱり心配なんです.その通院中か,病院に来ることがね,  
来ることだね.やっぱり一番は病院通うことが心配だね

4.治療の効果に関する心配に関連する語り

特になし

5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

特になし

6.家族の将来に関する心配に関連する語り

やっぱり孫とかのことも心配ですね.

息子たちも,ちゃんと過ごしてくれれば,そういう心配ですね.

その他

買い物に行くのが心配

みんないろいろ家事ができるかどうか今のところはわからないので心配です.

洗濯機であれして,脱水になって,外に持っててか,乾かすとかそういうのをしたけど,やっぱり大変だったなとそういうのが心配だった.怖かったです.

掃除と調理は長く立つと怖くなるのが一番心配ですね.

転ぶのが心配だと思ってね.そうです.それより後の方が安定してるから,うん,足も痛いですしね.とにかくやっぱり怖いのが怖かったですね

作成したカード

(G-1)がんが再発してしまうかもしれない

(G-2)がんが転移するかもしれない

(G-3)今後,人工肛門がついてしまうのではないか

(G-5)今後,身の回りの事ができず,施設入所になるかもしれない

(G-6)がんの病気を思うと鬱になるかもしれない

(G-7)独居のため,がん治療における通院手段をどうしたらいいか

(G-8)洗濯時,重たいものを運べないかもしれない

(G-9)長時間,掃除で身体を動かすと身体が辛くなるのではないか

(G-10)術部の痛みが続くかもしれない

(G-11)長時間,調理で身体を動かすと身体が辛くなるのではないか

(G-12)今後も,排便に関する薬を頓服し続けなければならない

表 13. H 氏逐語録

H 氏:逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	はい,それでは H さん始めていきたいと思います.よろしくお願いいいたします.それでは最初の質問です.がんという病気自体に関する心配はありますか?
H 氏	うああ,ありますね.
研究者	はい,どのようなことが心配でしょうか?
H 氏	まずはね,がんという言葉に対してね,死ぬというようなイメージが強いですね.
研究者	死ぬというイメージが強い?
H 氏	はい.
研究者	死ぬというイメージは,今後の生活でも,心の中に残りそうですか?
H 氏	ええ,そうですね.
研究者	それは心配ですか?
H 氏	<u>そうだね.もう,このがんという言葉が出てきたのは何年前か知らないけどね.言葉自体にやっぱり,病気に対してあの,死にやすい病気だということになるかな,思</u> <u>いはね.がんという宣告されてからだときはもうあれですよ,自分は命短いなって</u> <u>感じたところですね.</u>
研究者	命短いなっていうことは,やっぱり死ぬことに関して心配があるということでしょうか?
H 氏	そうです.
研究者	わかりました,はい.その死に対して,やっぱり怖さであったりとか心配事ってというのは?
H 氏	多少はありますよ.
研究者	なるほど.わかりました.
H 氏	これだけだあれですよ.
研究者	はい.
H 氏	個人差によるけどね.私は病気に関しては情報力が少ない方だからね.
研究者	うん.
H 氏	つまり病気に対しての理解,理解は少ないんですよ.
研究者	今,情報のことを話していただいたんですけど,がんの情報が足りなくて心配っていうのはありますか?
H 氏	あの,がんという病気に対してね.今の時代はもう治りやすいとか,そういうのはわかかないというね.
研究者	がんっていう病気自体に関する情報が少ないことは・・
H 氏	うん,疎いの.

研究者	情報に対して疎いことが心配ですか？
H氏	<u>そうだね.やっぱり,自分の想像することが悪い方悪い方に考えちゃうから,そういうふうになっちゃうんだよ.</u>
研究者	情報が少なくて.
H氏	そうそう.だからね,結局はね,病気から自分の考えをね,逃げようとするんですよ.
研究者	はい.
H氏	逃げようということはね.そういうことは考えないようにしましょうというそういうのが働くような気がしますね.忘れてしまおうとか.
研究者	帰った後もそこは情報を取ろうっていうこととかを考えてますか？
H氏	考えないです.もう考えるとそういう病気のことをね,考えるとね,いくら考えてもきりがないというところに1から考えてね,解決する問題ではないということです.解決するなら,考えますけれども.
研究者	情報に疎い部分も自覚してるし,情報取りたくないっていうのは・・・
H氏	そうそう,そういうことです.結局,病気に対して逃げようとしてるんですよ.
研究者	うん.その病気に対して逃考えないようにするっていうことに関しては,もう心配とかありますか？
H氏	いやいや,それはあんまりないかな.考える,あんまり考えないようにしてるからね.私は手術したんだけどね.手術の結果を先生に尋ねたら教えてもらえるんですよ,こういうふうになってどういうふうにな.その人工肛門を収めたとかね,そういうことを聞けば,教えてくれるはずなんですけど自分で私は聞きたくないんですよ.だから聞いたことはないですね,全然.自分の手術の内容をね,聞いたことがないです.
研究者	わかりました.ありがとうございます.がんという病気自体に関する心配は何かありますでしょうか？
H氏	あのお,がんに対してですか？
研究者	がんという病気自体の心配です.今後の生活でも続きそうな心配です.
H氏	<u>やっぱり転移が心配ですね.</u>
研究者	はい.他のところに移ってしまってもっと悪くなるんじゃないかっていう心配があるってことですか？
H氏	いや,なんて言うのかな.がんって絶滅させるっていうことはできないと思うんですよ,そのせいかな.
研究者	はい.
H氏	そのせいだと思います.
研究者	がんを持って生活するっていうのは・・・
H氏	<u>今後はがんと付き合いながらね.付き合いながら,もう生きていけなくちゃならないということに対してね.そこに心配があるのは当たり前だと思うんですね.</u>

研究者	はい.わかりました.他にはないですか？
H氏	どうなのでしょうかね. <u>がんプラス感染症が嫌ですね.</u>
研究者	はい.
H氏	そのぐらいのもんですね.
研究者	感染症になってしまうことは.
H氏	ちょっとね,気にはなりますね.うん.そのぐらいですね.
研究者	はい.感染症になるのが心配ということなんですけど,がんの病気自体になって いるから,免疫が下がってて.
H氏	<u>そうそう,そうです.体が弱ってるがんになって体が弱ってるってことです.体が弱 ってるから感染症にかかりやすいっていうそんな感じかな.</u>
研究者	はい.
H氏	なんかそうでしょ.弱ってるときに肺炎なんかすぐかかるんですよ.
研究者	はい.
H氏	だからそういう感じですね.
研究者	わかりました.ありがとうございます.じゃあ次の質問に行きます.家族との関係に 関する心配はありますか？
H氏	ありますよ.
研究者	はい.
H氏	あんまり詳しくは言いたくないっていうのかな,詳しくはね.
研究者	全然大丈夫ですよ.
H氏	そうですか.
研究者	話したくないことを話さなくて結構ですので.
H氏	<u>ちょっとはね.話してもいいかなということは,その,孤独に近いような形になってる んです.それがちょっとね心配だなというところです.周りに近親者,親族とかそう いうものがいないもんでね.</u>
研究者	近親者がいないことが心配？
H氏	そうです.
研究者	どんなことが心配になりそうですか？今後の生活で.
H氏	その時の場合にあるんですけどね.け,あの保証人に困るんです.簡単に言えば ね,病院に入院するときにね,保証人がいるでしょ？
研究者	はい.
H氏	<u>そういう保証人がね,なかなかいないんですよ.私の場合,それが心配だった.知 り合いがおったもんでね.その人に頼んだんですけど,保証人に関してはもう心 配になりますね.</u>
研究者	はい.
H氏	そういうことです.

研究者	はい、他には何かありますか？
H氏	いや、他には思い当たらないね、今のところね。
研究者	わかりました。他の家族との関係に関する心配は、他には何かありますか？
H氏	<u>やっぱり自分が死ぬと、その後迷惑がかかるということが心配ですよ。</u>
研究者	自分が死ぬと、誰に迷惑がかかりますか？
H氏	<u>私の両親はもうなくなってるから、兄弟です。兄弟に心配がかかるそうですよ。</u>
研究者	どんな迷惑かけるとかっていう心配はありますか？
H氏	<u>いや、多分そんなにはね迷惑っていうのは大きくはかからないと思うんですけど、多少のお金の心配ですね。やっぱりね、葬式のことを心配ですね。</u>
研究者	わかりました。ありがとうございます。はい。家族との関係は他にはどうですか？
H氏	はい。
研究者	はい。それでは自分の心の状態に関する心配は何かありますか？
H氏	気持ちですか？
研究者	はい。
H氏	そうですね。落ち込んだらもう何っていうのが止まらない性格だから、落ち込まないようにはしたいですよ。
研究者	今後、落ち込むことに関する心配とかありますか？
H氏	やっぱりありますよ。だから、だから嘘でもいいからね。笑顔でいようかなとかね。本心はあまりさらけ出さない方がいいのかなとかね。だから本音と建前のね。感覚がまだね、退院してみないとわかりませんね。これだからそれは心配ですよということが、うん。退院して初めてね、そういうことが頭の中に入ってくることだからね。 <u>退院してみないとわかんないというところですね。いや、他の人との人間とのコミュニケーションになるかな。</u>
研究者	コミュニケーションが心配ってことですか？
H氏	苦手な方なんです。
研究者	コミュニケーションが苦手で、退院後の人間が・・・
H氏	そうです、そうです。上手くいかいかないかがちょっとね。だって、何て言うのかな。まあ、そこがちょっと一番、生きていくためにはね、人と接触することが絶対避けられないことだから、そこがね、うまくやればいいですよ。うまくやれるようにという努力は少しはしますけどね。
研究者	はい、ありがとうございます。先ほどコミュニケーションの前のところでも落ち込むと止まらない性格だってお話だったと思うんですけど。どんなことで落ち込む、何か気持ちが沈むとか落ち込むなんのかな考えられそうですか？
H氏	やっぱり人、自分はね、価値がある人間かとか、それから人から見たら、価値のない人間に見えてるんでないか。ていう、その上辺とかねそれから、心のない人だとかっていう、外見ね。外見ではない人から見られたときの思いがすごくね、悪く見

	られてんじゃないかなと思って落ち込むことはありますね。人間だから、それはもう仕方ないことだけどね。誰でもあるんじゃないですか？人からよく見られていればそれは最良ですけどね。
研究者	はい。
H氏	自分は、人からはよく見られてないという思いはありますよ。やっぱり、あります。
研究者	それは心配ですね。
H氏	うん。だから、もう仲良くやれば言えればいいですね。他の人とね。
研究者	ありがとうございます。治療の効果に関する心配はありますか？
H氏	治療という？
研究者	治療というと、薬であったりとか、今後の生活を考えた上での治療なんで・・・
H氏	治療ね。治療に関してはね。そうだね。別にないですね。悪くなればすぐ病院に連絡してもらえし、病院代は生活保護を頼んだんだよね、なんていうか認定された。医療費に関してはあんまりあの心配してないから、あれですね。
研究者	体調が悪くなることへの心配はありますか？
H氏	がんの肝臓にね、転移したほんのちょっとですね、手術で2回目の手術で取り除いたもんで、別にそんなに心配はしてないです。
研究者	はい。主治医や医療スタッフとの関係に関する心配ありますか？
H氏	今ですか？
研究者	今後ですね。
H氏	<u>知らないところでは心配ですよ？虐待があるかないかとかね、そういうことですよ。</u>
研究者	スタッフが知らないところの病院を使うと心配ですか？
H氏	そうです。だから、あれです A 病院でよかったなと。明日、退院なんだけどね。
研究者	ありがとうございます。それではないようなので、家族の将来に関する心配はありますか？
H氏	家族はね、私ひとり者なのでいないんですよ。ええ。それでないです。
研究者	わかりましたありがとうございます。以上で、インタビューの方終了になるんですけども、最後ちょっと気になったとこ何点かお願いいたします。
H氏	伝えられなかったところもあるかもしれないし、何か聞いてください。いや、やっぱり、あの人間関係が心配ですよ。
研究者	先ほど話してた？
H氏	そうです。それが一番心配です。
研究者	<u>生活保護を受けたってさっき話されてて、経済的な心配とかってありますか？</u>
H氏	<u>多少ありますね。</u>
研究者	うん。どういうところが心配ですか？
H氏	<u>私、いろんな支払いが結構残ってるんです。税金関係とかね、税金関係が一番多いかなあ。水道代も一万円か、そういう細かいのもあるからね。収入のあれは払</u>

	<u>えるんですけどね。働いていけばね。だからそのことはこれから考えます。どうなるかわかんない。</u>
研究者	収入がないことや仕事をしないことに関する心配とかはありますか？
H氏	良くなれば仕事はしたいなと思ってるんです。15万以上稼いでる。15,16万あればね、何とかなるんです。
研究者	はい。
H氏	それだけ稼ぐったらね、なかなかないのね。今まではね、新聞配達、朝夕刊やって、それからパートをうん、4時間ぐらいやってたもんですから。それだけだったら15万ぐらいにはなってたかな。そういうことができるかできないかもわかんないね、これからね。
研究者	うん。何が心配で、仕事はまだできないって考えてますか？
H氏	それはね体力はね、多分これからつくからね。そんなに心配してませんね。体に関してはね、筋肉とか、それから自転車に乗って、通勤するとかね。そんなのはあんまりね、2ヶ月もすれば、普通の体に戻るかなっていう気もしてるからね。
研究者	なるほど。その2,3ヶ月の間は体力が心配だったりとか、筋力が落ちることが心配とかありますか？
H氏	<u>あります、あります。やっぱりある歩き方がね、やっぱり遅いもんね。歩き方がね。やっぱり時間かかるね。早く歩きたいんだけどね、</u>
研究者	そこは心配ですかね？
H氏	<u>うん。これから良くなるのかな。良くなるのはなと思うけど、少しやっぱり時間が必要だなと思ってんだけどね。</u>
研究者	今、ストーマを付けてるじゃないですか？ご飯の食べる物、消化のよい食べ物を食べることへの心配はありますか？
H氏	<u>入れ歯を入れていない状態で食事をしてるんです。だから、消化に対して心配ですよ。消化してるんですけど、丸呑みの状態ですからね。</u>
研究者	入れ歯のせいで？
H氏	そうです。少し落ち着いたら、入れ歯を作ろうと思っています。歯医者に行っね。
研究者	ストーマに対してなんですけど、便を捨てたり、管理することに心配はありますか？
H氏	そりゃ、ありますよ。
研究者	どんなことが心配ですか？
H氏	<u>感染することが心配ですよ。いろんなものにね。なんて言うのかな、清潔にしないでいて、中が汚くなるとかが心配。</u>
研究者	自分で破棄することは大丈夫ですか？
H氏	それは大丈夫、石鹸つけて洗ったり、張り替えたりとかはある程度はできます。そこには心配してないです。こういう物をぶら下げていると仕事をするのは煩わし

	いよね.
研究者	<u>ストーマを付けて、仕事をすることは心配ですか？</u>
H氏	<u>それは少し心配だね.</u>
研究者	はい.
H氏	今の所,そんな感じですね.
研究者	こちらでインタビューは終了となりますが,言い残したことはありますか？
H氏	<u>今ね,楽な形で生活しているからね,こうやって言えるけど,今後E町の施設に行 ってね,なんかトラブルがあったら嫌だね.行ってからのまゝ生活ですよ.慣れ るまでね.</u>
研究者	どんなトラブルが心配ですか？
H氏	いやあ,1番心配なのは,自分がカーッときて,口喧嘩になるのが心配だね.
研究者	自分が怒ってしまうこと？
H氏	そうそうそう,制御が効かないことが心配です.この病院でもあったんです.看護 師さんに楯突くこともあったんです.最終的に言葉遣いと思ひやりですね.
研究者	ありがとうございます.インタビューはこちらで終了とします.ありがとうございました.
H氏	ありがとうございました.

### 将来に関する心配に関連する語り

#### 1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り

このがんという言葉が出てきたのは何年前か知らないけどね.言葉自体にやっぱり,病気に対してあの,死にやすい病気だということになるかな,思いはね.がんという宣告されてからだときはもうあれですよ,自分は命短いなって感じた

あんまり考えないようにしてるからね.私は手術したんだけどね.手術の結果を先生に尋ねたら教  
えてもらえるんですよ,こういうふうになってどういうふうだね.その人工肛門を収めたとかね,そうい  
うことを聞けば,教えてくれるはずなんですけど自分で私は聞きたくないんですよ.

自分の想像することが悪い方悪い方に考えちゃうから,そういうふうになっちゃうんだよ.  
転移が心配ですね.

今後はがんと付き合いながらね.付き合いながら,もう生きていかなくちゃならないということに對してね.そこに心配があるのは当たり前だと思うんですね.

体が弱ってるがんになって体が弱ってるってことです.体が弱ってるから感染症にかかりやすいっていうそんな感じかな.

#### 2.家族との関係に関する心配に関連する語り

孤独に近いような形になってるんです.それがちょっとね心配だなというところです.周りに近親者,親族とかそういうものがないもんでね.

そういう保証人がね,なかなかいないんですよ.私の場合,それが心配だった.知り合いがおったも

んでね.その人に頼んだんですけど,保証人に関してはもう心配になりますね.

私の両親はもうなくなってるから,兄弟に心配がかかるそうですよ.

迷惑っていうのは大きくはかからないと思うんですけど,多少のお金の心配ですね.やっぱりね,葬式のことが心配ですね.

### 3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り

退院してみないとわかんないというところですね.いや,他の人との人間とのコミュニケーションになるかな.

### 4.治療の効果に関する心配に関連する語り

特になし

### 5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

知らないところでは心配ですよ?虐待があるかないかとかね,そういうことですよ.

### 6.家族の将来に関する心配に関連する語り

特になし

### その他

税金関係とかね,税金関係が一番多いかなあ.水道代も一万円か,そういう細かいのもあるからね.収入のあれは払えるんですけどね.働いていればね.

やっぱりある歩き方がね,やっぱり遅いもんね.

入れ歯を入れていない状態で食事をしてるんです.だから,消化に対して心配ですよ.消化してるんですけど,丸呑みの状態ですからね.

(ストーマ)感染することが心配ですよ.いろんなものにね.なんて言うのかな,清潔にしないでいて,中が汚くなるとかが心配.

今後,E 町の施設に行つてね,なんかトラブルがあったら嫌だね.行つてからのまゝ生活ですよ.慣れるまでね.

1 番心配なのは,自分がカーッときて,口喧嘩になるのが心配だね.

感情の制御が効かないことが心配

### 作成したカード

(H-1)がんを宣告されて,命が短くなるのではないか

(H-2)がんの情報がなくて,悪いことばかり考えてしまうかもしれない

(H-3)がんが転移するのではないか

(H-4)がんにより,免疫力が下がってしまうのではないか

(H-5)がんにより,感染症になりやすいのではないか

(H-6)体が弱って,感染症になるかもしれない

(H-7)自分の葬式代を兄弟にお金の迷惑をかけてしまうかもしれない

(H-8)がんで仕事がないため,税金が支払えないかもしれない

(H-9)今後も,体力・筋力の低下によって,仕事ができないかもしれない

(H-10)歩くことが遅くなるのではないか

(H-11)入れ歯がないため,消化に良い食事を摂れるだろうか

(H-12)ストーマを清潔にするのを怠って,感染してしまうかもしれない

表 14. I 氏逐語録

I 氏:逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	I さん,些細な心配でよろしいので,もし心配がありましたら,教えていただければ幸いです.よろしくお願いいいたします.まず最初なんですけれども,がんという病気自体に関する心配はありますでしょうか?
I 氏	そうだね.今ね,2 人に 1 人が,がんだ.がんになるって言ってるから,やっぱりやっぱり自分に来たんだなっていう,,そんなだね.
研究者	2 人に 1 人が,がんになるっていうことに対して,やっぱり自分がなってしまったってことが心配ですか?
I 氏	<u>うん.心配って言ったらあれだけど,そうだね,心配でないって言えば嘘だね.</u>
研究者	それは,自分に来てしまったなっていう感じですか?
I 氏	そうそう,まさかっていう感じがするね.
研究者	はい.手術した後の今の状況で構えませんが,手術して一応先生の方からは経過が良いから家に帰っていいよって言われたと思うんですけど,そういう点ではがんという病気になられてしまったことに対して心配とかってありますか?
I 氏	なんか,うん.そうだね,,思ったほどではなく,,ね.
研究者	思ったほどではなかった?
I 氏	そうです.わりかしはつい落ち込む方でないかもしれない.うん.落ち込む方ではないのかも.
研究者	そう思ったほどっていうのは,もっと悪いのかなってことですか?
I 氏	<u>そうそうそう.お父さんから聞かされてるから,なんか最初聞いたのが,ステージ 2 から 3 までの間って言ってた.先生はね,それを聞かされてた.</u>
研究者	その先生から,そのステージっていわゆる,がんの悪さのことなんですけど,2 から 3 だって言われたときは何か心配事とかありましたか?
I 氏	<u>うん.4 ていうのは悪いんだよって聞かされてるから,まあまあ心配かなと思った.</u>
研究者	なるほど.ステージを 4 が悪いというのを聞かされてたから,2 から 3 だって言われて.
I 氏	そうそうそう,ちょっと悪いのかなという心配があったね.
研究者	わかりました.がんという病気自体に関する心配というのは,今後もありそうですかね?
I 氏	<u>これは私が,がんになったら,子供たちにも,やっぱりなるんかなと思った.やっぱりそういうこと聞いているからね.</u>
研究者	子供たちも,あの,遺伝的な感じでなってしまう心配もあるということですか?
I 氏	うん,あるある.あります.

研究者	よく遺伝とかで心配される方他にもいらっしゃいます。
I 氏	そうですね。
研究者	そういうのを前の方もおっしゃってました。その流れでなんですけど、2 個目のインタビューが家族との関係に関する心配はありますかという内容なんですけど、家族との関係なので、今後、通院であったりだとか、生活の援助であったりとかそういう点で、お子さんたちとも、孫さんでもいいですし、家族との関係に関する心配って何かありますか？
I 氏	ないです。
I 氏	なるほど。特にお子さんたちや家族に関する心配は特にはないですか？
研究者	はい、ないです。
研究者	ありがとうございます。続きまして、自分の心の状態に関する心配は何かありますかでしょうか？
I 氏	うん、何かこれ、急にこうやってなったから、なんかまだなんかね嘘みたい。その、がんって言われたら頭真っ白になるっっちゃうのに、ならんかったから。本当に鈍感なんだなって思ってる。うちの周りにもいるから、近所の人にあんまり考え込んだら絶対駄目だよって言われて、その人は、あれ、國本さんとか旭川の？痔かと思って行ったとしたら、大出血して、とっちゃったって言ってたから。
研究者	はい。
I 氏	うんね。そうなったら、S 状結腸がんでね、 <u>人工肛門のある方もいるしね、</u> <u>それが一番心配だったね。私の場合ね。</u>
研究者	はい、あの I さんの場合は、S 状結腸がんで、人工肛門になってしまうかもしれない心配があったってことですか？
I 氏	<u>うん、それが一番心配だったね。</u>
研究者	そうですね。
I 氏	<u>一生だっていうぐらい、</u>
研究者	管理とかしてつけていかなきゃいけないものでありますから、
I 氏	そうそうそう、そうならんだけよかったわ。
研究者	はい。次の質問に移ります。家に帰ってから、心の状態に関する心配とかって何かあることありますか？家に帰ってから、気持ちの面でって言ったらあれなんですけど、
I 氏	いやこれで何も出来できないって言ったらやっぱりね。しばらくはできないだろうけどさ。
研究者	何ができない心配がありますか。
I 氏	やっぱり外仕事くらいしかないね。
研究者	外仕事ができない心配がありますか？
I 氏	そうそうそうそう。

研究者	外仕事とは具体的にはなんですか？
I氏	<u>やっぱり、農家の仕事だね。</u>
研究者	今も仕事としてやられてる農家のことですか？
I氏	そうそうそう。なんか息子が 20 日の日に、もう苗が来るって、したことないんだから息子たち、だから、こうやってね、こうやって教えるだけでもね、あれやなと思って。外仕事をするに関して、今の I さんの中で何が一番心配ですか。
研究者	そうだね,,, 帰った後を想像するに、何が,,
I氏	<u>したくてもできないいちゅうのはつらいね。うん。したくてもできないっていうのはつらいねやっぱりね。</u>
研究者	そうですか、どんなことができないことが心配ですか？
I氏	そうだね。一番大事なのはやっぱりメロンたらやっぱりしりつみ,,わかかんないよね。慣らすところまで積んでいくの。めかきっていうの。
研究者	その、めかきができるかが心配？
I氏	それはね、力仕事でないから、嫁さんも、やり始めたばかりなの。覚えてないのでね。だから、そういうのはできそうだなって感じる。
研究者	はい。力仕事って言葉が出てきたんですけど、力仕事はやっぱり心配ですか？
I氏	<u>そうだね息子がもう来なかったから息子全部してくれるんだよ。重たいから、もうこんなんでしょうね。</u>
研究者	確かに、メロンが重たくて、収穫のときとかはメロンの持ち運びが心配そうですね。
I氏	そうそうそう。
研究者	他に何か力仕事使うことで心配なこととかは特にないですか？
I氏	他にはないかな。
研究者	外仕事のしたくてもできないことと、力仕事が心配ですね。それでは、次の質問にいきます。治療の効果に関する心配はありますか？
I氏	治療ね。うん。なんかいい先生に恵まれて本当によかったなと思って。何かここであの、手術室入ってもね、肩叩いて、頑張んなさいよってね。あの先生は本当に優しい先生ばかりです。
研究者	そうですね。例えば治療の効果って、あの薬とか手術もそうなんですけど、ご飯食べたりとか、トイレとか、今後の薬とかも治療の効果に入ってくると思うんですけど。
I氏	<u>今日みたく飲み間違えたから大変だね。</u>
研究者	<u>今日間違っちゃったんですね。そういうのは心配じゃないですか？</u>
I氏	<u>そうだね。ちゃんとしないとだね。たまたま息子が荷物持ってきてくれて、飲みものも持ってくれたんだけど、それをとるうちに、あれ飲んだかなっていう感じだったんでしょうね。タイミングが、飲み忘れてしまったの。</u>
研究者	今後飲み忘れる心配とかもありそうですね。

I氏	<u>うん.そうだね.ちゃんとしっかりしないとね.</u>
研究者	何か工夫必要かもしれないですね.
I氏	うん.なんかこうやって入れといてね.
研究者	そうだね,カレンダーとかね.いいと思います.確かに,そういう心配もありますよね.それも含めて治療になってくると思ってて,あと食事とかも入ってくると思うんですけど,どうですか?
I氏	うん.
研究者	ご飯食べたりとか,なんかそういう点での心配なことはありますか?
I氏	山菜類があんまり駄目だと言ってたね.繊維のあるものかい?なんか慣れるまでね.
研究者	そういうことも心配ですか?
I氏	<u>うん.やっぱりね.食べもんだよね.詰まったら大変だったもんね.</u>
研究者	つまらないような食材を選ぶことに関する心配もあるってことですか?
I氏	うん,そうそうそう.
研究者	なるほど.なんかこうしていきたいとか,ご飯選ぶこと以外でも心配なことがあれば,何かありますか?
I氏	そうだね,やっぱり今までね,肉食でね.大好きで,肉が大好き.だから,それちょっと食べられないかなと思って.私,大好きなの唐揚げね.大好きだった.
研究者	なるほどね.そっか.何か油物とか味濃いものが食べられないことに関して何か心配とかもありますか?我慢できるかなとか.
I氏	<u>それ,それでね,我慢できるかが心配だね.</u> やっぱり我慢しなかったら治らないよね.
研究者	ご飯とかね,ちょっと大変だとは思うんですけど,,
I氏	今,おかゆの何ちゅうの,うちのじいちゃん使ってたやつあるから,それでたいてればいいかなと思って,ご飯ね.
研究者	ちょっと最初油っぽいものではなくて,おかゆとかからですかね.
I氏	そうそうそう.
研究者	はい,ありがとうございます.次なんですけど,主治医や医療スタッフとの関係に関する心配はありますか?
I氏	医療スタッフってこういう薬とか?
研究者	先生とか看護師さんとかのことですね.
I氏	いや,別に.何かいい人だ.みんないい人だなと思って見てるよ. そうです.うん.ずいぶん元気だねって,いつ来てもねっていうこんな元気な人見たことないですって.また全然頭痛くなかったし熱も出なかった.吐き気もなく.何もなかったの.だから,それぐらいで終わったからね.だからやっぱり農家してたからかな.ウフフフ.だから大丈夫です.

研究者	主治医や医療スタッフとの関係に関する心配は特に今後もなさそうですね。
I氏	はい。
研究者	はい。それでは最後です。家族の将来に関する心配はありますか？
I氏	どんなことで？
研究者	どんなことでもいいですよ。ご家族さんの将来に関する心配、何かありますか？
I氏	<u>そうだね、やっぱり。みんなやっぱりね、ならないことを祈ったりしてね、みんなががんにならないことを。</u>
研究者	そうですね。がんにならないようにの、他に何かありませんか？家族の将来に関する心配は。
I氏	うちの場合は、はい、うん、そんな心配はないと。
研究者	はい、ありがとうございます。
I氏	こんなんでもいいですか？
研究者	はい。大丈夫です。ありがとうございます。一通りこのインタビューガイドに沿った質問は終わりなんですけど、何点かちよっと回答していただいた中で、私が気になったことっていうのを聞かせていただきたいと思います。Iさんは外仕事に関して心配だっていうふうにおっしゃってたんですけど、外仕事する前の生活、家の生活、ご飯支度だったりただね、洗濯だったり掃除だったりとか、お店だったりとか、そういうことに関する心配ってありますか？
I氏	ご飯したくはできるよね、なんぼなんだって。
研究者	大丈夫ですか？
I氏	大丈夫、大丈夫。
研究者	食材だったりとか、献立選びがちよっと心配なだけで、
I氏	<u>そうそう、献立選びは心配だね</u>
研究者	ご飯支度自体は大丈夫？
I氏	大丈夫、大丈夫。
研究者	はい、ありがとうございます。掃除とかはどうですか？
I氏	掃除かい？まあ、上下でね、上の2階は息子たちだから、下さえ、ちゃんとしてればいいんだ。
研究者	なるほど、掃除に関しての心配なこととかないですか？
I氏	別にないです。
研究者	はい、ありがとうございます。洗濯物はどうですか？
I氏	洗濯物はちよっとお父さんにしてもらって。しばらくはね。
研究者	お父さんにしてもらってことは、
I氏	するけど、かけたりね。あれかなって。ボタン押したら回るしよ。そんなにあんまり甘えたら駄目だ。
研究者	最初にお父さんにやっていただくけど、やってもらってことは、最初の方はやっ

	<p>ぱり心配ですか？</p> <p>I 氏 研究者 いや,そんなことはないよ.慣れたらくらいでいいかなって思ってるよ. わかりました.今僕が話したこと以外で生活に関する何か心配事ってありますか？</p> <p>I 氏 研究者 別にないな.気が強い中でもないけど,そんな個人なんだっけ.クシャンとならんのよね.落ち込むってことはないもんね.なんかね, その気持ちに関する何か落ち込みとかは特にないって感じですかね.その中でも,やっぱりがんという病気自体,なってしまったという心配があったりとか,やっぱりそんな I さんでも,落ち込んだときはやっぱりあったことなんですね.たとえば,がんになったって告知受けたときとか,子供たちもなるんじゃないかとかね,力仕事できないんじゃないかとか.</p> <p>I 氏 研究者 うん.そうそうそう.娘がやっぱり一番先に言ったね.私もなる可能性あるねって言ってたね. それを言われると気になりますよね.早く来て早く対処するっていうのが本当に一番だと思いますので,今後の生活もちろん大事になると思うから,今日あったお薬飲み忘れないようにするとか,ご飯食べたりとか,適度な運動も大事なんで,本当にメロンの仕事ってのは僕自身も続けてほしいなって切に願ってますので.本日はこれで終わりたいと思います.ありがとうございました.</p> <p>I 氏 ありがとうございます.</p>
--	--

将来に関する心配に関連する語り	
1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り	人工肛門のある方もいるしね,,それが一番心配だったね.私の場合はね.
2.家族との関係に関する心配に関連する語り	特になし
3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り	農家の仕事が,したくてもできないっちゃうのはつらいね.したくてもできないっていうのはつらいね,やっぱりね. 息子がもう来なかったから息子全部してくれるんだよ.重たいから,もうこんなんでしょね.(力仕事に対する心配)
4.治療の効果に関する心配に関連する語り	今日みたく飲み間違えたから大変だね. やっぱりね.食べもんだよね.詰まったら大変だったもんね. 献立選びが大変だね. 我慢できるかが心配だね.
5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り	

特になし

6. 家族の将来に関する心配に関連する語り

私が、がんになったら、子供たちにも、やっぱりなるのかなと思った。

作成したカード

(I-1) 今後、農作業の仕事ができないかもしれない

(I-2) 今後、農作業で力仕事ができないかもしれない

(I-3) がんの薬を飲み忘れてしまうかもしれない

(I-4) 消化に良い食べ物を選べないかもしれない

(I-5) 今後、好きな物が食べられなくなる

(I-6) 家族も、がんになってしまうのではないか

(I-7) 今後、人工肛門を造設しないといけなくなるのではないか

表 15. K 氏逐語録

K 氏: 逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者 K 氏	はい, K さん, それではよろしくお願いたします. お願いたします.
研究者 K 氏	ささいな心配でよろしいので, 教えていただけると幸いです.
研究者 K 氏	はい.
研究者 K 氏	まず最初なんですけれども, がんという病気自体に関する心配というのはありますでしょうか?
研究者 K 氏	がんですか? 心配, 心配っていうよか不安だよね. やっぱり. 何の根拠もないんだけど, 自分ががんにかかるなんて考えてもいなかったから,,, がんになってしまったっていうことが, まず 1 個心配事だっていうことですか?
研究者 K 氏	うん. がんになって, こうやって入院して全部取っちゃったけど, 果たしてそれで, 全部なのかな? って思っちゃうね.
研究者 K 氏	全部とは? なんていうんだろう. もう体ががんになりやすくな, <u>がんにもたなりやすくなってる</u> <u>んじゃないかとか, なんかそういう素人の考えで, そういうの心配しちゃうね.</u>
研究者 K 氏	なるほど. 今がんになりやすい体になっちゃったのかなってところで心配がある っていうのが 1 個ってことですね.
研究者 K 氏	うん. 1 回がんになってこうやって取り除いてもらったしょ? でも, そのがんのその 組織が数年後にね, 違う形でまた現れるんじゃないかなとかさ. <u>違う部位に來ち</u> <u>やうんじゃないかっていう馬鹿な考えかもしれないけど何かそんなふうに怖い</u> <u>から思っちゃうね.</u>
研究者 K 氏	他の部位にも来るんじゃないかっていう心配もあるっていうことですか? うん. 先生がとってくれたけど果たしてそれでもう終わりなのかなって.
研究者 K 氏	他のところにがんが転移してしまうという心配もあるということですね. うん. 何年かしたら違うところになるんじゃないのかなとか.
研究者 K 氏	<u>今は将来に関するがんという病気自体に関する将来の心配って聞かれたら, 転</u> <u>移が怖いっていうことですね?</u> そうだね.
研究者 K 氏	なるほど. わかりましたありがとうございます. あと, 当然のことだけど, <u>手術ってほんとに大変. 当たり前だけど痛いじゃない?</u> <u>本当これからの生活気をつけようと何回も思った.</u>
研究者 K 氏	今後がんになったりとか, また違う病気とかになって手術するってなったら, そ れも心配ですか?

K 氏	うん,すごく心配だね.
研究者	もう 1 回手術をすることも心配そうですね.負担もすごいですし.先ほど気をつけるっておっしゃってましたけど,今後どんなことが心配ですか?どんなことに気をつけるとかありますか?
K 氏	なんか落ち着いたら,どうして私のがんもらったんだろうとかって思うじゃない.周りの人誰もそういう人いないのにどうして私だったの神様みたいななんかあるじゃない.
研究者	はい.
K 氏	だから何かいろいろ考えるよ,自分の今までやってきた生活,生き方,悪かったのかなとかね.ごめんね,ちょっと話ずれてるね.
研究者	大丈夫ですよ.今後の生活もがんとか病気にならないように,ちょっと気をつけていくってことです.
K 氏	自分でできる範囲でね.今まで若いときはそういうのは考えなかったじゃない.もう無茶食いしたり無茶飲みしたりして.いやでもみんな同じか.うん.
研究者	若い時,特有かもしれないですよ.無茶食いをやめようとか,今後の生活では,そういうところを何か食生活とか気をつけようってことですか?
K 氏	ある程度の今私は 68 歳じゃない.68 歳の今の時点ではそんな無茶な生活はしてないのさ.食事もね,どっかでお酒を飲むとか,そういうことはもう一切してないから改めるっちゃうのはやっぱないかもしれないね.でも考えたいよね.考えて,ちゃんとしたい.でも病気になる頃の私はそんなにひどくなかったんだよね.だからその前が悪かったのかなとか思ったりね.
研究者	そうなんです.ちょっと前の生活思い返してもそんな無茶をしてないから.
K 氏	いや,悪いこともしてきたし,無茶なことも結構してきたよ.でも,若いときもみんなそうだと思うんだけどね.
研究者	わかりました.ありがとうございます.それではがんという病気に関する将来の心配っていうのは,がんになってしまって,今後手術をもう一度しないために,生活を改めていこうとか,むちゃ食いとかなしないうこととがんの転移っていうところが心配に当たりそうですね.
K 氏	<u>うん.そうだね.1 回なってるから,もしかしたら,転移も,これから何年か先にまたなるんじゃないかとかそういうのが心配だね.</u>
研究者	それは帰ってからもその心配というのは続きそうですね?
K 氏	そうだね.心配だね.
研究者	わかりました.また後ほど,生活のことをお聞きいたしますので,そのときにまたお話できればなって思います.すいません,ありがとうございます.
K 氏	いいえ.
研究者	次に行きます.家族との関係に関する将来の心配とかっていうのはありますでし

	ようか？
K 氏	うん,あまりないかな.
研究者	あんまりない？
K 氏	これはだってがんになってからのあれだもんね？
研究者	そうですね,今後の生活でっていうイメージで答えていただければいいです.
K 氏	特にないね.そういうのは,
研究者	特にない場合は次の質問項目に行くだけなので全然大丈夫ですよ.
K 氏	はい.
研究者	ちなみにですが,家族の仲はいいですか？
K 氏	はい.これから私は退院しておうちに帰っても,なんだかそういう心配はないです.自分だって動けるようになるし.
研究者	なるほど.
K 氏	もうね,旦那もいるし,これから1人なんだったらまた違うのかもしれないけど,心配してくれる子供もいるし,家族の不安はないです.
研究者	わかりました.ありがとうございます.それでは次の質問いきますね.
K 氏	はい.
研究者	自分の心の状態に関する心配っていうのはありますでしょうか？
K 氏	自分の心？
研究者	そうですね,心の状態ですね.
K 氏	入院してからはもうずっとやっぱり不安だったよね.
研究者	何に対する不安がありましたか？
K 氏	病気になったこともないし,もう入院してからの全部の動き,自分の動きがやっぱり不安だったね.でも,1日2日3日って経ってたら,大体様子わかってくるじゃない.そういうので,そういう心配もそんなになくなってきた.こういうものなんだっていう感じ.自分の体の1日1日痛みが取れていくのはわかるし.看護師さん方のやっぱり言葉一つ一つはすごくありがたいと思うときもあるし.
研究者	入院してからっていうのは,一番不安なのは入院当初で,経過毎にちよつとずつ心配なり不安っていうのがなくなりましたか？
K 氏	やっぱり,手術さね,怖いのは.いや,当然かもしれないけど,あの手術室に入ったときは雰囲気怖かったね.
研究者	やっぱり入院前は手術が心配でしたか？
K 氏	<u>心配ってもう怖くて,怖くて仕方なかったね.だって,お腹切られるんだよ？</u> いや, <u>麻酔かかっているからわかんないよって言われたって.うん.すごく怖かったね.</u>
研究者	手術前は手術に対する怖さがあって,手術が終わってからは入院に対する不安というものがあるって,入院に対する不安というのは経過でちよつと減っていったっていききました？

K 氏 研究者	<p>そうだね。</p> <p>今後は家に帰った後とかに、何か心の心配や不安っていうのは何か、ありそうですか？心の状態に関する将来の心配っていうので、今入院の経過で説明していただいて、すごいわかりやすく、時系列を追って、教えていただいたんですけど、今後の話、退院後の心のその心配とかっていうのは何かありますか？</p>
K 氏 研究者	<p>本当にね、私おかしいかもしれないけど、ないね。</p> <p>ないですか？</p>
K 氏 研究者	<p>ええ、痛みもだんだん取れてて元気になるじゃない？手がなくなったとか足がなくなったついたら生活が困難になるから考えるかも知れないけど、そんなに心配事もない。支えてくれるものを頼ってるのかも知れないね。1人じゃないから。</p> <p>わかりました。今はないってことで、入院に対する心配もあったし、手術前の手術に対して、同様の心配や不安っていうのはもちろんあったけど。今は将来を想像したときには、その心配はないってことで大丈夫そうですね。</p>
K 氏 研究者	<p>うん。そうだね。</p> <p>わかりました。ありがとうございます。では治療の効果に関する心配というのはありますでしょうか？</p>
K 氏 研究者	<p>治療の効果？</p> <p>うん。薬であったりとか、先ほど話していただいた中では、生活面の中で、食事だったり、トイレだったりっていうのも一応治療の効果にも入ってくる内容なのかなって思ってるんですけど、まず薬とかの効果であったり手術の効果であったりっていうところの心配とかってありますか？</p>
K 氏 研究者	<p>ごめんね。そういうも心配もないんだ。役に立たないでしょ？</p> <p>全然大丈夫ですよ。</p>
K 氏 研究者	<p>ズレるかもしれないけどお腹が切れちゃってすごい痛いときあったんだよね。</p> <p>そのとき、主治医もちょうど居た時だったんだけど、そのとき痛み止めを打ってもらったんだよね。点滴の中にね。そしたらみるみる良くなったんだよね。薬っていう当たり前のことなのかもしれないけどすごいなと思った。</p> <p>そんなことぐらいしかないんだ、ごめんね。</p> <p>大丈夫です。今後、薬を飲み忘れて痛くなったらどうしようかっていう心配とかっていうのはありますか？</p>
K 氏 研究者	<p>もう今は頓服の痛み止めを飲んでるんだけど、お薬がね。それ以外はもう飲んでないから。このお腹痛いのも日に日にちょっとずつ良くなってるのが自分でわかるの。</p> <p>はい。</p>
K 氏 研究者	<p>だから、もう薬もいらんんじゃないかなとか思う。いや、だって 5,6 時間おきの頓服を飲んでるんだけど。つまりは夜中飲んでないちゅうことでしょ？夜中トイレ</p>

	の回数すごく多くて起きるんだけど、そのときも自分で動ける状態だから、薬必要ないってことでしょ？我慢できるっちゃうことでしょ？
研究者	そうですね。薬に関しては大丈夫そうですね。食事は一応治療の一環だと思ってて、心配なことを聞いてもいいですか？
K氏	うん。一番最初に食べたとき、うわーすごいと思った。味があんまりないし、それがいいんだろうけど、もうこれで1週間食べれるかなと思ったけど、それはそれでまた慣れていくんだね、人間ってやっぱお腹すくから。
研究者	今後もね、その腸に優しい食べ物を選んでいくので、何か心配とかあってのはありますか？今後の生活ちょっと想像してみたときに、食事の面で何か心配だなと思うこととかありますか？
K氏	薬の面で？
研究者	食事の面ですね。
K氏	いや心配っていうかなるべく気をつけて、カロリーとかって考えながらね、計算までいかななくても、考えながら少しでも変えていこうと思ってる。そう考えながらご飯も食べてたよ。これにこれ入れてもいいんだとか。やっぱり自分のうちで出ると違うから、これ2個の組み合わせでも食べれるんだみたいなね。
研究者	そうですね。例えば、これは食べたなら駄目なのかなとかっていうところで何か気にかかっていることとかって何かありますか？
K氏	なんだろう私、これ好き嫌い激しいんですよ。鶏肉は食べれるんだけど、他の肉は一切食べないし、魚も食べれるものと食べれないものってあるんだ。ほとんど野菜が好きかもしれない。
研究者	そうなんですね。なんかちょっとこうね、胃腸に優しいものを、胃腸の心配をちょっとしながら、カロリーとか計算していきたいんですね。
K氏	年寄りなんだからお父さんと一緒だからね。少しずつ考えて食事していかないと駄目だなと思いつつ毎日いただいてました。
研究者	なるほど。ありがとうございます。次は排便とかに関する事で、何か心配はありますか？
K氏	私は本当に便秘症だったの。
研究者	これから便秘症が心配ですか？
K氏	<u>うん。なんかお腹切ったのに、便秘してていいのかなって感じあるじゃない？</u>
研究者	がんになって、腸の動き悪くなって便秘症になる方も中にはいますからね。
K氏	うん、最初から便秘症なの。
研究者	そうなんですね。
K氏	そして今日もでない。明日も出ないってやってたら看護師さん診てくれるじゃない？
研究者	うん。それは何か今後も心配なことに繋がりそうですね。

K 氏	うん.心配,便秘症の体質がね.だからなおさら今後のことでは食べ物も考えなきゃなと思ってる.便秘症だけじゃないよ.やっぱり自分の体のことも考えたり,年も考えて,こういうふうになっちゃったんだから,やっぱりね,できることを何でもやろうと思ってる.
研究者	うん.体のことを予防することはすごい大事ですね.ありがとうございます.治療の効果に関する心配というのは特に,今の食事とか便秘症のところの主ですか?
K 氏	うん,そうだね.完治していくのがわかってくるしね.
研究者	いいじゃないですか.それでは次の主治医や医療スタッフとの関係に関する心配ってというのはありますでしょうか?
K 氏	ないです.私だって退院しちゃったらもう,どうなるんだろ? A 病院とは,お別れになるんじゃないの? 退院しちゃったら,10 日後とかひと月後に来て下さいみたいな形にはなるんだろうけど,それから徐々に薄れてくんじゃないの?
研究者	いや.そんなことはないと思いますよ.かかりつけの病院がここなので,ちゃんと外科の先生たちが外来とかで,見てくれると思います.
K 氏	定期的に通うようになるの? そしたら.
研究者	そうだと思いますよ.何かそこは心配でしたか?
K 氏	いや全然心配でないよ.
研究者	病院が変わるんじゃないかとかってところに何か心配ありそうな気がしたのですか?
K 氏	あのさ,これもちょっと話ずれてるかもしれないけど,主治医なんか優しいじゃない? 何か安心.やっぱり病院がね,手薄になってくるってさっき言ってたじゃないですか.
研究者	あの関わりがちょっとなくなってくっていうところに関しては心配でしたか?
K 氏	そうでもないけど,どうだろうな.もしかしたら病院が変わるんじゃないかとかっていうそれはないだって A 病院さんしかないじゃない.ここはね,でもあんまり関わりがなくなるんじゃないかって,さっき言ってたと思うんですけど,私がこの病気治っちゃったら,もうそれで終わりかなと思ったの.その定期的に通うようになるんだなっていうのはわからなかったのさ.
研究者	通院の頻度でどれくらいでとかわかんないから,そこに関しては心配なことはないですか?
K 氏	いや,ごめん.だからね月間の外来でも次の何月の何曜日に来るっていう.そういう指示があるんでしょ? はい,そしたら,大丈夫そうですね.
研究者	はい.ありがとうございます.最後,家族の将来に関する心配というのはありますでしょうか?
K 氏	家族の将来?
研究者	はい.

K 氏	私は私とお父さんと、娘しかいないんだよね。娘は B 市だけど、うん。そして旦那の親ちゅうのが施設に入ってるんだけど。もう、90 過ぎてるんだ。そして当然のように多分、お父さんの方が私より早く死ぬと思ってるから、全然心配じゃない。その後は私も娘を頼って、うん。娘と暮らすみたい。親権までいかないけど冗談交じりでそういう話をしたりもするから。
研究者	娘さんの将来とか、お孫さんの心配はありますか？
K 氏	うちの娘一人っ子じゃない？
研究者	そうなんです。
K 氏	<u>お父さんも私ももし死んじゃって、娘が私のぐらいの歳になったら何かあったときに助けてくれる人いないじゃない？ 従兄弟でもはどこでもいるけど、それなりのお付き合いしてたら頼めるけども、大してしてないのにそういうとこだけ頼めないじゃない。はい。うん。だからそれが一番心配。</u>
研究者	確かに、何 10 年後の話になりますね。
K 氏	本当に将来の話なんだけどね、自分たちの心配はしてません。
研究者	はい。わかりました。旦那さんの心配とかは特にないけど、やっぱ娘さんが一人っ子だし…
K 氏	いや、お父さんもね。体調悪いとか何か病気なんだったら心配だけど、全然毎日パチンコ行って遊んでるし、元気そうだからそんなに心配ない。まだ仕事してるしね。
研究者	本当に、例えばなんですけど旦那さんが病気になったら、体調に関する心配もあると思うんですけど、介護に対する心配とかってどうですか？ 私の体で介護できるのかなとか。
K 氏	<u>できない、できない。そういう風になったら、本当どうなるんだろう。介護は絶対できないね。</u>
研究者	結構大柄なんですか、お父さんは？
K 氏	<u>いや全然普通だけど、男の人を支えられないじゃない？ 女の人の年寄りってさ、本当に難しいかもしれない。その状態にもよるかもしれないけど、預かってくれる施設があるんだったら、そういうところをお願いしたい。それしかない。</u>
研究者	確かにそうですね、ちょっと大変なっちゃうかもしれないですね。
K 氏	はい。
研究者	わかりました。はい。ご家族さんに関するところは、以上になります。最後なんですけど、宮本さんが家に帰った後、また料理とかするってさっきお話してたと思うんですけど、家事動作、家の仕事として、
K 氏	私、入院する前はそんなにしてないよ？ ご飯も 3 度のご飯はあんまり作ってなかった。きちんとは作ってない。
研究者	そういう準備とかもされると思うんですけど、食事の準備なり、洗濯なりとか掃除な

	りとかはします？
K 氏	するよ.好きだから.
研究者	そこに関する将来に関する心配は何かありますか？
K 氏	私がもし,がんだったら,そういうこと一切できなくなるよね.
研究者	確かに,今回の帰ったあとの生活はどうですか？
K 氏	うちのお父さん,洗濯も自分でするんだよね.そして,あの食べ物もお惣菜とか今スーパー行って,嫌がらないで買ってきたりしてさ,食べたりしてるね.
研究者	そうなんです.自分がやるってなったときに,お父さんじゃなくて,何か心配なこととかってありますか？
K 氏	<u>ちゃんと何時間も立てられるかなとか,心配.あと,心配は掃除機にしたとかって腰曲げとかかけるのもね,どこまでやれるかなとかって.うん.家事全般全般はみんな心配だよ.</u>
研究者	なるほど.家事全般が心配なのはやっぱり前と比べて同じくらいできるかなっていう心配がありますか？
K 氏	できるかなっていう心配はないね.どうしてかつたら,あの多分やらないと思うから.自分の体の方を大事にして,うん.例えばホコリあっても死なないじゃない.だから毎日かけてたものを2日3日置きにしようとか,そういうふうにさぼろうと思ってる.
研究者	なるほど.ちょっと頻度も減らしながらってことですね.
K 氏	そうそう.食事もちよっと多めに作っておいたら,また次に食べられるじゃない.お父さん嫌だったら食べるなって感じ.
研究者	頻度を減らして調整していくんですね.体力が続くか心配ってところが大きそうですね？
K 氏	なんかね,体力が続くかっていうか,時間かかるかなって感じ.完全になるまでにね.
研究者	そうですね.あと,洗濯とかするとき重たいものを持つとかはどうでしょう？
K 氏	<u>こういうふうになっちゃったら重たいの持てないからわかんないけど.うちの階段は急なんだよね,結構ね.だから,どンドンって行けるのかなって?2階に重たいものを持っていけるかは心配そうですね.</u>
研究者	2階で洗濯物干してるの？
K 氏	うん,そうだね.良くなる前は,1日何回も階段の往復だよ.でも,時間があるんだから階段だって,一つ一つ上がっていけばいいじゃない.洗濯物腐るわけじゃないしと思ってる.
研究者	ゆっくりで大丈夫そうですね.
K 氏	うん.何かそういう心配はない.重たい物持ったとき,お腹痛いのかなとかって1人でちょっと考えてたけど,うん,どう何だろうね.

研究者	心配ではないですか？
K 氏	私はなんか変だよ。心配じゃないよ。だってやるしかないじゃない。やって確かめてみるしかないもんだから、もし重たかったら、少しずつ入れて軽くしてあげればいいじゃない。その往復ちよっと増えるかもしれないけど、だからさっきも言ったけど、私時間あるから1日時間あるから、逆にリハビリなるかもしれない。好きなようにやろうと思ってる。
研究者	はい。わかりました。ありがとうございます。最後に北海道なんで、雪かきとかどうですか？
K 氏	大変だよ。やります。結構やってた、やってた。家の前とかここがいいんだけど家で屋根の雪が落ちたときね。うん。しなきゃいけないんだよ。今の体でできる社会の真ん中だから、うん、うんうん。結構なんちゅうや金のこんなロータリーみたいのが入ってくれるからそんなにね、家の前とか横は雪かきしなくていいんだけど、屋根の雪をしっかりとしなきゃいけないね。近所の家に迷惑かかるか。
研究者	自分でやれるかどうか心配はどうですかね？
K 氏	まだ正式に決まってないんだけど、私達のうちも古いから、歳だから、雪はねって大変だからね、住宅に入ろうっていう話してたのさ。
研究者	そうなんです。ね。
K 氏	うん。そうじゃなくても雪はねはちよっとしんどかったからね。
研究者	今後そこに関する心配もなさそうですね。
K 氏	うん。だから今年はだから引っ越しを予定してる。
研究者	そうなんです。ね。引っ越しに対する心配とか、何かありますか？
K 氏	準備もそれこそ、運んだりとかしてるものもいっぱいあるし、重たいものだらけでしょ何するたって、うん。だからもうちよっとおとなしくしてて、様子見て・本当に大変だと思うけども頑張りたい。
研究者	はい。わかりました。仕事とかは今してないですよ？
K 氏	私してない。お父さんはしてるよ。パチンコ行きたいから頑張ってるんだと思うよ。施設の夜勤に行ってるんだらう、ひと月に10日だけ、
研究者	頑張ってますね。
K 氏	だから遊びたいんだらうさ。私は別に何も言わない。自分でやってるのだからいいのかなって感じ。
研究者	はい。わかりました。すいません、以上で終わります。ありがとうございました。
K 氏	こんなんでも良かったのかな？
研究者	大丈夫ですよ、本当に大丈夫です。本当にありがとうございます。
K 氏	優しい顔して言ってくれるね。
研究者	とんでもないです。本当にありがとうございました。
K 氏	ありがとうね。

## 将来に関する心配に関連する語り

### 1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り

がんにもたなりやすくなってるんじゃないかとか,なんかそういうの素人の考えで,そういうの心配しちゃうね.

他のところにがんが転移してしまうという心配もあるということですね.

うん.何年かしたら違うところになるんじゃないのかなとか

あと,当然のことだけど,手術ってほんとに大変.当たり前だけど痛いじゃない? 本当これからの生活気をつけようと何回も思った.

### 2.家族との関係に関する心配に関連する語り

特になし

### 3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り

特になし

### 4.治療の効果に関する心配に関連する語り

なんかお腹切ったのに,便秘してていいのかなって感じあるじゃない?

うん.心配,便秘症の体質がね.だからなおさら今後のことでは食べ物も考えなきゃなと思ってる.

### 5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

特になし

### 6.家族の将来に関する心配に関連する語り

お父さんも私ももし死んじゃって,娘が私のぐらいの歳になったら何かあったときに助けてくれる人いないじゃない? 従兄弟でもはどこでもいるけど,,それなりのお付き合いしてたら頼めるけども,大してしてないのにそういうとだけ頼めないじゃない.はい.うん.だからそれが一番心配.

男の人を支えられないじゃない? 女の人の子供が,本当に難しいかもしれない.その状態にもよるかもしれないけど,預かってくれる施設があるんだったら,そういうところをお願いしたい

### その他

ちゃんと何時間も立てられるかなとか,心配

あと,心配は掃除機にしたとかって腰曲げとかかけるのもね,どこまでやれるかなとかって.家事全般はみんな心配だよ.

## 作成したカード

(K-1)がんになりやすい身体になったかもしれない

(K-2)他の部位にがんが生じるのではないか

(K-3)再手術するかもしれない

(K-4)お腹を切られてしまうかもしれない

(K-5)便秘が続くかもしれない

(K-6)食事のせいで便秘になってしまうのではないか

(K-7)自分が亡くなった時に,家族に身寄りがいなくなってしまう

(K-8)身体的介助で旦那の体を支えられないかもしれない

(K-9)何時間も家事動作で立ってられないかもしれない

(K-10)掃除をする時に身体を前屈みにできないかもしれない

(K-11)洗濯で家の階段を何度も往復できないかもしれない

表 16. L 氏逐語録

L 氏: 逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者	よろしくお願ひします. 将来に関する心配に対するインタビューを行いますので, 些細な心配でもいいので, 何かありましたら教えていただければ幸いです. それでは最初からいきます. がんという病気自体に関する心配というのはありますでしょうか?
L 氏	心配はあります.
研究者	はい. どのようなことが心配でしょうか?
L 氏	<u>転移してしまうのではないかとか, 抗がん剤治療したときに, つらいのではないかとか, あともし転移してしまったときにね, そういうことです. あと, 家族が, 家族のことがちょっと心配ですね.</u>
研究者	はい, ありがとうございます. それでは二つの心配を言っていただきましたので, ご家族様の心配はまた後ほど聞く項目がありますので, まず最初に, 転移してしまうかもしれない心配というのは, もうどのようなこの後の生活でも続きそうですか?
L 氏	うん. 先生が, 今は大丈夫だよって言うてくれるんであれば大丈夫っていう言葉にちょっと信じたいなって思ってます. なんて言えばいいんだろうね. もし転移してしまっても治るよとか, 安心してくれる言葉があれば, ちょっと安心かなと. 今のところ大丈夫って先生が話してるので安心しています.
研究者	わかりました. ありがとうございます. 今後その抗がん剤治療に関する心配というのは, 具体的には何かありますでしょうか?
L 氏	<u>聞く話によると, 髪の毛が抜けたりだとか, すごい吐き気だとか, 具合が悪くなることが多いっていうのを聞いたり, よくドラマとかテレビとかで, 見たりしてるので, その辺のところはちょっと心配そうですね.</u>
研究者	髪の毛だけなんか見た目であったりとかってところが, 心配になりそうですかね?
L 氏	<u>見た目もそうだけど, 自分の体のつらさとかも心配です.</u>
研究者	はい. 手術の後, 痛みや具合が悪いことなど, つらかった時期あったと思うんですけど, そのときがもう 1 回来るかもしれない心配とかってというのは何かありますか?
L 氏	<u>そうです. いやそれはもちろん痛いから心配があります. 痛いのは嫌ですから.</u>
研究者	この自分の体のつらさってさっきお話いただいたんですけど, その内容は, やっぱ痛みももちろんそうだし, 倦怠感とかもていうことですか?,
L 氏	そうですね.

研究者	ありがとうございます.質問の最中に僕が話せる内容とか,ちょっとわかんないことあったら全然聞き直していただいて大丈夫です.がんという病気自体に関する心配は他にはどうですか?
L氏	病気自体ですか?
研究者	うん.
L氏	病気自体は先生の方からも説明いただいてたので,大体はわかってるつもりではあります.
研究者	はい.ありがとうございます.じゃあ,次の質問に移りたいと思います.はい.先ほどもちょっと話していただいたんですけど,家族との関係に関する心配はありますか?
L氏	家族がすごい.落ち込んでしまうというか,うん.すごい心配するというか,責任を感じられるとちょっと,,うん.困りますね.
研究者	なるほど.責任を感じられるっていうのは,どういうことでしょうか?
L氏	何て言ったらいいのかな?なんて言えばいいんだろう,健康診断とかほら,あるでしょ?そういうのを,私全然受けてなかったんで,受けるようにとか.そういう何て言ったらいいんだろう?言いたいんだけど,ちょっと言葉が出てこないですね.あと子供たちのことですね.これから先のこと,,
研究者	子供たちのこれから先のこと?
L氏	<u>もう成人して安心はしてるんですけど,やっぱりね,母親がこうなってしまったら,もしなくなってしまったなと思ったら,どうなのかなと,ちょっと気がかりです.</u>
研究者	はい.わかりました.ありがとうございます.他に家族との関係に関する心配などはありますか?
L氏	<u>あと,実家の母ですね.自分より先に娘が亡くなったらって思ったらすごく悲しみと思うんですね.その悲しみがちょっと嫌ですね.そうですね.私としては自分,親より先に子が行ってしまうっていうのはすごい悲しいものなので,そこらへんはちょっと嫌です.</u>
研究者	わかりました.ありがとうございます.他には大丈夫ですか?
L氏	はい.
研究者	続きまして3つ目に行きます.自分の心の状態に関する心配は何かございますでしょうか?
L氏	心の状態というと?
研究者	心の気持ちとかですね.
L氏	うーん,今はもう手術してもらって退院するっていうことで,気持ちは嬉しい気持ちです.なるべく後のことは考えたくないなと思ってる.
研究者	今健康であればいいかなと思っています.でも先のごことはわからないからね,,先のごことがわからないことに関する心配とかありますか?

L氏	心配しても仕方ないかなと思って今ところ,そんな心配するよりは元気でいた方がよいと思っています.元気でいようと思っています.
研究者	はい.ありがとうございます.次の質問に移ります.治療の効果に関する心配はありますでしょうか?
L氏	効果・・・?
研究者	はい.治療の効果は,,
L氏	これから先?今の状態?
研究者	いえ,将来的な,,
L氏	将来的?いや将来的なことはちょっとわからないですね.
研究者	そうですね.治療っていったら広い意味になってしまうんですが,薬であったりとか,ご飯であったりとかって生活の部分も入れて,狭めて聞いていきたいんですけど.
L氏	薬で効果があるのであれば薬で抗がん剤とか苦しいものを使わずに,飲み薬だけで行けたらなって思います.
研究者	これは最初の質問で言っていた抗がん剤治療が心配しているところと関連しそうですね.ありがとうございます.食事も治療の一環だと思うんですけど,食事に関する何か心配とかってありますか?
L氏	今,食事が細くてあんまり食べれないんですけど,なるべく健康食品みたいな,やっぱり体にいいものを取っていきたくて.でも結局は自分で作らなきゃいけないので面倒くさくなってちょっと手抜きしちゃうかなって思いますけど.
研究者	どんなものを作ればいいのかとか,どんどん食べればいいのかって心配はありますか?
L氏	<u>ありますね,献立とか調べなきゃいけないですね.野菜とか普通に取ってれば大丈夫だと思うんだけど.</u>
研究者	ありがとうございます.治療の効果に関する心配は他には大丈夫ですか?
L氏	心配してもしょうがないので,ないです.ありがとうございます.
研究者	ありがとうございます.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配はありますか?
L氏	いえ,その心配は大丈夫です.信頼しているので.
研究者	ありがとうございます.
L氏	みなさん,良くしてくださって,ありがたいと思っています.
研究者	はい.ありがとうございます.皆様,優しいですね.うん.それでは,最後の質問になります.家族の将来に関する心配はございますでしょうか?
L氏	家族自体の将来に関する心配?例えば?
研究者	そうですね,この同じインタビューしてくださった方だったら,Lさんと条件違うんですけど,高齢で,旦那さんの介護をしなきゃいけない心配があるとか,将来的に

	<p>旦那の方が体重が重くてとかっていうのを,調子が悪いのに大丈夫なのかな?って心配されてる方は中にはいました.今これで例にあげたのが,Lさんは,まだそういう年齢でないので,一例出すには適してるかなと思って.あとお子様のことであったりとかっていうのもありましたね.お母さんのこととかも,話してくれる方もいました.</p>
L氏	<p><u>主人のことかな.何もできない人だから,子供たちがいれば,安心なんですけど,それぞれ家庭を持つことになる,1人になるので.私がいなくなると,それが心配です.</u></p>
研究者	<p>何もできないというのは家の家事のことですか?</p>
L氏	<p>はい.今一生懸命勉強してる最中なんですけど,,</p>
研究者	<p>なるほど,そうなんです.</p>
L氏	<p><u>はい.本当に何もできない人なので.あと,将来見越したときにちょっと心配だなと思うのは,主人の体のことですね,ヘビースモーカーなので,病気になって,子供たちに迷惑かけるよね.</u></p>
研究者	<p>確かに,そうですね.</p>
L氏	<p>だから健康に注意してほしいですけどね.</p>
研究者	<p>なるほど.</p>
L氏	<p>健康でいてほしいね.</p>
研究者	<p>さっきお子さんのことは,将来的なことも含めて話していただいたんですけど,お母さんのこととかは将来的な心配とかって,現時点で何かありますか?</p>
L氏	<p>母ももう 80 歳だから,今まだ元気で仕事してるけど,ちょっとパートに行ってるんですけど.</p>
研究者	<p>パートされてるんですか?</p>
L氏	<p>パートっていうか,あの農家さんなんですけど.時々ちょっと来て手伝いで,去年まではびっちり行ってたんですけど,今年はまだ歳だからやめるわって,引退しました.</p>
研究者	<p>はい.</p>
L氏	<p><u>母もね,,弟がいるから心配ないんですけど.健康面より精神的なものでちょっと心配かなって.体のことじゃなくてね.</u></p>
研究者	<p>わかりました.はい,ありがとうございます.これでインタビューガイドは終わりになるんですけど,話してた中で,何点かだけ確認させてください.旦那さんが家事を何もできないって話されてて,Lさん,明日から家帰って,すぐにではないと思うんですけど,家事すると思うんですよね.家事と仕事のことをちょっとお聞きしたいと思うんですけど,家事に関する心配は何かありますか?</p>
L氏	<p>私自身ですか?</p>
研究者	<p>はい.家事を行うことに関する心配ですね.</p>

L氏	そうですね.体元気なんで,心配はしてないです.今まで通りやっていきたいと思う.
研究者	はい.大丈夫そうですね.
L氏	大丈夫,体は大丈夫そうなんで.
研究者	仕事の復帰であつたりとかに関する心配とかあってありますか?
L氏	農家だからできる範囲でぼちぼちとやっていこうかなと.今は,そんな忙しいことはないですけど,忙しくなってきたら,できる範囲でやっぱりぼちぼちと手伝っていききたいと思います.
研究者	できる範囲っていうのは,体力的にですか?
L氏	そうですね.体力的にですね.結構これからだったら稲刈りとか始まってくるからね.
研究者	体力的に自信がついたらどうですか?
L氏	そしたら, <u>体力的な心配がなくなれば普通の業務</u> を行っていきますね.
研究者	今のところ重たいものを持ったりとかできそうですか?
L氏	まだ先生に聞いてないんですけど,
研究者	そういう心配とかあって何かありますでしょうか?
L氏	<u>重たいもの持てないのであればもう息子たちに,子供たちに持ってもらってね.</u> 持てるようであれば無理せず,自分で持っていきたいです.
研究者	わかりました.ありがとうございます.今後,スーマの部分で,何か活動が制限されてしまうでスーマに関して何かそういう心配とかあってありますか?
L氏	<u>やっぱり音が出るんですよね.普通の人で言えばおならの音,出ちゃうんで.いつどこで出るかわかるそれは心配.気になるね.</u>
研究者	うん.あと,手技とかに関する心配はないですか?
L氏	<u>ないと言えは嘘だけれど,もうできると思います.多少は心配かもしれないけど,うん.</u> 今まで看護師さんに見てきてもらって,慣れてしまえば,うん.大丈夫.
研究者	<u>破棄が1人でやるのが心配そうですか?</u>
L氏	<u>少しだけ1人でやるには心配はあります.</u> 慣れていないことですからね,はい.
研究者	ありがとうございます.最後なんですけど,北海道なんで,全員に聞いているんですけど,雪かきとか心配なこととかあってありますか?
L氏	雪かきはもう家のものがやってくれるので心配ないね.
研究者	はい,それでは大丈夫そうですね.ありがとうございます
L氏	うん.大丈夫です.
研究者	それでは,以上で,インタビューの方,終了させていただきます.ありがとうございました.
L氏	ありがとうございました.

## 将来に関する心配に関連する語り

### 1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り

転移してしまうのではないかとか、抗がん剤治療したときに、つらいのではないかとか、あともし転移してしまったときにね、そういうことです。あと、家族が、家族のことがちょっと心配ですね。

髪の毛が抜けたりだとか、すごい吐き気だとか、具合が悪くなることが多いっていうのを聞いたり、よくドラマとかテレビとかで、見たりしてるので、その辺のところはちょっと心配そうですね。

見た目もそうだけど、自分の体のつらさとかも心配です。

そうです。いやそれはもちろん心配があります。痛いのは嫌ですから。

### 2.家族との関係に関する心配に関連する語り

やっぱりね、母親がこうなってしまったら、もしいなくなってしまったなと思ったら、どうなのかなと。ちょっと気がかりです。

あと、実家の母ですね。自分より先に娘が亡くなったらって思ったらすごく悲しむと思うんですよね。その悲しみがちょっと嫌ですね。そうですね。私としては自分、親より先に子が行ってしまうっていうのはすごい悲しいものなので、そこらへんはちょっと嫌です。

### 3.自分のこころの状態に関する心配に関連する語り

特になし

### 4.治療の効果に関する心配に関連する語り

ありますね、献立とか調べなきゃいけないですね。

### 5.主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

特になし

### 6.家族の将来に関する心配に関連する語り

主人のことかな。何もできない人だから、子供たちがいれば、安心なんですけど、それぞれ家庭を持つことになるので、1人になるので。私がいなくなると、それが心配です。

母もね、弟がいるから心配ないんですけど。健康面より精神的なものでちょっと心配かなって。

はい。本当に何もできない人なので。あと、将来見越したときにちょっと心配だなと思うのは、主人の体のことですね、ヘビースモーカーなので、病気になって、子供たちに迷惑かけるよね。

### その他

体力的な心配がなくなれば普通の業務を行っていきますね

やっぱり音が出るんですよね。普通の人で言えばおならの音、出ちゃうんで。いつどこで出るかわかるそれは心配。

ないと言えば嘘だけれど、もうできると思います。多少は心配かもしれないけど、うん。今まで看護師さんに見てきてもらって、慣れてしまえば、うん。大丈夫。少しだけ1人でやるには心配はあります。

## 作成したカード

(L-1)がんが転移してしまうかもしれない

(L-2)抗がん剤治療で髪が抜けてしまうかもしれない

- (L-3)抗がん剤治療で体が辛くなるかもしれない
- (L-4)再手術をして、また痛みが出てしまうかもしれない
- (L-5)もし自分が亡くなったら、子供達の将来はどうなるのか(どうやって生きていくのか)
- (L-6)もし亡くなったら、母親を悲しませてしまうかもしれない
- (L-7)消化の良い献立を考えられるかどうか
- (L-8)もし自分が亡くなった後、夫は家事ができないかもしれない
- (L-9)自分の夫が病気になると子供が面倒を見なければいけないかもしれない
- (L-10)体力の低下によって、仕事に復帰できないかもしれない
- (L-11)今後、仕事で重たいものを持ち運べないかもしれない
- (L-12)ストーマ造設し、急に空気音が鳴ってしまうかもしれない
- (L-13)ストーマ内の排便の始末ができないかもしれない

表 17. M 氏逐語録

M 氏:逐語録	
回答者	インタビュー内容
研究者 M 氏	はい,それではよろしくお願ひします. 宜しくお願ひします.
研究者 M 氏	今,がんという病気自体に関する将来の心配はありますでしょうか? そうですね.家に帰っても,, <u>がんというのは転移するというから,他の臓器が残ってたとしたら,転移するんじゃないか</u> という不安がありますね.
研究者 M 氏	それは家に帰っても続きそうな心配ですか? そうだね.1番,全部取ってね,内臓を取ってね,ないですよっていう状態なら, <u>心配ないけど,内臓がね,元気な部分が残ってたら,転移してね.その部分が癌にね,なるんじゃないか</u> という心配が私あるんですよ.
研究者 M 氏	はい.そうですね.転移ということに関する心配は,結構皆さんもあるという話をいただくことがありますね. TV しか聞いたことあるんだけどね.やっぱりなった人がちょっと近所にいたからね,喉頭がんで入院した方が,女性の方でいらっしゃるんだけど,年上だけだね,その方が元気で治って,働いていてパートをしてるもんだから.内臓が,胃とか小腸とかを取ったんだろうけど, <u>胆のうとか他の残ってる臓器に転移する心配があります.</u>
研究者 M 氏	はい,ありがとうございます.TV での知識っていうふうには先ほどおっしゃられてたんですけど,正確な情報が入ってくるか来ないかってところには心配はありますか? ありますね.やっぱり.これから先ね.やっぱり近所の主婦の方も喉頭がんになって,治られて,どこも転移しないで元気にパートに行ってるから,むしろ私が,がんになってびっくりしたからさ.だからね,まず残ってる消化器官があつて, <u>残ってる臓器が再発っていうんか?がんが広がらないかが家に帰って不安です.</u>
研究者 M 氏	がんの再発やがんが広がるのが,不安なことですか? そうですね.
研究者 M 氏	がんが広がることっていうのは症状的な話ですか? うん.そうですね. <u>残ってる臓器がね,がんに侵されるのではないかと.切った,取ってしまったやつはないですけどね.残ってるのがね,転移した場合に,どうしたらいいかなって.それもいつ転移するとしたら,いつごろに転移するのか,どうしたらどうなるのかもわからないけど,残ってる臓器があれば,それも転移しなければいい</u> なと思っています.喉だとかね.
研究者	はい,ありがとうございます.転移のこともそうなんですけど,正確な情報という

	<p>のが入ってこないこともさっき心配っていうふうに話してて、そこに関する何か心配とかってありますか？ちゃんとした情報が自分の中に入ってきているのかなとか？</p>
M氏	<p>そうだね、それもあるんだけど、携帯でもさ、これなんだっけ、こういうね、いろんな人のアドバイスがあるから、タブレットかい？</p>
研究者	<p>はい。</p>
M氏	<p>パソコンはないけど家にタブレットもあるから、息子がね、長男が時々してくれるから、そんなときにわからなかったら、PCで調べてみてもらおうかなと思ってらるんで。</p>
研究者	<p>それなら、そこに関する心配は正直なさそうですか？</p>
M氏	<p>そうだね、今のところね。</p>
研究者	<p>はい、それではがんという病気自体に関する心配は他にはないでしょうか？</p>
M氏	<p>そうですね、もうなってしまったから、元気な状態には戻らないでしょ？だんだん歳いくし。</p>
研究者	<p>はい、がんになってしまって、元に戻らないっていうのは心配じゃないですか？</p>
M氏	<p>まあ、なってしまって、こんな傷になって、大きくなったから、だから、もう元の健康状態ではないことは、実感してますからね。</p>
研究者	<p>うん、それは心配じゃないですか？大丈夫ですか？</p>
M氏	<p>まあ、なってしまったことは、これ以上はどうしようもないよね、自分でね、考えてみたって、どうにもならないから、自分の体だからさ、だから、一生懸命ね、生涯終わるまで、病気とともに生きていくしかないと思ってます。</p>
研究者	<p>はい、ありがとうございます。そしたら、次の質問に行きますね。</p>
M氏	<p>はい。</p>
研究者	<p>家族との関係に関する心配はありますか？</p>
M氏	<p>別にないですね、今のところはね、やっぱりこんなんなったらさ、長女もさ、息子が電話してくれて、知らせてきたらね、駆けつけてくれたし、別に家族との心配はないからね。</p>
研究者	<p>ないですか。</p>
M氏	<p>はい。</p>
研究者	<p>はい、大丈夫そうですね、次の質問に行きます。自分の心の状態に関する心配はありますか？</p>
M氏	<p>先ほど言ったように、まあ、こんな体になって、生まれてから死ぬまでね、自分の体を親からいただいて、健康な状態だったんだけど、<u>こんなふうになってしまったから、元には、若いときには元に戻らないだろうから、不安にはなりません。</u></p>
研究者	<p>元に戻らないことに関する不安であったり心配というのはやっぱり少しはありそうですか？</p>

M氏	うん、そうですね。元気なときだったから、全部何でもできた時だったからさ。だから私も隣近所の奥さんもがんで入院してたけど、咽頭癌でね。転移しないで、アルバイトとか今もしてますけどね。私はこんなになっちゃったら、こんなに今までね、 <u>外の草刈りとかしたんだけど、力仕事ができないんでないかという不安だけですね。</u>
研究者	力仕事ができないことも心配ですか？
M氏	うん、やっぱりね。今まではさ、家の周りに草生えてるからさ。街中だからさ、山だったら多少ほったらかしにしていいいんだけど。やっぱり、人目につくからね、草刈ったりして、綺麗にしとったんだけどさ。これからは傷があるからさ、 <u>力仕事も元気な時よりは、できないんでないかと思っています。これは自分で自覚してるから。</u>
研究者	やっぱそれは不安感からくることだと思うんですけど、力仕事ができないことっていうのは、さっき話した通り趣味の草取りだったりとかができないことも心配ですか？
M氏	<u>趣味ができないこともそうですね。あとね、バスに乗って、電車乗ってて通院してたんですよね。元気だったから。だけどこんなんだったらさ、私はまたね、自転車が乗れないから、ハイヤーに乗って、バス停まで行って、バスに乗ってくるしかないんだけど、それが1人できるかどうかっていうのが不安にはなっています。</u>
研究者	なるほど。交通機関使って通院ができないことが心配ってことですね。
M氏	そうですね。元気なときは、私自分でね、自転車に乗って、バスに乗って、自転車をバス停に置いて、バスに乗ってっていう市立病院に通院していたんですよね。だけど、こんななったから、 <u>自転車も乗れないだろうと思うし、大体バスに乗って、倒れたりなんかする不安があります。</u>
研究者	なるほど、わかりましたありがとうございます。さっきも若くて元気なときは何でも出来たっていう話だったんですけど、自転車が乗れなくなって生活範囲がちょっと狭まることに関する心配とかもありますか？買い物だったりとか通院だったりとか。
M氏	そうそうそう。そんな感じで、アドバイスもらって、家に帰って、考えているよりは、 <u>実際に行動するのと、ちょっと違うんでないかという不安がありますよね。自分の行動範囲がね。今まで割とね、自由にね、役所まで自転車で行ってたんですよ。手続きとかね。だけど今度だったら、バスに乗るのも難しいかなって不安を抱えてる。</u>
研究者	帰ってからちゃんとバスにも乗れるかなとか、自転車が乗れなくて、ちょっと行動範囲が狭くなってしまうところも心配そうですね。
M氏	そうです。ありがとうございます。
研究者	他には何かありますか？
M氏	今のところはこれとってないですね。

研究者 M氏	わかりました。次行きますね。治療の効果に関する心配はありますか？ 今現在で言ったらね、薬もいただいでるからさ、点滴もね。手術した後ね、食事食べれないからさ、点滴もしてもらったけど。食事を取れるようになってから、点滴もなくなったしね。
研究者 M氏	今は薬の効果に関する心配は特にはないですか？ だから病院にいる間は、大部屋に来てから、お薬で看護師さんが持ってきて、そこから朝昼夜寝る前とかの、その、袋に入ってる中から分けけて、私が分けけて、そして出して、看護師さんがこれですよって言ったら、それでちゃんとできてますねって最近は言われたから。だから割とその点はいいいんでないかなと思ってます。こうやって色分けして朝昼晩、そして間違いないように開けたら、私の皿に入れてね。
研究者 M氏	帰ってから、心配なことないですか？ 今ところはそれはできると思ってやっています。看護師さんがね、そうやって家に帰っても、もう心配ないようにできるように、薬をちゃんとね、きちんと間違いなく飲めるように、看護師さんが練習させてくれたから、こんなならうちも通院してね。薬こっからもらってるから、私、自分で飲んでるからそれはできると思うんですよ。
研究者 M氏	はい。それでは、ご飯食べたりとか、トイレに関することも治療の一環に入ってくると思うんですけど、管理とかの方もね、その点に関して食事から何か心配なことがありますか？ 私はね、大体ね、病院に出てくる食事を思い出して、大体それに沿って、病院ではこういうの出たなって思って。そして、自分でね。作って食べようかなと思っています。
研究者 M氏	その献立選びとかの方では心配なことはありますか？ 別に特に心配はないんですけど、やっぱり病院で、朝はこれ出たな、昼はこれ出たな、夕食はこれ出たなっていうふうに大体思い出して作って、家帰ったら、多少ね、違いはあるかもしれないけど、食べようかなと思っています。
研究者 M氏	はい、じゃあ次はトイレに関する心配とか何かありますか？ おトイレはね、ここの病院の始めね、手術が終わって、特別室に入ってたときはトイレ近かったんだけど、4人部屋に移ってからはちょっと遠くなったからね。
研究者 M氏	家に帰ってからのトイレに関する心配はどうでしょうか？ 家に帰ったらね、手術終わって、特別室のような感じでね。ベッドあったらね、すぐ何とか、トイレあるんですよ。だからトイレ行く方は近いからね。うん。個室入ったと同じように、近いんですよ。すぐ玄関だから。だからね、トイレの心配はないと思うんですよ。
研究者 M氏	トイレに関する心配はなさそうですね。パウチに関する心配は？ これはね、やっぱり今ね、練習してますから、家帰ってから、もしかね、ぶれて、手が

	<u>うまく病院ではいってるんだけど、指導してもらってね、上手くいってるんだけど、家帰って、できなくなったとかさ、そういうのがあるのが心配だね。</u>
研究者	はい。手がぶれて、ちゃんとできなくなってるのは心配ですか？
M氏	家に帰ってね、ここで練習してるうちは緊張してるからきちんとやってますけど、帰ったら自分だけだから、できるかなっていう心配はありますね。ただね、この会社のね、何かカタログみたいな、看護師さんくれるっておっしゃってたから、忘れたり忘れるのが強いなっていう意識を持ってるんですよ。だから家に帰ってから忘れたなと思ったら、そういう紙をいただけて、会社の紙をいただけるそうで、それを見ながら、やっていきたいです。
研究者	そのやり方とかを忘れるのが心配でもあるってことですか？
M氏	そうですね。
研究者	はい、それをカタログとか見ながら、やるけど、忘れるのもMさんが想定してる心配ですか？
M氏	そうですね。それが1番、家に帰って心配です。帰ってからはさ、トイレはさ、近いから、距離的なのは大丈夫ですけど、それがね、ここは取り付けが一番心配ですね。
研究者	はい、わかりました。ありがとうございます。他に何か治療の効果に関する心配とかあってありそうですか？
M氏	いや、別に、わからないときは聞いてるので大丈夫です。
研究者	わかりました。次の質問にいきます。主治医や医療スタッフとの関係に関する心配はありますか？
M氏	うんとね、皆さんね、ここへ来たらコロコロと変わるから、名前を覚えられないからさ、で、最初のときね、レントゲン検査とかさ、そういうのでうわあって初めて下に下がったからさ。前もってこれありますよとかって言うってくれるならいいんだけど。
研究者	はい。そうですね。今後の生活で、また通うことになると思うんですけど、主治医とか医療スタッフとの関係に関する将来の心配でありますか？
M氏	いや、これからはね、なるようにしかならんから。外来で通院して、2度目の再入院で、この人工便をまとめる手術をするらしいんですよ。
研究者	はい。
M氏	<u>冬にね、だからまた、今はよく降ってないけど、これからやはり冬になって雪降るから、そういうちょっと多少の心配は出てくるかなと思います。</u>
研究者	雪が降って通院する。なんかそれは医療スタッフとの関係とはまたちょっと違うんで。また後から聞いていきますね。ごめんなさい。
M氏	<u>いいよ。ここが痛い痛くなるんでないかと思っています。雪が降って寒くなると傷が痛くないなるんじゃないかなという不安を持ってるんですよ。</u>
研究者	なるほど。ちょっとまた後で詳しく聞きますね。ごめんなさい。
M氏	わかりました。

研究者	関係に関する心配は特になさそうですか？
M氏	病院のスタッフですね.別に不安になることはありません.
研究者	はい.わかりました.家族の将来に関する心配ありますでしょうか？
M氏	ありません.
研究者	ありません？大丈夫ですか？
M氏	はい.長男との連絡も増えている.今回ね,長男にお世話になって,入院に必要なもの,急に入ってきて,入院に必要なものを届けてくれたから,別に家族する心配はありません.
研究者	はい.息子さんも娘さんに関する将来的な心配は特にないってことですね？
M氏	はい.
研究者	わかりました,ありがとうございます.さっき,主治医や医療スタッフとの関係に関する心配なところでも上がってきたんですけど,雪が降って寒くなると痛みいたのかもしれないという心配があったりとかがあるとおっしゃられてたんですけど,やっぱり将来的に気になりますか？
M氏	<u>気になりますね.今まで,その,傷がなかったけどね.私のね,両親だとかよく言っていたけど,昔,切った傷は痛いって言って聞いてましたから,その不安がありますね.今まで,傷がなかったから.特にお腹だし,皮が薄いから.この辺と違ってね.お腹の皮膚は薄いからね,そういうような心配はありそうですね.</u>
研究者	はい,ありがとうございます.ちょっと最後,家での生活について,もうお聞きしたいことあるんですけど,家事をすることに関する心配とか,冬の雪かきに関する心配とか,ちょっと家の周りに関するその他の心配って何かありますか？
M氏	家の周りに関すること？
研究者	家の中の家事に関することから聞きますね.家の中でやることの,その他の心配とかってありますか？
M氏	中は別にないと思います.
研究者	家事するのも大丈夫そう？
M氏	はい,大丈夫.掃除も掃除機かけるだけです.昔みたいな雑巾掛けとか,しないから.できそうだなと思いますから.そういう感じの心配はないです.
研究者	はい.
M氏	できそうだなって思います.家事に関する不安とか心配とかはないです.
研究者	はい.大丈夫そうですね.外周りの方に移ります.雪かきとか冬の話も出てきたんですけど,雪かきに関する心配とかありますか？
M氏	それは,ありますね.元気なときは本当にやりましたからね.業者にお金払って,道路をはねてもらったんだけどね.玄関前だとかね,駐車場とかの雪はねてたんで,それができるかなって思うんだよね.ただ,これ, <u>力入るでしょ？雪なげってね.だから傷があるから,それができるかどうか</u> っていうのは退院してからの不安だ

	ね.
研究者	体動かして傷に触らないから心配ってことですか？
M氏	そうですね.例えば,傷口開くんじゃないかっていう心配は今もあるね.
研究者	それは雪かき以外でも傷が開かないかって心配あると思うんですけど,その心配はどうですか？
M氏	<u>家事でね,立ったり座ったりするでしょ？</u>
研究者	はい.
M氏	<u>急にやっぱり傷がね,一番心配ですね.開いたらどうしようっていう不安はありますね.</u> 昔みたいな雑巾掛けっていうのはないけどさ.やっぱり,周りを拭いたり,立ったり座ったりするから,傷口がね,開いたらどうしようっていう不安はありますね.
研究者	ありがとうございます.このパウチを取るに当たった手術っていうのをまた今後しなきゃいけないってことに関して何か心配とかってありますか？
M氏	今のところはね,こうやって病院で生活して,思い出して,再入院っていうことは,長女から聞かされてるから,先生にも聞いたら,うん,3ヶ月後って言ったから冬に入院することになるっていうことは意識しています.
研究者	それは心配なこと何かありますか？
M氏	それから,今ついている人工便もお腹に入れるんだっていうから,この辺の煩わしいのはなくなるかなって思っているんですけど.また,これが,つけるのと,中にね,多少違うかなとは思ってるけど.
研究者	傷のこととか,再手術することに関する心配はどうでしょうか？
M氏	しなきゃならんって言われたから,やっぱここにね,人口便がぶら下がっていたら,温泉も行かれてたんだから.
研究者	そこに関する心配はなさそうですね.
M氏	そうですね,ありがとうございます.うん.再手術ときね,また入院したときに,先生やあなたがいるから.わからなかったね.その度に聞いて,入院生活を送らないと思っています.
研究者	はい,わかりました.ありがとうございます.その他何か言い忘れたこととか,何かこういう心配なんか話すこととか何かありますか？
M氏	今のところはないですね.ありがとうね.
研究者	はい.わかりました.ありがとうございます.これでインタビューの方を終了いたします.ありがとうございました.
M氏	ありがとうございました.

### 将来に関する心配に関連する語り

#### 1.がんの病気自体に関する心配に関連する語り

がんというのは転移するというから,他の臓器が残ってたとしたら,転移するんじゃないかかってい

う不安がありますね。

胆のうとか他の残ってる臓器に転移する心配があります。

残ってる消化器官があつて、残ってる臓器が再発っていうんか？

がんが広がらないかが家に帰って不安です。

転移した場合に、どうしたらいいかなって。それもいつ転移するとしたら、いつごろに転移するのか、どうしたらどうなるのかもわからないけど、残ってる臓器があれば、それも転移しなければいいなど思っています。喉だとかね。

## 2. 家族との関係に関する心配に関連する語り

特になし

## 3. 自分のこころの状態に関する心配に関連する語り

こんなふうになってしまったから、元には、若いときには元に戻らないだろうから、不安にはなります。外の草刈りとかしたんだけど、力仕事ができないんでないかという不安だけですね。

力仕事も元気な時よりは、できないんでないかと思っています。これは自分で自覚してるから、趣味が出来ないこともそうだね

私はまたね、自転車が乗れないから、ハイヤーに乗って、バス停まで行って、バスに乗ってくるしかないんだけど、それが1人できるかどうかというのが不安にはなっています。

自転車も乗れないだろうと思うし、大体バスに乗って、倒れたりなんかする不安があります。

家に帰って、考えているよりは、実際に行動するのと、ちょっと違うんでないかという不安がありますよね。

## 4. 治療の効果に関する心配に関連する語り

家帰ってから、もしかね、ぶれて、手がうまく病院ではいってるんだけど、指導してもらってね、上手くいってるんだけど、家帰って、できなくなったとかさ、そういうのが心配だね。

帰ったら自分だけだから、できるかなっていう心配はありますね。だけどね、この会社のね、何かカタログみたいな、看護師さんくれるっておっしゃってたから、忘れたり忘れるのが強くなっていう意識を持ってるんですよ。だから家に帰ってから忘れたなど思ったら、そういう紙をいただけて、会社の紙をいただけるそうで、それを見ながら、やっていきたいです。

## 5. 主治医や医療スタッフとの関係に関する心配に関連する語り

特になし

## 6. 家族の将来に関する心配に関連する語り

特になし

## その他

ここが痛い痛くなるんでないかと思っています。雪が降って寒くなると傷が痛くないなるんじゃないかなという不安を持ってるんですよ。

今まで、その、傷がなかったけどね。私のね、両親だとかよく言ってたけど、昔、切った傷は痛いって言って聞いてましたから、その不安がありますね。

今まで、傷がなかったから。特にお腹だし、皮が薄いから。この辺と違ってね。お腹の皮膚は薄いか

らね,そういうような心配はありそうですね.  
力入るでしょ?雪なげってね.だから傷があるから,それができるかどうかっていうのは退院してからの不安だね.  
家事でね,立ったり座ったりするでしょ.急にやっぱり傷がね,一番心配ですね.開いたらどうしようっていう不安はありますね.

#### 作成したカード

- (M-1)がんが他の消化器官に転移するかもしれない
- (M-2)他の臓器にがんが再発してしまうかもしれない
- (M-3)今後,力仕事ができないかもしれない
- (M-4)趣味の草刈りができないかもしれない
- (M-5)がんの病気で自転車に乗れないかもしれない
- (M-6)がんの影響で生活範囲が狭くなってしまうかもしれない
- (M-7)交通機関に乗り,がん治療の通院ができるかどうか
- (M-8)バスの乗車中に倒れるかもしれない
- (M-9)ストーマ管理において手がぶれて管が上手く挿せないかもしれない
- (M-10)ストーマ管理自体を忘れてしまうかもしれない
- (M-11)雪が降り,傷口が痛くなるかもしれない
- (M-12)お腹の傷口が開いてしまうのではないか
- (M-13)雪投げで,傷が開いてしまうかもしれない
- (M-14)家事動作の立ち座りで,傷が開くかもしれない

表 18. カテゴリ名と心配のカード

カテゴリ名	心配のカード
行動範囲が狭くなる ことに関する心配	M-5 がんの病気で自転車に乗れないかもしれない
	M-6 がんの影響で生活範囲が狭くなってしまうかもしれない
がん治療の通院に 関する心配	M-7 交通機関に乗り, がん治療の通院ができるかどうか
	G-7 独居のため, がん治療における通院手段をどうしたらいいか
病前の役割が できない心配	G-5 今後, 身の回りの事ができず, 施設入所になるかもしれない
	E-3 長時間, 家事ができないのではないか
	D-5 自宅前の雪かきができるか
	K-11 洗濯で家の階段を何度も往復できないかもしれない
自己の役割を家族に 担わせてしまうことへの 心配	L-8 もし自分が亡くなった後, 夫は家事ができないかもしれない
	F-8 妻が体に無理をかけて, 自分の代わりに除雪してしまうかもしれない
	L-9 自分の夫が病気になると子供が面倒を見なければいけないかもし れない
自分が亡くなった後, 残された家族が どうになってしまうかが 心配	F-6 亡くなった後, 家族がどうなっていくのか
	L-5 もし自分が亡くなったら, 子供達の将来はどうなるのか(どうやって生 きていくのか)
	K-7 自分が亡くなった時に, 家族に身寄りがいなくなってしまう
家族ががんにな るかもしれない 心配	I-6 家族も, がんになってしまうのではないか
	F-3 がんが家族に遺伝してしまうのではないか
家族の介護に 関する心配	D-1 今後も物忘れのある旦那との暮らしで身体がついていかないのではな いか
	D-4 今後も物忘れのある旦那と一緒に屋外散歩ができるか
	K-8 身体的介助で旦那の体を支えられないかもしれない
死が近づいてくる 心配	A-3 がんのために, 新しいことに挑戦するという考える意欲がなくなる
	A-5 がんになり, 死なないで家に帰れるのだろうか
	H-1 がんを宣告されて, 命が短くなるのではないか
痛みに関する心配	G-10 術部の痛みが続くかもしれない
	L-4 再手術をして, また痛みが出てしまうかもしれない
	M-11 雪が降り, 傷口が痛くなるかもしれない
傷口が開く心配	M-12 お腹の傷口が開いてしまうのではないか
	M-13 雪投げで, 傷が開いてしまうかもしれない
	M-14 家事動作の立ち座りで, 傷が開くかもしれない
仕事ができない心配	H-11 今後も, 体力・筋力の低下によって, 仕事ができないかもしれない
	L-10 体力の低下によって, 仕事に復帰できないかもしれない

	I-1 今後、農作業の仕事ができないかもしれない
	M-3 今後、力仕事ができないかもしれない
	I-2 今後、農作業で力仕事ができないかもしれない
	F-1 がんが転移してしまうのではないかと
がんの再発や転移への心配	F-2 がんが、どここの部位に転移するのか
	K-2 他の部位にがんが生じるのではないかと
	M-1 がんが他の消化器官に転移するかもしれない
	G-2 がんが転移するかもしれない
	E-2 がんが転移するのではないかと
	H-3 がんが転移するのではないかと
	L-1 がんが転移してしまうかもしれない
	M-2 他の臓器にがんが再発してしまうかもしれない
	G-1 がんが再発してしまうかもしれない
	K-4 お腹を切られてしまうかもしれない
再手術への心配	K-3 再手術するかもしれない
	F-7 再手術になるかもしれない
	H-9 自分の葬式代を兄弟にお金の迷惑をかけてしまうかもしれない
経済的な心配	H-10 がんで仕事がないため、税金が支払えないかもしれない
	A-3 がんのために、新しいことに挑戦するという考える意欲がなくなる
考える意欲が低下する心配	A-5 がんになり、死なないで家に帰れるのだろうか
	A-1 がんになったと周囲に噂されるのではないかと
悲観的なことを考えてしまう心配	H-2 がんの情報がなくて、悪いことばかり考えてしまうかもしれない
	G-6 がんの病気を思うと鬱になるかもしれない
	K-1 がんになりやすい身体になったかもしれない
	L-6 もし亡くなったら、母親を悲しませてしまうかもしれない
	E-5 食事で消化不良を起こすのではないかと
消化に関する心配	I-4 消化に良い食べ物を選べないかもしれない
	H-13 入れ歯がないため、消化に良い食事を摂れるだろうか
	L-7 消化の良い献立を考えられるかどうか
	F-4 皮下脂肪を作らず、太らないでいられるか
食事に関する心配	I-5 今後、好きな物が食べられなくなる
	E-6 便秘に服薬効果が続くのか
便秘に関する心配	K-5 便秘が続くかもしれない
	K-6 食事のせいで便秘になってしまうのではないかと
	G-12 今後も、排便に関する薬を頓服し続けなければならない

服薬の継続に関する心配	I-3 がんの薬を飲み忘れてしまうかもしれない
	L-2 抗がん剤治療で髪が抜けてしまうかもしれない
抗がん剤治療の副作用に関する心配	L-3 抗がん剤治療で体が辛くなるかもしれない
	M-9 ストーマ管理において手がぶれて管が上手く挿せないかもしれない
ストーマの自己管理に関する心配	M-10 ストーマ管理自体を忘れてしまうかもしれない
	L-12 ストーマ造設し、急に空気音が鳴ってしまうかもしれない
	L-13 ストーマ内の排便の始末ができないかもしれない
	H-14 ストーマを清潔にするのを怠って、感染してしまうかもしれない
	G-3 今後、人工肛門がついてしまうのではないかと
ストーマの造設に関する心配	E-1 今後は人工肛門になるのではないかと
	I-7 今後、人工肛門を造設しないといけなくなるのではないかと
	D-3 今後も、趣味の畑作業ができるかと
余暇活動ができない心配	M-4 趣味の草刈りができないかもしれない
	G-8 洗濯時、重たいものを運べないかもしれない
重たいものが持てない心配	L-11 今後、仕事で重たいものを持ち運べないかもしれない
	F-5 農作業で、重たい物を持ってないかもしれない
	E-4 今後、重たいものが持てないかもしれない
	G-9 長時間、掃除で身体を動かすと身体が辛くなるのではないかと
身体機能の低下に関する心配	G-12 長時間、調理で身体を動かすと身体が辛くなるのではないかと
	H-12 歩くことが遅くなるのではないかと
	K-9 何時間も家事動作で立ってられないかもしれない
	K-10 掃除をする時に身体を前屈みにできないかもしれない
	M-8 バスの乗車中に倒れるかもしれない
	H-4 がんにより、免疫力が下がってしまうのではないかと
感染症に関する心配	H-5 がんにより、感染症になりやすいのではないかと
	H-6 体が弱って、感染症になるかもしれない